

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第218集

お お ぐ り
大栗遺跡

2022

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

序

平成 26 年度より本格化してきた設楽ダム事業にともなう発掘調査は、現在ようやくそのピークを超えようとしています。

本報告書である大栗遺跡は、平成 27 年度と 28 年度の 2 カ年にわたって発掘調査を行ないました。

その結果、今からおよそ 1 万 5000 年から 7000 年前にあたる縄文時代早期の陥し穴や煙道付炉穴、5000 年前の縄文時代中期の竪穴建物などの遺構を確認しました。

特に煙道付炉穴は極めて遺存状態が良く、縄文人の生活様式を知るうえで重要な手がかりとなることでしょう。

また、近世～近代の大規模な柵列は、もともとの傾斜地を居住地に変えるための先人たちの努力のあとを窺わせます。

このように重要な調査成果を収めた本報告書が多くの方々目に触れ、利用されることを願ってやみません。

最後になりましたが、本遺跡の調査と報告書作成にご協力いただいた関係諸機関ならびに地元住民、そして研究者の皆様方には、深く感謝を申し上げます。

令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

理事長 森田 利洋

例言

1. 本書は、愛知県北設楽郡設楽町川向に所在する大栗遺跡（おおぐりいせき：県遺跡番号700163）の発掘調査報告書である。遺跡の所在地は、北緯35度6分40秒、東経137度33分52秒（世界測地系）である。
2. 発掘調査は、設楽ダムにともなう事前調査として、国土交通省中部地方整備局から愛知県教育委員会を通じて、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターが管理委託を受けて実施した。調査対象面積は5,550㎡である。
3. 発掘調査は、平成27年7月から9月、平成28年9月から12月にかけて実施し、整理および報告書作成作業は令和2年4月から3年3月にかけて実施した。
4. 現地における発掘調査は、平成27年度が（株）二友組の支援を受けて樋上昇（調査研究専門員—調査当時）・早野浩二（調査研究主任—調査当時）、平成28年度が安西工業（株）の支援を受けて樋上昇・鈴木恵介（調査研究主事—調査当時）が担当しておこなった。
5. 調査にあたっては、愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室（現・愛知県県民文化局文化芸術課文化財室、愛知県埋蔵文化財調査センター、設楽町教育委員会、国土交通省中部地方整備局をはじめとして、多くの関係諸機関のご協力を得た。
6. 本書の執筆は、樋上昇、鬼頭剛、川添和暁、早野浩二、鈴木恵介、田中良、古澤明、（株）パレオ・ラボAMS年代測定グループ、伊藤茂、佐藤正教、廣田正史、山形秀樹、Zaur Lomtavidze、小林克也、安昭炫、小林紘一、中村賢太郎、黒沼保子、バンドリ・スダルシャン、（株）第四紀地質研究所が分担し、編集は樋上がおこなった。執筆分担については、目次および本文文末に執筆者名を記した。
7. 整理作業は、樋上昇が担当した。作業にあたっては次の方々、諸機関の助力を得た。
堀田祐美・山田亜紀子（整理補助員）、原田恵理（事務補助員）、金子知久（写真工房遊）、（株）イビソク、（株）文化財サービス、（株）ラング、（株）第四紀地質研究所、（株）パレオ・ラボ
8. 本書に示す座標数値は、国土交通省に定められた平面直角座標第VII系に準拠し、表記は世界地系を用いている。海拔表記は東京湾平均海面（T.P.）の数値である。
9. 遺物の登録は、本書図版の掲載番号を元に整理をおこなった。
10. 写真および図面などの調査にかかわる記録類は、愛知県埋蔵文化財センターで保管している。
（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24（0567-67-4161）
11. 出土遺物は、愛知県埋蔵文化財調査センターで保管している。
愛知県埋蔵文化財調査センター
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24（0567-67-4164）
12. 本書作成するにあたり、次の方々から多くのご指導とご助言を得た。記して感謝したい。
大塚達朗・高橋三郎・増子康眞・綿田弘実（敬称略・50音順）

目次

第1章 調査の概要

1. 設楽地域の歴史的環境（川添和暁）……………1
2. 調査にいたる経緯と調査の経過（樋上 昇）……………4
3. 基本層序（樋上）……………6

第2章 遺構と遺物

1. はじめに（樋上）……………9
2. 縄文時代早期の遺構（早野浩二・鈴木恵介・樋上）……………9
3. 縄文時代中期の遺構（樋上）……………19
4. 縄文時代の土器（川添和暁）……………19
5. 縄文時代～弥生時代の石器（田中 良）……………24
6. 縄文時代以降の遺構（早野・樋上）……………39
7. 弥生時代～近代の土器・陶磁器（樋上）……………51
8. 中世以降の石器（樋上）……………51
9. 近代の木製品（樋上）……………51

第3章 自然科学分析

1. 大栗遺跡における層序と古環境（鬼頭 剛・古澤 明ほか）……………96
2. 大栗遺跡における放射性炭素年代測定（その1）
（伊藤 茂ほか（株）パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ）……………112
3. 大栗遺跡における放射性炭素年代測定（その2）
（伊藤 茂ほか（株）パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ）……………126
4. 大栗遺跡における放射性炭素年代測定（その3）
（伊藤 茂ほか（株）パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ）……………130
5. 大栗遺跡出土炭化材の樹種同定（小林克也）……………134
6. 大栗遺跡から出土した炭化材の樹種同定（黒沼保子・バンダリ・スダルシャン）……………138
7. 大栗遺跡出土黒曜石の蛍光 X 線分析（XRF）による原産地同定
（（株）第四紀 地質研究所）……………142

第4章 総括

- 大栗遺跡の遺構変遷について（樋上）……………146

- 一覧表……………149

遺構写真図版

遺物写真図版

抄録

挿図 目次

図 1-1	大栗遺跡と周辺の遺跡	2	図 2-28	15 調査区柵列 064SA (S=1:100)	51
図 1-2	大栗遺跡 2015・16 年度調査区位置図 (S=1:2,000)	5	図 2-29	15 調査区 042SK・043SK・044SK・046SK・ 048SK・051SK・055SK (S=1:50)	45
図 1-3	大栗遺跡全体図 (S=1:800)	7	図 2-30	16 調査区 石組 001SX (S=1:50)	46
図 1-4	2016 年度調査区西壁土層断面図 (S=1:100)	8	図 2-31	16 調査区 002SX・003SX・005SX・ 006SX・007SX (S=1:50)	47
図 2-1	15 調査区略測図 (S=1:500)	10	図 2-32	16 調査区柵列 070SA (S=1:50)	49
図 2-2	16 調査区略測図 (S=1:500)	11	図 2-33	16 調査区柵列 071SA (S=1:50)	50
図 2-3	15 調査区遺物集中地点 (S=1:100)	13	図 2-34	15 調査区 043SK・046SK・検出 I・表面採取 出土陶磁器 (S=1:4)	52
図 2-4	16 調査区煙道付炉穴 042SL・119SL (S=1:20)	14	図 2-35	15 調査区表土掘削・表面採取 / 16 調査区 006SX・015SK・表土掘削 / 試掘トレンチ出土土器・陶磁器 (S=1:4)	53
図 2-5	16 調査区煙道付炉穴 246SL (S=1:20)	15	図 2-36	15 調査区表土掘削・046SK・038SK 出土の砥石 (S=1:3)	54
図 2-6	16 調査区屋外炉 088SL・266SL (S=1:20)	16	図 2-37	15 調査区表面採取・051SK 出土木製品 (S=1:4)	54
図 2-7	16 調査区陥し穴 137SK・141SK・ 154SK・164SK (S=1:50)	17	図 2-38	16 調査区 008SK・009SK・010SK・011SK・ 012SK・013SK・014SK・015SK・016SK (S=1:50)	55
図 2-8	16 調査区陥し穴 165SK・210SK・289SK・ 290SK・291SK (S=1:50)	18	図 2-39	16 調査区 017SK・018SK・019SK・020SK・ 021SK・022SK・025SK・026SK・ 027SK・029SK・030SK (S=1:50)	56
図 2-9	16 調査区竪穴建物 090SI-1 (S=1:50)	20	図 2-40	16 調査区 031SK・033SK・034SK・ 035SK・037SK・039SK・040SK・041SK (S=1:50)	57
図 2-10	16 調査区竪穴建物 090SI-2 (S=1:50)	20	図 2-41	16 調査区 043SK・047SK・049SK・050SK・ 053SK・055SK・056SK・057SK・060SK (S=1:50)	58
図 2-11	16 調査区竪穴建物 090SI の 石囲炉 230SL-1 (S=1:20)	22	図 2-42	16 調査区 061SK・062SK・075SK・063SK・ 065SK・067SK・069SK・072SK・073SK (S=1:50)	59
図 2-12	16 調査区竪穴建物 090SI の 石囲炉 230SL-2 (S=1:20)	23	図 2-43	16 調査区 072SK・073SK・074SK・076SK・ 077SK・079SK・081SK・083SK・105SK (S=1:50)	60
図 2-13	15・16 調査区出土の縄文土器 (S=1:3)	25	図 2-44	16 調査区 083SK・085SK・086SK・087SK・ 089SK・091SK・092SK・094SK・095SK (S=1:50)	61
図 2-14	15 調査区中央トレンチ・5623-5625 グリッド 出土の石器 (S=2:3)	27	図 2-45	16 調査区 090SK・097SK・098SK・099SK・ 100SK・101SK・102SK・103SK・104SK (S=1:50)	62
図 2-15	15 調査区 5625・5723・5724 グリッド 出土の石器 (S=2:3)	28	図 2-46	16 調査区 107SK・108SK・109SK・110SK・ 111SK・112SK・116SK・121SK・126SK (S=1:50)	63
図 2-16	15 調査区 5724 グリッド 出土の石器-1 (S=2:3)	29	図 2-47	16 調査区 127SK・128SK・129SK・130SK・ 131SK・132SK・133SK・134SK・135SK (S=1:50)	64
図 2-17	15 調査区 5724 グリッド 出土の石器-2 (S=2:3)	30	図 2-48	16 調査区 136SP・138SK・139SK・142SK・ 143SK・144SK・145SK・147SK・151SK (S=1:50)	65
図 2-18	15 調査区 5724 グリッド 出土の石器-3 (S=2:3)	31	図 2-49	16 調査区 152SK・188SK・296SK・156SK・ 157SK・158SK・159SK・160SK・161SK	
図 2-19	15 調査区 5725・5824・5826・5925・6025 グリッド出土の石器 (S=1:3/2:3)	32			
図 2-20	15 調査区 063SK・042SK・5524・5424 グリッド出土の石器 (S=1:4/2:3)	33			
図 2-21	16 調査区 011SK・095SK・5626 グリッド・ 090SI 出土の石器 (S=1:3/2:3)	34			
図 2-22	16 調査区 090SI・230SL 出土の石器 (S=1:4/2:3)	35			
図 2-23	16 調査区 266SL・284SK・5626・5726 グリッド出土の石器 (S=1:3/2:3)	36			
図 2-24	16 調査区 5726 グリッド・164SK・270SK 出土の石器 (S=1:3/2:3)	37			
図 2-25	16 調査区 5828・5926・6127 グリッド・表面 採取・ テストトレンチ出土の石器 (S=1:3/2:3)	38			
図 2-26	15 調査区 002SK・003SK・012SK・018SK (S=1:50)	41			
図 2-27	15 調査区 019SK・021SK・032SK・042SK・ 049SK・060SK・061SK (S=1:50)	42			

	163SK (S=1:50) ……………66	図 2-76	16 調査区遺構全体図 -8 (S=1:100) ……………93
図 2-50	16 調査区 166SK・167SK・168SK・169SK・ 170SK・171SK・172SK・174SK・176SK 177SP (S=1:50) ……………67	図 2-77	16 調査区遺構全体図 -9 (S=1:100) ……………94
図 2-51	16 調査区 178SK・179SK・180SK・182SK・ 183SK・184SK・185SK・186SK・187SK (S=1:50) ……………68	図 2-78	15 調査区遺構全体図 -10 (S=1:100) ……………95
図 2-52	16 調査区 190SK・193SK・195SK・196SK・ 197SK・198SK・199SK・201SK・202SK (S=1:50) ……………69	図 3-1-1	大栗遺跡における分析試料採取地点……………97
図 2-53	16 調査区 203SK・205SK・206SK・207SK・ 211SK・213SK・215SK・217SK・218SK (S=1:50) ……………70	図 3-1-2	地点 1 (15A 区) の柱状図……………97
図 2-54	16 調査区 219SK・221SK・222SK・224SK・ 225SK・226SK・231SK・232SK・233SP 234SK・235SK (S=1:50) ……………71	図 3-1-3	地点 1 (15A 区) の分析試料採取状況……………97
図 2-55	16 調査区 236SP・237SK・238SK・243SK・ 244SK・247SK・248SK・249SK・250SK (S=1:50) ……………72	図 3-1-4	地点 2 (15A 区) の柱状図……………98
図 2-56	16 調査区 251SK・252SK・253SK・254SK・ 255SK・258SK・259SK・261SK・262SK (S=1:50) ……………73	図 3-1-5	地点 2 (15A 区) の分析試料採取状況……………99
図 2-57	16 調査区 264SK・265SK・267SK・268SK・ 269SK・270SK・271SK・272SK・273SK (S=1:50) ……………74	図 3-1-6	地点 3 (15A 区) の柱状図……………99
図 2-58	16 調査区 276SK・277SK・278SK・279SK・ 280SK・283SK・284SK・286SK・293SP (S=1:50) ……………75	図 3-1-7	地点 3 (15A 区) の分析試料採取状況……………99
図 2-59	15 調査区遺構全体図 -1 (S=1:100) ……………76	図 3-1-8	地点 4 (15A 区) の柱状図……………100
図 2-60	15 調査区遺構全体図 -2 (S=1:100) ……………77	図 3-1-9	地点 4 (15A 区) の分析試料採取状況……………100
図 2-61	15 調査区遺構全体図 -3 (S=1:100) ……………78	図 3-1-10	地点 5 (15B 区) の柱状図……………101
図 2-62	15 調査区遺構全体図 -4 (S=1:100) ……………79	図 3-1-11	地点 5 (15B 区) の分析試料採取状況……………101
図 2-63	15 調査区遺構全体図 -5 (S=1:100) ……………80	図 3-1-12	地点 6 (16 区) の柱状図……………102
図 2-64	15 調査区遺構全体図 -6 (S=1:100) ……………81	図 3-1-13	地点 7 (16 区) の柱状図……………103
図 2-65	15 調査区遺構全体図 -7 (S=1:100) ……………82	図 3-1-14	地点 8 (16 区) の柱状図……………103
図 2-66	15 調査区遺構全体図 -8 (S=1:100) ……………83	図 3-1-15	地点 6～地点 9 (16 区) の 分析試料採取状況……………104
図 2-67	15 調査区遺構全体図 -9 (S=1:100) ……………84	図 3-1-16	地点 9 (16 区) の柱状図……………105
図 2-68	15 調査区遺構全体図 -10 (S=1:100) ……………85	図 3-1-17	地点 10 (16 区) の柱状図…………… 105
図 2-69	16 調査区遺構全体図 -1 (S=1:100) ……………86	図 3-1-18	地点 10 (16 区) の 分析試料採取状況……………105
図 2-70	16 調査区遺構全体図 -2 (S=1:100) ……………87	図 3-1-19	地点 11 (16 区) の柱状図…………… 107
図 2-71	16 調査区遺構全体図 -3 (S=1:100) ……………88	図 3-1-20	地点 11 (16 区) の 分析試料採取状況……………107
図 2-72	16 調査区遺構全体図 -4 (S=1:100) ……………89	図 3-2-1	マルチプロット図 -1……………113
図 2-73	16 調査区遺構全体図 -5 (S=1:100) ……………90	図 3-2-2	マルチプロット図 -2……………114
図 2-74	16 調査区遺構全体図 -6 (S=1:100) ……………91	図 3-2-3	暦年較正結果 -1……………121
図 2-75	16 調査区遺構全体図 -7 (S=1:100) ……………92	図 3-2-4	暦年較正結果 -2……………122
		図 3-2-5	暦年較正結果 -3……………123
		図 3-2-6	暦年較正結果 -4……………124
		図 3-2-7	暦年較正結果 -5……………125
		図 3-3-1	暦年較正結果……………127
		図 3-3-2	マルチプロット図……………128
		図 3-4-1	暦年較正結果……………133
		図 3-5-1	大栗遺跡出土炭化材の 走査型電子顕微鏡写真……………137
		図 3-6-1	大栗遺跡から出土した炭化種実……………140
		図 3-6-2	炭化材の走査型電子顕微鏡写真……………141
		図 3-7-1	大栗遺跡出土黒曜石写真 -1……………144
		図 3-7-2	大栗遺跡出土黒曜石写真 -1……………145
		図 3-7-3	大栗遺跡・強被熱 EDS 写真……………145
		図 4-1	大栗遺跡の遺構変遷図 (S=1:1,500) ……………147
		図 4-2	2016 年度調査区西壁土層断面図 (S=1:100) ……………148

表 目 次

表 1-1 大栗遺跡と周辺の遺跡 …………… 3	表 3-5-1 大栗遺跡出土炭化材の樹種同定結果 …… 134
表 1-2 大栗遺跡の調査・整理事業工程 …………… 4	表 3-5-2 大栗遺跡出土炭化材の樹種同定結果一覧 … 136
表 3-1-1 大栗遺跡 15 区における 放射性炭素年代測定結果 …………… 98	表 3-6-1 大栗遺跡から出土した炭化材種実 …… 138
表 3-2-1 測定試料および処理 -1 …………… 115	表 3-6-2 樹種同定結果 …………… 139
表 3-2-2 測定試料および処理 -2 …………… 116	表 3-7-1 化学分析表 -1 …………… 143
表 3-2-3 測定試料および処理 -3 …………… 117	表 3-7-2 化学分析表 -2 …………… 143
表 3-2-4 放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果 -1 …………… 118	表 3-7-3 原産地対照表 …………… 144
表 3-2-5 放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果 -2 …………… 119	2015 年度遺構一覧表 -1 …………… 149
表 3-2-6 放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果 -3 …………… 120	2015 年度遺構一覧表 -2 …………… 150
表 3-2-7 放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果 -4 …………… 121	2016 年度遺構一覧表 -1 …………… 151
表 3-3-1 測定試料および処理 …………… 126	2016 年度遺構一覧表 -2 …………… 152
表 3-3-2 放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果 …………… 127	2016 年度遺構一覧表 -3 …………… 153
表 3-4-1 測定試料および処理 …………… 131	2016 年度遺構一覧表 -4 …………… 154
表 3-4-2 放射性炭素年代測定および 暦年較正の結果 …………… 132	2016 年度遺構一覧表 -5 …………… 155
	2016 年度遺構一覧表 -6 …………… 156
	縄文時代土器一覧表 …………… 157
	木製品一覧表 …………… 157
	縄文時代石器一覧表 -1 …………… 158
	縄文時代石器一覧表 -2 …………… 159
	土器・陶磁器（縄文以外）一覧表 -1 …… 160
	土器・陶磁器（縄文以外）一覧表 -2 …… 161
	砥石（縄文以外）一覧表 …………… 161

写真図版

遺構写真図版 1 カラー図版 1	遺物写真図版 1 縄文土器
遺構写真図版 2 カラー図版 2	遺物写真図版 2 石器 (1)
遺構写真図版 3 カラー図版 3	遺物写真図版 3 石器 (2)
遺構写真図版 4 カラー図版 4	遺物写真図版 4 石器 (3)
遺構写真図版 5 15 調査区 1	遺物写真図版 5 土器・陶磁器 (1)
遺構写真図版 6 15 調査区 2	遺物写真図版 6 土器・陶磁器 (2)
遺構写真図版 7 15 調査区 3	遺物写真図版 7 土器・陶磁器 (3)
遺構写真図版 8 15 調査区 4・16 調査区 1	遺物写真図版 8 土器・陶磁器 (4)
遺構写真図版 9 16 調査区 2	遺物写真図版 9 土器・陶磁器 (5)
遺構写真図版 10 16 調査区 3	遺物写真図版 10 土器・陶磁器 (6)
遺構写真図版 11 16 調査区 4	
遺構写真図版 12 16 調査区 5	
遺構写真図版 13 16 調査区 6	
遺構写真図版 14 16 調査区 7	
遺構写真図版 15 16 調査区 8	
遺構写真図版 16 16 調査区 9	

第1章 調査の概要

1. 設楽地域の歴史的環境

まずは、設楽町内で知られている遺跡などについて、整理しておく（図 1-1・表 1-1）。

後期旧石器時代 設楽町津具地区に接した豊根地域には、茶白山遺跡の所在が知られている。茶白山遺跡は、昭和 36・38（1961・1963）年に組織的に発掘調査された、愛知県を代表する後期旧石器時代遺跡である。ナイフ形石器・搔器や剥片石核が、まとまりのある良好な状態で出土した。

設楽ダム関連調査対象区域付近でも、後期旧石器時代の遺跡の所在が知られている。川向坂の上にある市場口遺跡（82）では、ナイフ形石器のほか、剥片・石核が 20 点以上とまとまって出土している。注目すべきはその使用石材であり、黒曜石の比率が極めて高いことは、この遺跡の特殊性を示すものと言える（川合・平井・堀木・川添 2019）。

また、川向東貝津遺跡（27）でも後期旧石器時代に属する石器群が確認されている（愛知県埋蔵文化財センター 2020）。

縄文時代草創期 縄文時代草創期については、川向東貝津遺跡（27）のほか、八橋地区の滝瀬遺跡（31）では、縄文時代草創期末から早期初頭に遡る可能性のある、竪穴建物 10 棟以上で構成された集落跡が確認されている。

縄文時代早期 設楽地域では、縄文時代早期の土器が各遺跡で採集されている。名倉地区の星野神田遺跡では、ネガティブ押型文土器の出土が古くから知られている。川向東貝津遺跡（27）のほか、滝瀬遺跡（31）では集石炉跡が調査されており、状況から縄文時代早期に属する可能性がある。特

に滝瀬遺跡では境川に接する緩斜面上に、10 基以上がまとまって見つかった。滝瀬遺跡や大名倉遺跡（2）では、早期前半に属するトロトロ石器も出土している。

また万瀬遺跡（20）でも、竪穴建物跡と炉穴群からなる早期前半の集落跡が調査されている。**縄文時代前期** 稲武地区の大安寺遺跡では縄文時代前期前半の竪穴建物跡の調査が行われており、津具地区の鞍船遺跡では前期後半の竪穴建物跡が調査されている。しかし、現在、設楽ダム関連調査などでは、縄文時代前期を主体とする遺構や包含層を良好な状態で確認することはできていない。各遺跡で土器片などは散在的に確認できており、今後の調査で良好な資料群が見つかるものと考えられる。

縄文時代中期 縄文時代中期については、前半でも北屋敷式以降の土器片は、各遺跡で散在的に確認されている。近年、川向地区の石原遺跡（24）では山田平式期頃を主体とする竪穴建物群の調査が行われた。

中期後半になると、小松地区の笹平遺跡（42）、八橋地区の滝瀬遺跡（31）でも竪穴建物跡の調査が行われている。複数の竪穴建物群による集落跡としては、川向東貝津遺跡（27）のほか、大畑遺跡（26）がある。両遺跡は、前者が丘陵裾部の南斜面、後者が同一丘陵の頂部に展開する遺跡である。両遺跡とも、竪穴建物跡埋没途上で、配石行為などが行われている。川向東貝津遺跡では、蓋石のある埋甕が見つかっており、一方、大畑遺跡では副炉をもつ竪穴建物跡も見つかるなど、信州下伊那地域との関連性が考えられる遺構も確認されている。

縄文時代後期 設楽地域では、大名倉地区の大名倉遺跡（2）、小松地区のマサノ沢遺跡（41）・笹

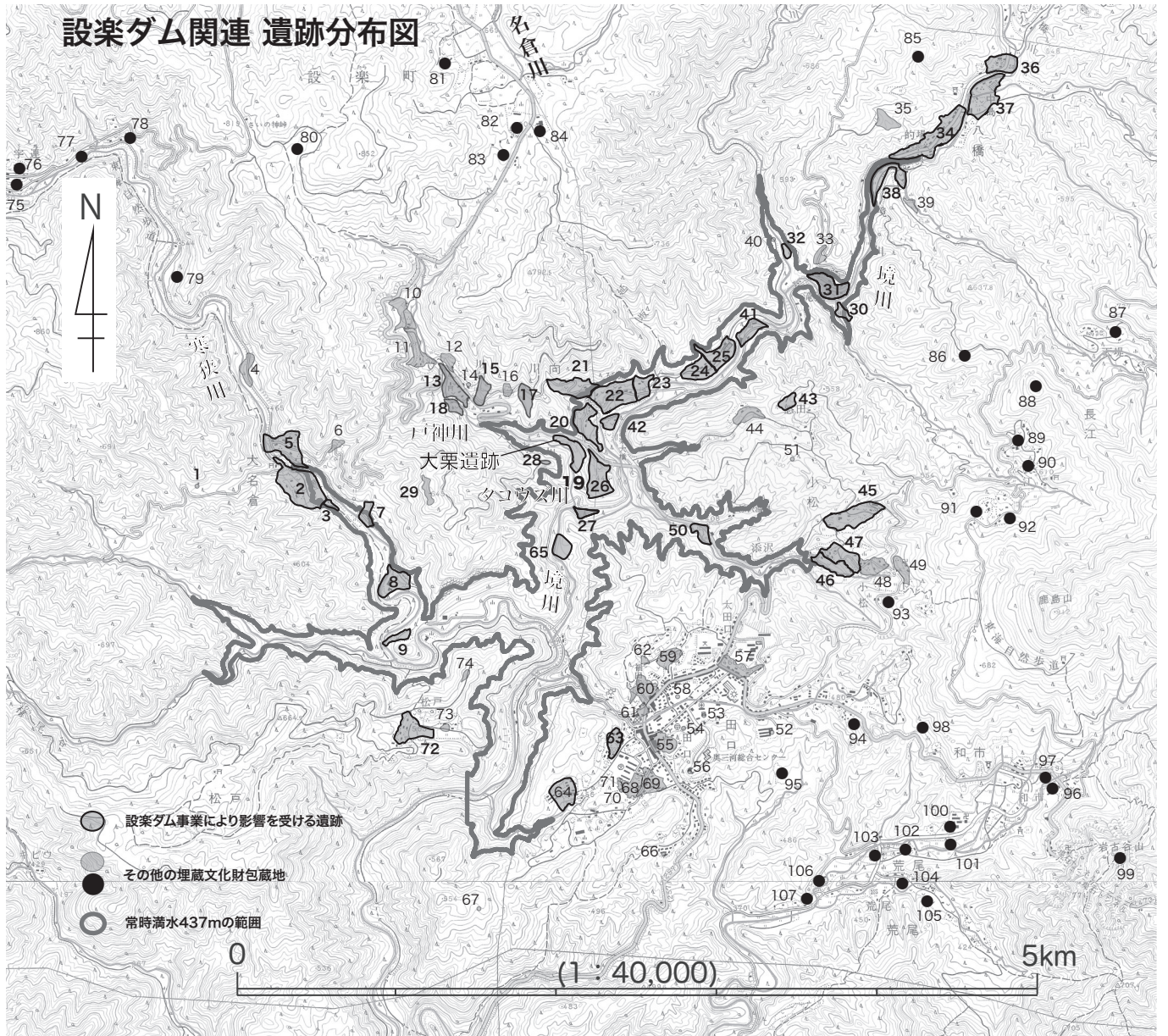


図 1-1 大栗遺跡と周辺の遺跡 (国土地理院 1:25,000 田口・海老を使用)

平遺跡 (42)・杉平遺跡 (94)、さらに豊邦貝津の神谷沢遺跡など、古くから、縄文時代後期以降の遺物が多く採集されてきた。笹平遺跡では、後期初頭～中葉にかけての集落跡が見つかり、竪穴建物跡 30 基以上が調査された。マサノ沢遺跡では後期前葉～中葉にかけての埋葬遺構群と遺物集積が調査され、特に配石墓の存在が特筆される。縄文時代晩期 縄文時代晩期の遺物は、大名倉遺跡 (2)・笹平遺跡 (42)・滝瀬遺跡 (31) など

で散発的に確認される。大名倉遺跡や笹平遺跡では、耕作など後世の作用によって、包含層や遺構の残存状況が不明瞭になっている可能性が考えられる。滝瀬遺跡では、榎原文様を有する石刀が出土している。マサノ沢遺跡 (41) では、晩期後葉の良好な遺物包含層が確認されている。弥生時代 弥生時代前期の条痕文土器は縄文時代晩期と同様に、各遺跡で散発的に見つかっている。遺構としては、マサノ沢遺跡 (41) や笹平遺跡 (42)

表 1-1 大栗遺跡と周辺の遺跡 (愛知県埋蔵文化財センター 2019『西地・東地遺跡』を元に作成)

地区 (旧大字)	番号	遺跡名	読み	県遺跡番号	所在地	時代
大名倉	1	沢入り遺跡	ざわいり	700155	大名倉字沢入り	縄文/弥生?
大名倉	2	大名倉遺跡	おおなぐら	700297	大名倉字滝ノ上・滝ノ下・下谷・南貝津	縄文/弥生/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
大名倉	3	日掛遺跡	ひかげ	700328	大名倉字日掛	縄文
大名倉	4	稻の久保遺跡	かやのくぼ	700151	大名倉字新蔵	縄文
大名倉	5	西地・東地遺跡	にじじ・ひかしじ	700152	大名倉字西地・東地	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
大名倉	6	後沢遺跡	うしろざわ	700154	大名倉字後沢	縄文
大名倉	7	ハラビ平遺跡	はらびだいら	700157	大名倉字ハラビ平	縄文/平安/鎌倉/戦国～近世
大名倉	8	胡桃産遺跡	くるみくぼ	700158	大名倉字胡桃産・丸山	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
大名倉	9	大名倉丸山遺跡	おおなぐらまるやま	700347	大名倉字丸山	戦国～近世?
川向	10	川向田ノ入遺跡	かわむききたのいり	700351	川向字田ノ入	平安
川向	11	三軒屋遺跡	さんげんや	700159	川向字三ゲンヤ	縄文/鎌倉
川向	12	梨子谷下遺跡	なしやげ	700329	川向字梨子谷下	平安/鎌倉
川向	13	上戸神遺跡	かみとがみ	700160	川向字上戸神・下戸神	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
川向	14	道合遺跡	みちあひ	700161	川向字道合	縄文
川向	15	川向萩ノ平沢遺跡	かわむきはぎのひらさわ	700352	川向字萩ノ平沢・小万	縄文/平安
川向	16	道上遺跡	みちあげ	700345	川向字萩ノ平沢・小万	縄文/平安
川向	17	川向石道遺跡	かわむききからいし	700353	川向字萩ノ平沢・小万	平安/鎌倉
川向	18	川向山遺跡	かわむきむかいやま	700354	川向字山	戦国～近世
川向	19	大栗遺跡	おおぐり	700163	川向字大栗	縄文/弥生/平安/室町/戦国～近世
川向	20	万瀬遺跡	まんぜ	700165	川向字マンゼ	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
川向	21	大空前遺跡	おおぞらまえ	700166	川向字大空前・新直	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
川向	22	上ヲロウ・下ヲロウ遺跡	かみをろう・しもをろう	700167	川向字上ヲロウ・下ヲロウ	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
川向	23	川向近沢遺跡	かわむきちかざわ	700355	川向字近沢・馬道	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
川向	24	石原遺跡	いしはら	700170	川向字石原・ヒチコ	縄文
川向	25	下延坂遺跡	しもべさか	700171	川向字下延坂・上延坂	縄文/弥生/平安/鎌倉
川向	26	大畑遺跡	おおはた	700164	川向字大畑・東貝津	縄文
川向	27	川向東貝津遺跡	かわむきひしがいつ	700348	川向字東貝津	旧石器/縄文/平安/鎌倉
川向	28	南ヶ岳遺跡	みなみがたけ	700162	川向字南ヶ岳	縄文?/平安
川向	29	光石山候補地	みつ(ひかり)いしやま	700349	川向字山	戦国～近世?
八橋	30	八橋大平遺跡	やつはしおひら	700349	八橋字大平	縄文/平安
八橋	31	滝瀬遺跡	たきせ	700174	八橋字タキセ	縄文/弥生/室町/戦国～近世
八橋	32	根道外遺跡	ねみちそと	700173	八橋字根道外	縄文
八橋	33	長久保遺跡	ながくぼ	700331	八橋字長久保	縄文
八橋	34	中村遺跡	なかむら	700176	八橋字道上・道下・西路	縄文/平安/鎌倉/室町
八橋	35	八橋アテ遺跡	やつはしあて	700356	八橋字アテ	縄文/平安/戦国～近世
八橋	36	八橋谷合遺跡	やつはしやわせ	700350	八橋字谷合	平安
八橋	37	向橋遺跡	むこうばし	700178	八橋字向橋	平安/鎌倉
八橋	38	永江沢遺跡	ながえさわ	700175	八橋字崩沢	縄文/鎌倉/室町
八橋	39	八橋崩沢遺跡	やつはしなざさわ	700357	八橋字崩沢	縄文
八橋	40	境川林道遺跡	さかいがわりんどう	700330	八橋字コハツカ	縄文 (黒石石の原石のみ採取)
小松	41	マサノ沢遺跡	まさのさわ	700172	八橋字マサノサワ	縄文/弥生
小松	42	笹平遺跡	ささだいら	700169	小松字笹平	縄文/弥生/平安
小松	43	丸瀬遺跡	まるせ	700184	小松字丸瀬	縄文
小松	44	小松沢上ヶ遺跡	こまつざやげ	700358	小松字沢上ヶ	平安/室町/戦国～近世
小松	45	柿平遺跡	かきだいら	700189	小松字波根・東沢	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
小松	46	中屋地遺跡	なかやじ	700190	小松字中屋地	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
小松	47	下り道遺跡	くだりみち	700191	小松字下り道・中貝津・下中熊	縄文/平安/鎌倉/室町/戦国～近世
小松	48	下中熊遺跡	しもなかぐま	700192	小松字下中熊・中貝津	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
小松	49	上中熊遺跡	かみなかくま	700193	小松字上中熊	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
田口	50	添沢遺跡	そえざわ	700188	田口字添沢	縄文/弥生
田口	51	添津遺跡	そえづ	700187	田口字添津	縄文/弥生?
田口	52	一ノ橋遺跡	いちのはし	700197	田口字杉平向	縄文
田口	53	向木屋遺跡	むかいぎや	700201	田口字向木屋	弥生
田口	54	城下遺跡	しろした	700202	田口字小木山	鎌倉?
田口	55	天白遺跡	てんぱく	700203	田口字広貝津	縄文/弥生/鎌倉
田口	56	向木屋城跡	むかいぎやじょうあと	700206	田口字向木屋	戦国～近世?
田口	57	東遺跡	ひがし	700198	田口字谷下・白根土	鎌倉/室町/戦国～近世
田口	58	稲場遺跡	いなば	700333	田口字辻前	縄文
田口	59	中島遺跡	なかじま	700199	田口字中島	縄文/平安/室町/戦国～近世
田口	60	居立遺跡	いだて	700200	田口字居立	弥生/古墳
田口	61	半兵衛屋敷 (田口村古屋敷)	はんべいえやしき (たぐちむらふるやしき)	703001	田口字小貝津	戦国～近世
田口	62	田口大久保遺跡	たぐちおおくぼ	700359	田口字大久保	縄文
田口	63	田口西貝津遺跡	たぐちにしがいづ	700360	田口字西貝津	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
田口	64	田口シウキ遺跡	たぐちしうき	700361	田口字シウキ	平安/鎌倉/室町
田口	65	大崎遺跡	おおさき	700195	田口字大崎	縄文/平安
清崎	66	根ノ後遺跡	ねのご	700344	清崎字根ノ後	縄文
清崎	67	大塚遺跡	おおみね	700226	清崎字大塚	縄文/弥生?/平安/鎌倉
清崎	68	広畑遺跡	ひろはた	700204	清崎字広畑・狐割	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
清崎	69	萩平遺跡	はぎだいら	700205	清崎字山本・水口	戦国～近世
清崎	70	萩平村古屋敷	はぎだいらむらふるやしき	703005	清崎字狐割	戦国～近世?
清崎	71	重原藤代官所	しげはらはんたいかんしょ	703002	清崎字狐割	近代
清崎	72	松戸遺跡	まつど	700334	松戸字家郷・向畑	平安/鎌倉/室町/戦国～近世
清崎	73	松戸下畑遺跡	まつどしたばた	700362	松戸字下畑	鎌倉/室町
清崎	74	松戸城跡	まつどじょうあと	703004	松戸字イサケトチ	戦国～近世?
東納庫	75	大家下遺跡	おおやした	700147	東納庫字岩クラ	鎌倉/室町
東納庫	76	澄川口遺跡	すみかわぐち	700146	東納庫字澄川口	室町
東納庫	77	岩クラ遺跡	いわくら	700148	東納庫字岩クラ	縄文
東納庫	78	長根遺跡	ながね	700149	東納庫字長根	縄文
東納庫	79	長尾遺跡	ながお	700150	東納庫字長尾	縄文
東納庫	80	菅沢山遺跡	すげさわやま	700143	東納庫字菅沢山	弥生 (水神平式)
川向	81	モロ田遺跡	もろだ	700137	川向字モロ田	古墳/飛鳥・奈良/平安
川向	82	市場口遺跡	いちばぐち	700138	川向字市場口	旧石器
川向	83	西長沢遺跡	にしながざわ	700139	川向字市場口	縄文
川向	84	庄之子呂遺跡	しょうのこ	700140	川向字庄之子呂	縄文
八橋	85	八橋杉平遺跡	やつはしすぎたいら	700177	八橋字杉平	縄文
長江	86	御堂山遺跡	みどうやま	700181	長江字御堂山	平安/鎌倉
長江	87	天堤遺跡	あまづつみ	700180	長江字天堤	弥生 (水神平式)
長江	88	長江城跡	ながえじょうあと	700296	長江字松ヶ根	鎌倉/室町
長江	89	尊手平遺跡	そんでびら	700182	長江字尊手平	縄文
長江	90	本江遺跡	ほんえ	700183	長江字本江	平安/鎌倉
長江	91	寺トコ遺跡	てらとこ	700185	長江字田平	鎌倉
長江	92	田平遺跡	たひら	700184	長江字田平	鎌倉/室町
小松	93	下湯分沢遺跡	しもゆぶんざわ	700197	小松字下湯分沢	縄文/鎌倉
小松	94	小松杉平遺跡	こまつすぎだいら	700196	小松字杉平	縄文/平安/鎌倉/室町
田口	95	オリジ遺跡	おりじ	700207	田口字オリジ	縄文
和市	96	清水遺跡	しみず	700209	和市字清水	縄文/鎌倉/室町
和市	97	和市場遺跡	わいちば	700210	和市字和市場	縄文/室町
荒尾	98	寒相遺跡	かんぞう	700208	荒尾字寒相	弥生 (水神平式含む)
荒尾	99	岩古谷城址	いわごやじょうし	700211	荒尾字岩古谷	戦国～近世
荒尾	100	室ノ久保遺跡	むろのくぼ	700212	荒尾字室ノ久保	縄文/鎌倉
荒尾	101	鐘跡場跡	かねいばあと	700298	荒尾字欠田	近世
荒尾	102	欠田遺跡	かけだ	700213	荒尾字欠田	縄文/室町
荒尾	103	上杉沢遺跡	かみすぎのさわ	700214	荒尾字上杉沢	縄文
荒尾	104	中村遺跡	なかむら	700215	荒尾字下貝津	縄文/平安/室町
荒尾	105	上万場遺跡	かみまんば	700216	荒尾字上万場	縄文
荒尾	106	野々瀬遺跡	ののせ	700217	荒尾字野々瀬	縄文
荒尾	107	川向遺跡	かわかど	700218	荒尾字川向	縄文/室町

での土器棺墓が主体となる。川向地区の下延坂遺跡では、弥生時代中期の土器が採集されている。

古墳時代 古墳時代の活動は、不明瞭な部分が多い。名倉地区の丸根古墳や根古屋古墳などの後期古墳は戦前から知られており、昭和7（1932）年刊行『愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告10』にその重要性が指摘されている。

古代・中世 古代以降では、南ヶ岳遺跡（28）で古代の清郷甕の出土が以前から知られていた。滝瀬遺跡（31）では、灰釉陶器とともに、古代の土坑・柱穴やカマドを伴う竪穴建物跡が見つかっている。八橋地区では、さらに北側に向かって当該時期の資料が見つかる可能性がある。また、中世の野鍛冶などを行った活動の場が、万瀬遺跡で見ついている。西地・東地遺跡では、中世～近世の遺構が見つかっており、野鍛冶の跡が調査された。

江戸時代以降 滝瀬遺跡では、発掘調査によって、近世以降と考えられる道路状遺構が見ついている。遺跡内には伊那街道が走っており、見つかった遺構は旧の伊那街道跡の可能性が高い。（川添）

引用文献

川合剛・平井義敏・堀木真美子・川添和暁 2019 「市場口遺跡出土石器群の研究」『研究紀要』20、11-28 頁、愛知県埋蔵文化財センター
 愛知県埋蔵文化財センター 2020 『川向東貝津遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第213集

2. 調査にいたる経緯と調査経過

大栗遺跡は、愛知県教育委員会文化財保護室の分布調査により、『設楽ダム関連遺跡総合事前調査 詳細遺跡分布調査報告書』に事前調査が必要な遺跡として記載された（北村・木川 2007）。国土交通省中部地方整備局による設楽ダム事業の事前調査として、愛知県教育委員会からの委託を受けて、（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施することとなった。

遺跡は、国道 257 号の南側の路肩からおおよそ 5 m 南までは比高差 10m 以上の急斜面となり、そこから南は石垣を築いて 2～3 段の平坦面を造成しつつ、戸神川へとゆるやかに下っていく地形となっている。平坦面は、ある時期まで住居や棚田として利用されてきたが、住居が移転したのち、1950 年代前半には杉の植林がなされて現在に至っている。

本センターとして最初の調査は平成 26（2014）年 6 月である。本遺跡の西部に 14 ヶ所、中央部に 10 ヶ所、南部に 17 ヶ所のテストトレンチを入れた。

西部（図 1-2 の 15 調査区より西側）は土石流堆積を確認したのみで、遺物も 17 世紀以降のものが主体であった。中央部（図 1-2 の 15・16 調査区の北半部）は、最も北側の急傾斜面こそ遺物・遺構はみられなかったが、黒色土の堆積が戸神川近くまで存在し、特に戸神川左岸の緩斜面では縄文時代の石器が出土している。南部（図 1-2 の 15・16 調査区の南半部とそれより南）では、南

表 1-2 大栗遺跡の調査・整理作業工程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当者
平成26（2014）年度			範囲確認調査										鈴木正
平成27（2015）年度				本発掘調査 2,360 m ²							一次整理		樋上・早野
平成28（2016）年度						本発掘調査 3,190 m ²					一次整理		樋上・鈴木恵
令和 2（2020）年度					2次整理・報告書作成作業								樋上
令和 3（2021）年度												刊行	樋上

西側の棚田では表土直下で地山面が露出するとともに遺構・遺物はないが、それ以外の緩斜面では黒色土の堆積を確認し、縄文土器も採取した。

以上の結果を踏まえて、本調査は中央部および南部の北東側を調査範囲とすることが決定した。

本調査は平成 27 (2015) 年の 7～9 月に 2,360 m² (15 調査区)、平成 28 (2016) 年 9～12 月に 3,140 m² (16 調査区) の、合計 5,500 m² の発掘調査を実施した (表 1-2)。

その結果、15 調査区では近代 (19 世紀代) に属する柵列 1 条と土坑多数、さらにほぼ平坦面となる調査区南半部で縄文時代の遺物集中地点を確認した。また 16 調査区では、同じく近代に属する柵列 2 条と土坑多数、縄文時代中期の竪穴建物 1 棟、縄文時代早期の煙道付炉穴 3 基、集石炉 1 基、陥し穴あるいは貯蔵穴とみられる土坑 9 基などを確認した。

遺構図の整理と個別遺構についての記述は設楽地区で現地調査ができない 2 月と 3 月に愛知県埋蔵文化財センターの本部で行い、遺物の整理作業は令和 2 (2020) 年度に行った。縄文土器のトレースについては㈱イビソク、縄文時代の石器の実測・トレースについては㈱ラング、弥生時代以降の土器・陶磁器と木製品の実測・トレースは㈱文化財サービスに作業を委託した。(樋上)

2015 年度調査体制

支援業者：(株) 二友組、現場代理人：吉田哲也、
土木施工管理技士：岡嶋宏明、調査補助員：杉山敬亮、土木測量士：白木宏幸

2016 年度調査体制

支援業者：安西工業 (株)、現場代理人：榊 幸治、
土木施工管理技士：小田晋吾、調査補助員：坂口尚人、土木測量士：北畠誠司

4. 基本層序

大栗遺跡の基本層序については、16 調査区と 15 調査区の境界に設定した 16 調査区西壁土層

断面図 (図 1-4) で説明する。

図 1-3 は、かつての地形図に 15・16 調査区で確認した遺構を重ねたものである。本地形図にはこの一体に杉の植林が行なわれる 1950 年代より以前に存在した住宅のための平坦面と、それを保護するための石垣が表現されている。調査開始時点においてもこの石垣は遺存していたが、16 調査区では遺構面までの比高差が 4 m を超えるため、これを残したままでの調査は危険度が高いことから重機による表土掘削の時点で石垣については除去せざるを得なかった。図 1-4 の破線が調査開始前の地表面の高さである。

この西壁土層断面図によると、石垣は表土直下の 1 層と 2 層が終結する位置にあたる。この石垣より約 5 m 北には柵列 070SA の最西端の柱穴掘方 120SP が 1 層と 2 層の境目にある。この 120SP は本来、1 層上面から掘り込まれていたものである。つまり、15・16 調査区で確認された 3 基の柵列は地形図に残る宅地の石垣よりも古い時期に掘削されていたと推測できる。

5・6・9・16・17 層は水田耕作土で、11・12・13・19・21 層はその畦畔である。120SP は明らかにこの水田耕作土より上から掘り込まれていることから水田が営まれたのは柵列より古いことがわかる。つまり縄文時代よりのちの大栗遺跡の土地履歴は、水田 (棚田) →柵列→宅地と石垣→杉の植林で現在に至る。ただし、水田および柵列に関しては、これに伴う確実な出土遺物がなことから、明確な時期を決めることはできない。

縄文時代中期の遺構は残存状況が悪く、竪穴建物 090SI は水田耕作土の直下で確認している。おそらくは近世の水田造成時に、大幅に削平された可能性が高い。

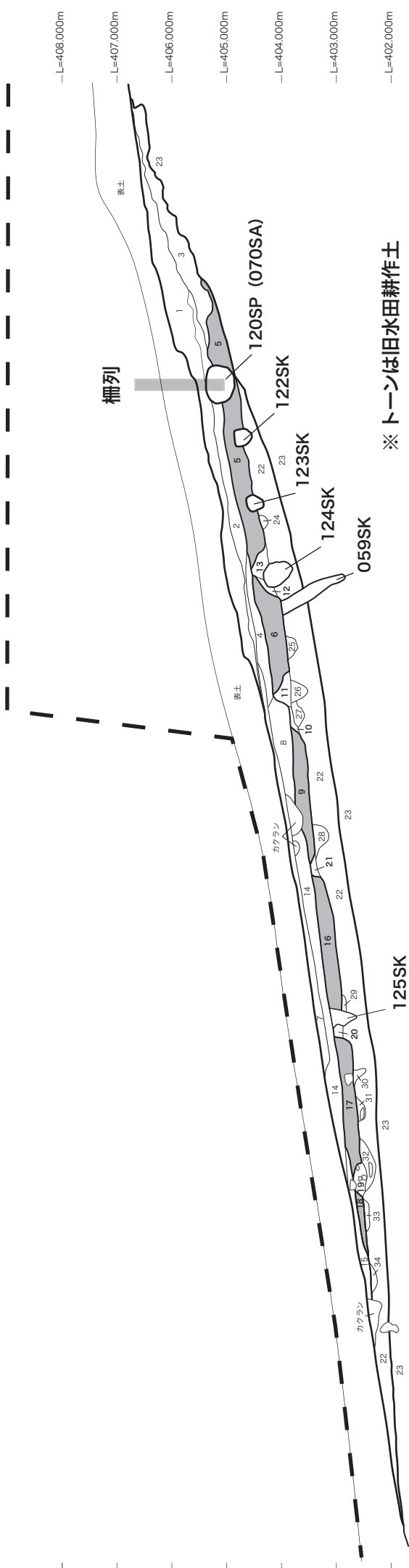
それに対し、縄文時代早期の煙道付炉穴や陥し穴は傾斜面に掘削されていることから、水田造成時の影響は少ない。ただし、陥し穴の深さは検出面から 1 m 程度であることから、縄文時代早期のもともとの地表面よりは少なくとも 1 m 以上削られていると想定できる。(樋上)

16調査区西壁土層断面図

0.0000m 5.0000m 10.0000m 15.0000m 20.0000m 25.0000m

8
大瀬 礎跡

石垣



※ トーンは旧水田耕作土

- 1 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘性やや強い。しまりやや強い。φ10cm以下の角礫が少量混じり少ない。
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 明黄褐色土ブロック状に混じる。
- 3 10YR3/1 黒褐色シルト φ10cm以下の礫、明黄褐色土ブロック状に混じる。
- 4 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性やや強い。φ10cm以下の礫（一部の礫は凝結し赤色化）。
- 5 10YR2/1 黒色シルト 粘性やや強い。φ10cm以下の礫少量混じる。耕作土と混じる。
- 6 10YR2/1 黒色シルト 粘性やや強い。φ5cm以下の礫、明黄褐色土が粒状に混じる。耕作土。
- 7 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性やや強い。φ5cm以下の礫少量混じる。
- 8 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性やや強い。φ10cm以下の角礫多く混じる。
- 9 10YR2/1 黒色シルト 粘性やや強い。φ5cm以下の角礫、明黄褐色シルトを粒状に混じる。耕作土。
- 10 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性やや強く固くしめる。畦。
- 11 10YR3/2 暗褐色シルト 粘性やや強い。固くしめる。畦。
- 12 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性やや強い。固くしめる。畦。
- 13 10YR2/3 暗褐色シルト 粘性やや強い。φ5cm以下の礫少量混じる。畦。
- 14 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性やや強い。φ10cm以下の角礫少量混じる。耕作土。
- 15 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性やや強い。φ10cm以下の角礫混じる。
- 16 10YR2/2 黒褐色シルト 粘性やや強い。耕作土。
- 17 10YR2/1 黒色シルト 粘性やや強い。耕作土。
- 18 10YR2/2 暗褐色シルト 粘性やや強い。耕作土。
- 19 10YR3/3 暗褐色シルト 粘性やや強い。φ10cm以下の礫多く混じる。畦。
- 20 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性やや強い。φ5cm以下の礫少量混じる。畦。
- 21 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性やや強い。しまりやや強い。畦。
- 22 10YR3/4 暗褐色シルト 粘性やや強い。しまりやや強い。φ10cm以下の角礫が少量混じり下位の23層との境界は漸移的な変化。23層の土壌化層。
- 23 10YR4/6 褐色シルト 粘性強い。しまり強い。φ50cm以下の風化岩が多く混じり、土も風化岩を基にしている。地山。
- 24 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト 黒褐色シルトがブロック状に多く混じる。
- 25 10YR3/2 黒褐色シルト φ5cm以下の礫多く混じる。
- 26 10YR3/2 黒褐色シルト しまり弱い。
- 27 10YR3/2 暗褐色シルト φ10cm以下の礫少量混じる。
- 28 10YR2/3 暗褐色シルト φ10cm以下の礫少量混じる。
- 29 10YR2/3 暗褐色シルト φ10cm以下の礫少量混じる。
- 30 10YR3/3 暗褐色シルト 植栽痕と混じる。
- 31 10YR3/3 暗褐色シルト φ20cm以下の角礫多く混じる。石の抜き取り痕か。
- 32 10YR3/3 暗褐色シルト φ20cm以下の風化岩混じる。上層の影響による変化か。
- 33 10YR3/1 黒褐色シルト φ5cm以下の薄明黄褐色土がブロック状に混じる。
- 34 10YR3/3 暗褐色シルト しまり弱い。植栽痕。
- 059SK 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含み、細礫を含む。
- 120SK 1 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト しまり弱い (070SAの続き)
- 122SK 1 10YR3/1 黒褐色シルト しまり弱い。明黄褐色土粒状に混じる。
- 123SK 1 10YR3/1 黒褐色シルト しまり弱い。明黄褐色土粒状に混じる。
- 124SK 1 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト しまり弱い。断面中の土坑。
- 125SK 1 10YR3/1 黒褐色シルト しまり弱い。断面中の土坑。

図 1-4 2016年度調査区 西壁土層断面図 (S=1:100)

第2章 遺構と遺物

1. はじめに

大栗遺跡で確認した遺構・遺物は、縄文時代早期・縄文時代中期・弥生時代・古代・中世・近世・近代と極めて幅が広い。

ただし、このうち明確に遺構と遺物の所属時期が合致するのは縄文時代早期・縄文時代中期・古代～近代の3時期にとどまる。

以下、遺構については上記3時期に分けて特に注目すべきものを記述し、遺物は縄文時代の土器、縄文時代の石器、弥生時代～近代の土器・陶磁器、近代の木製品の順に記述を進める。(樋上)

2. 縄文時代早期の遺構

縄文時代早期の遺構としては、15調査区で確認した遺物集中地点のほか、煙道付炉穴3基、屋外炉2基、陥し穴とみられる土坑9基を数える。

15調査区 遺物集中地点 (図2-3)

遺構ではないが、15 A区中央やや北寄りの南西向きの緩斜面、5724グリッドから5824グリッドにかけて縄文時代から弥生時代の遺物がやや集中して出土する範囲を検出した。

遺物は巨礫を含む礫層の上位を被覆する10YR3/4暗褐色シルト層、10YR6/1褐色細粒砂層に多く包含されていた。

出土遺物として、押型文土器を含む縄文土器、熔結凝灰岩、チャート、黒曜石製の剥片、石鏃等がある。(早野)

16調査区 042SL (図2-4)

16調査区西壁中央近くの5425グリッドに位

置する被熱を伴う炉跡。平面形は長軸0.6m、短軸0.4mを測る。長軸が等高線に直交する状態で検出された。埋土は炭を多く含む。内部の炭化物複数をサンプリングし分析を行った結果、縄文時代早期前葉(約8900年前)の年代が得られた。これにより042SLは煙道付炉穴の一部と考えられる。

煙道付炉穴の底面の一部が残存したと考えられるが、本調査により掘削を行った窪み状の部分、炉穴の崩落等により形成された可能性があり、本来の構造とは異なるかもしれない。赤変した被熱部分の規模は、119SL、246SLとほぼ同じであり、本来は246SLと同様の規模と想定される。

16調査区 119SL (図2-4)

16調査区北側中央付近の5526グリッドに位置する。長軸0.61m、短軸0.41mを測る。042SL同様、検出当初は鍛冶炉の可能性を考えていたが、長軸が等高線に直交する状況からも煙道付炉穴の残欠である可能性を考えたい。サンプリングした炭化物の分析結果によれば、遺構の年代は縄文時代早期前葉(約8900年前)を示す。

16調査区 246SL (図2-5)

16調査区南西寄りの5727グリッドに位置する煙道付炉穴。長軸1.77m、短軸1.17m、深さ0.54mを測る。検出当初は平面形から遺構を完全には把握できず、断ち割りを行った結果、煙道付炉穴と判明した。上層部分は植栽等の影響を受け、トンネル上位の掘り残し部分は確認できなかったが、下層には強く被熱した底面および側面、煙道が確認できる。層中には炭化物を多量に含んでおり、量は下層ほど多い。

以下、残存部分よりの推定だが、煙道は最

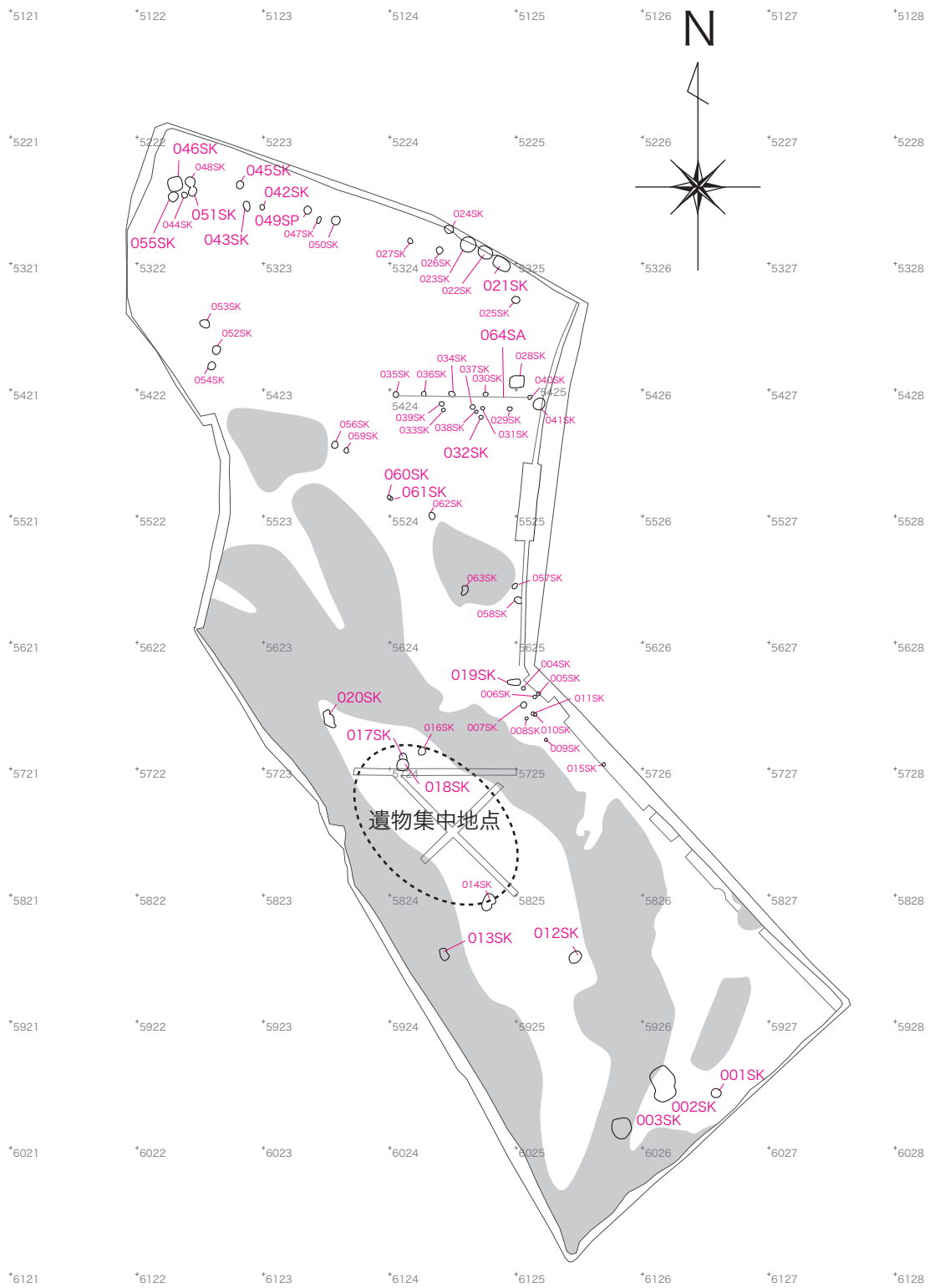


图 2-1 15 調査区略测图 (S=1:500)

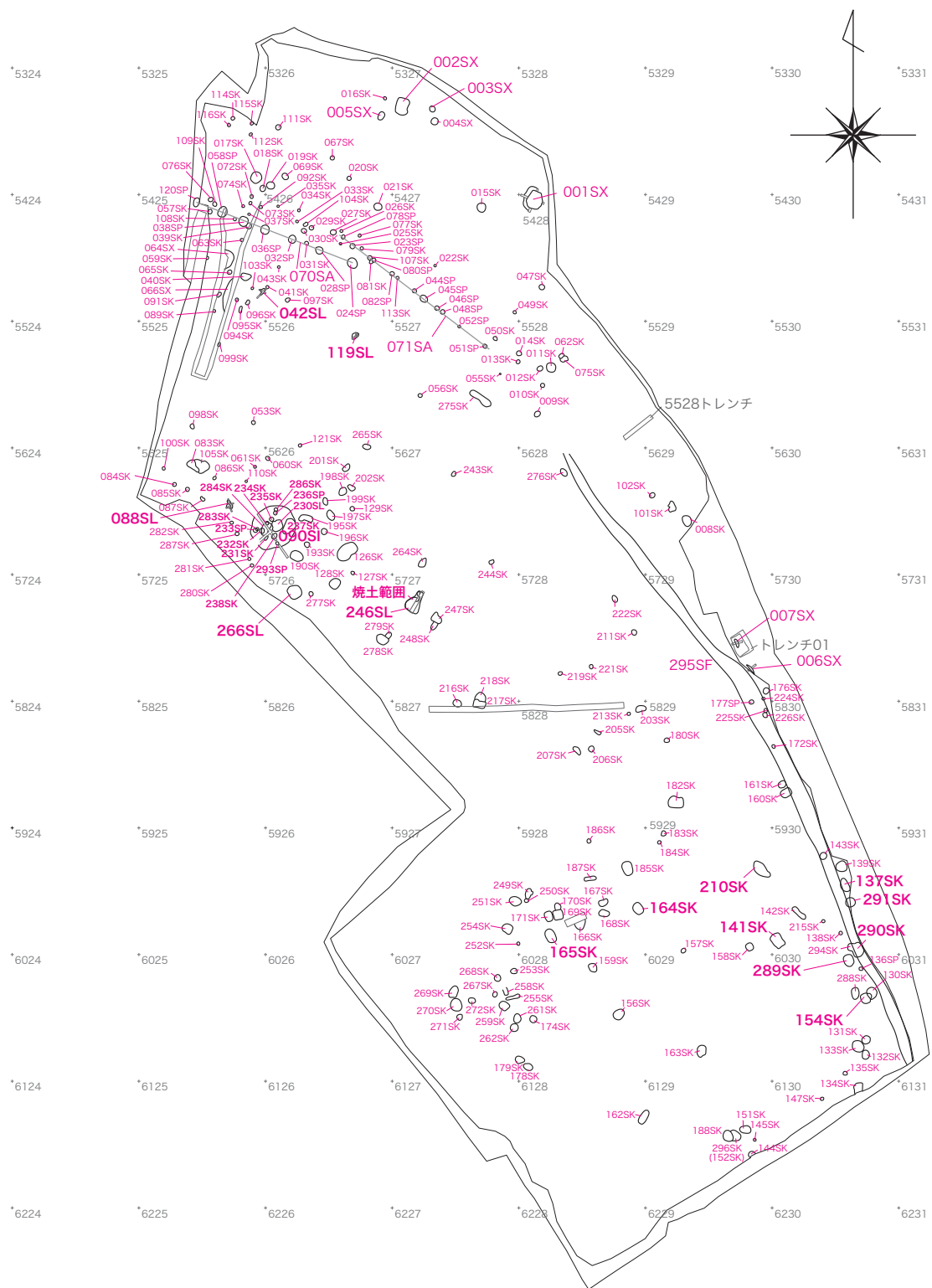


図 2-2 16 調査区略測図 (S=1:500)

も狭い部分で 12cm × 15cm、煙道開口部は径 35cm、燃烧部側焚き口は幅 40cm、高さ 20cm、燃烧部の底面部平面形は奥行き 80cm、幅 60cm である。遺物の出土は見られなかった。

近隣での煙道付炉穴の検出事例は、豊田市域の旧稲武町ヒロノ遺跡、下り山遺跡。同じ豊川流域では新城市石座神社遺跡に見られる。

16 調査区 088SL (図 2-6)

16 調査区北西角の 5625 グリッドに位置する。長軸 0.75m、短軸 0.49m を測る。内部は粘性の強い埋土であり、炭化物を多く含む。埋土部分の底部には被熱があまり強く見られず、縁辺部に強く被熱が集中し、一部は硬化している。

042SL や 119SL が等高線に直交する長軸線を持つのに対し、旧地形は不明ながら、088SL は検出面の現況ではこれらと異なる方位を持っているように見える。

サンプリングした炭化物の分析結果による年代は縄文時代早期前葉から現代に至る年代が示されており、再堆積した炭化材の可能性が指摘された。そのため遺構の年代は不明である。

16 調査区 266SL (図 2-6)

246SL 西の 5726 グリッドに位置する集石土坑である。長軸 1.06m、短軸 1.04m のほぼ円形の平面形で、深さは 0.38m を測る。上層部分には径 10cm 以上の垂角礫が多く入り、埋土全体には多量の炭が含まれる。含まれる垂角礫には赤変したものも見られた。礫は安山岩系の石材であり、遺構の周辺に存在する礫と見られる。サンプリングした炭化物の分析結果による年代は鎌倉～室町時代を示しており、所属時期には再考を要する。(以上、鈴木)

16 調査区 137SK (図 2-7)

16 調査区南東隅近くの 5930 グリッドに位置する開口部が楕円形の土坑。開口部は長軸 1.2m、短軸 0.65m で、底部は直径 1.2m の円形を測り、

断面が袋状を呈する。貯蔵穴の可能性もあるが、ここでは周辺の遺構から縄文時代早期の陥し穴と想定しておく。

16 調査区 141SK (図 2-7)

5929 グリッドの比較的急傾斜面に位置する平面が長方形の土坑で、長辺が 1.15m、短辺が 0.86m、深さは検出面から約 0.5m を測る。その平面形状と、同様の土坑がこのエリアに集中することから、縄文時代早期の陥し穴である可能性が高い。

16 調査区 154SK (図 2-7)

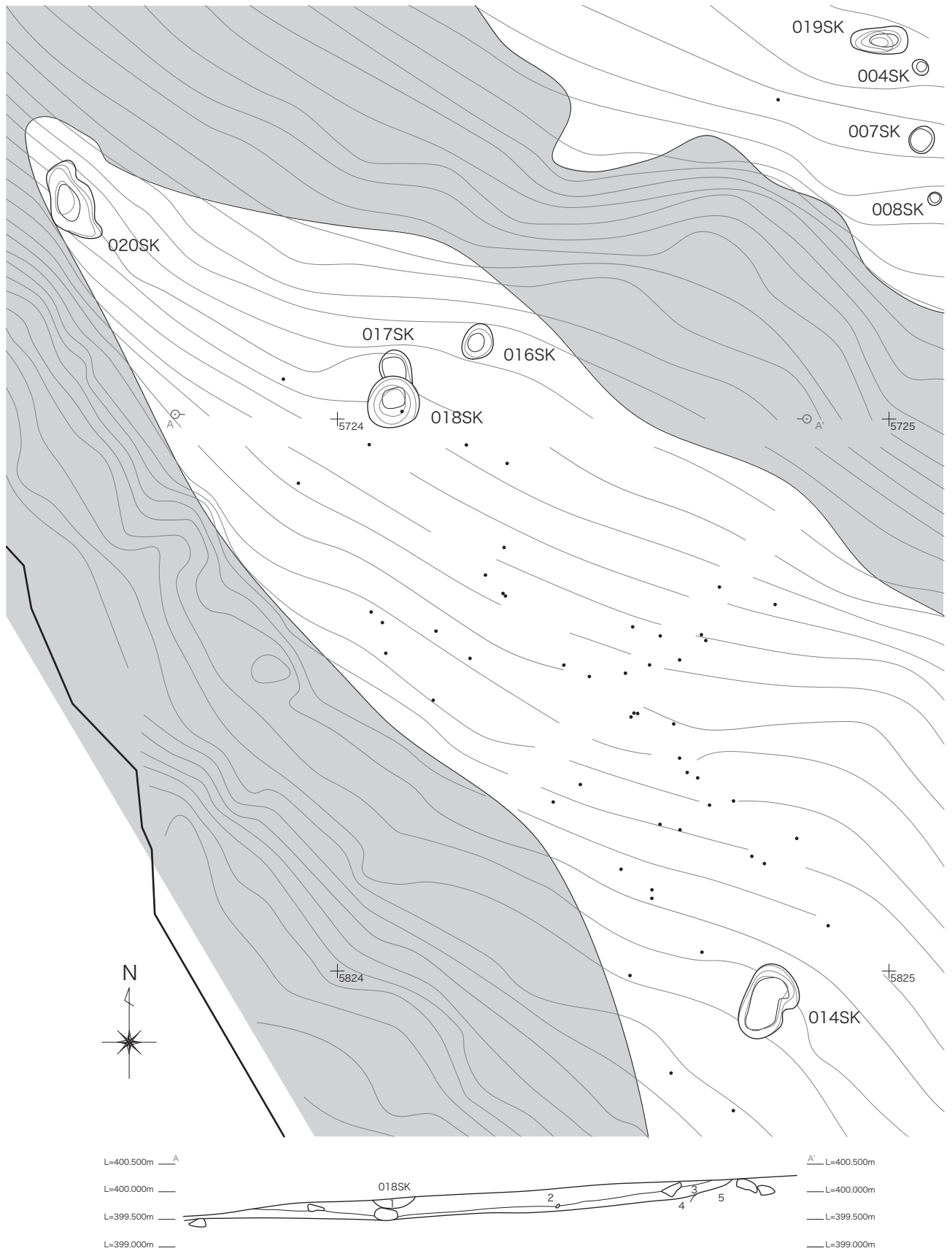
141SK の南東約 8m の 6030 グリッドに位置する土坑。開口部は直径およそ 7m の円形で底部は長軸 9.0m、短軸 8.0m を測る。断面形状は中央部がいったんすぼまる袋状を呈する。137SK と同様、貯蔵穴の可能性も有するが、ここでは縄文時代早期の陥し穴としておく。

16 調査区 164SK (図 2-7)

141SK 西側 5928 グリッドの急傾斜面から緩斜面に移る傾斜変換点に位置する平面が隅丸方形を呈する土坑で、長辺が 0.93m、短辺が 0.75m、深さは検出面から 0.83m を測る。この土坑はきわめて遺存状態が良く、周壁がほぼ垂直に落ち、かつ底部に杭の痕跡が認められることから、縄文時代早期の陥し穴であることはほぼ確実である。急傾斜面に掘削された 210SK と平坦面にある 165SK の中間に位置している。

16 調査区 165SK (図 2-8)

164SK の約 6m 南西側 5928 グリッドに位置する平面が楕円形の土坑で、長軸が 1.13m、短軸が 0.75m、深さは検出面から 0.6m を測る。この土坑も 164SK と同様に、底面の中央に杭の痕跡が残っており、縄文時代早期の陥し穴と考えられる。



- 1 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 細礫を少量含む。(018SK)
- 2 10YR3/4 暗褐色 中粒砂少量含む細粒砂層 黒色細砂の小ブロックを含み、にぶい黄褐色細砂ブロックを少量含む、黄褐色細砂の小ブロックを少量含む。
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 中砂少量含む細砂層 褐色細砂ブロックを多量に含む、黒色細砂の小ブロックを含む。
- 4 10YR6/1 褐灰色 中粒砂少量含む細粒砂層
- 5 10YR4/6 褐色 中粒砂含む細砂層 黒色細砂の小ブロックを少量含む。

図 2-3 15 調査区 遺物集中地点 (S=1:100)

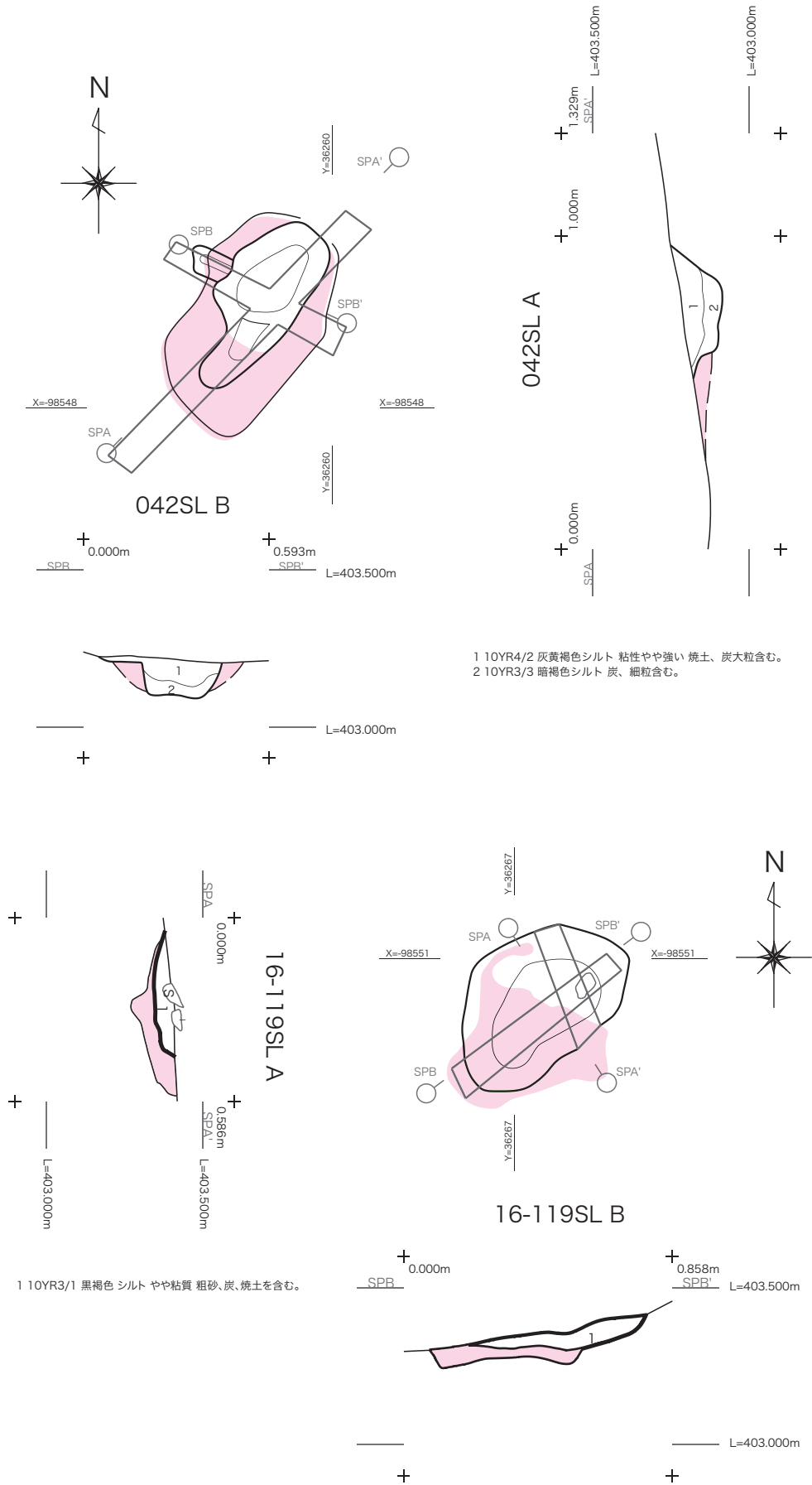
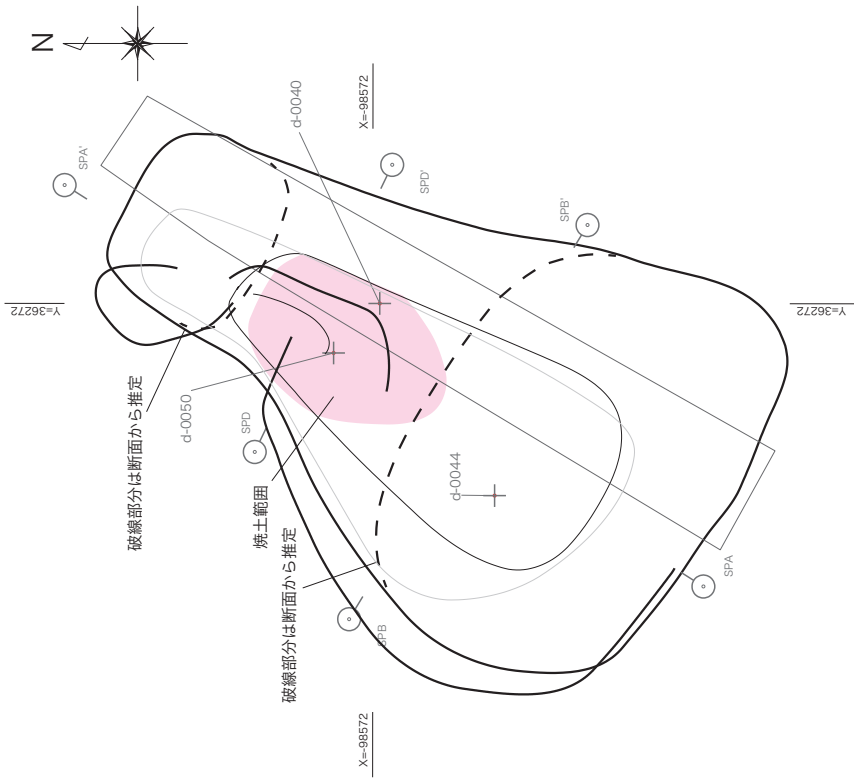
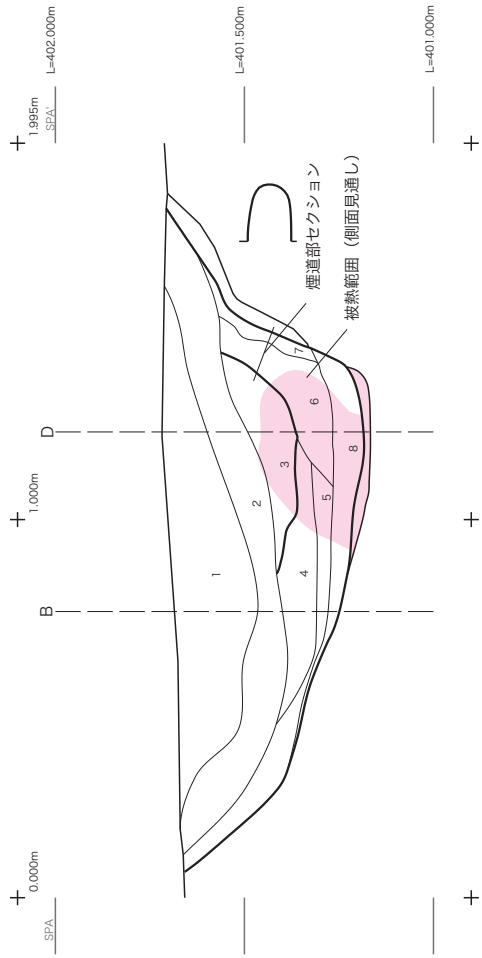


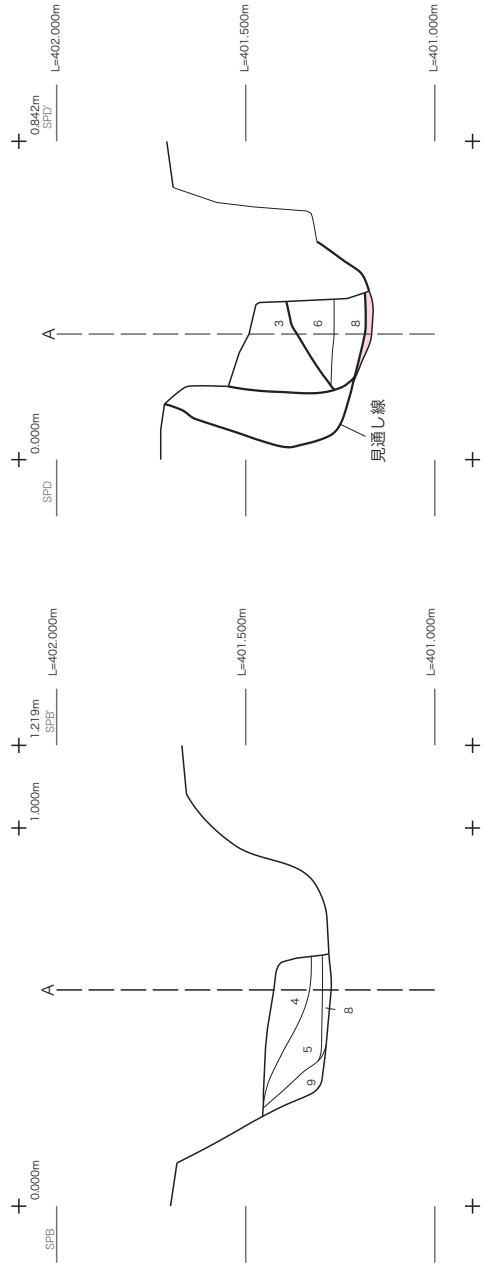
図 2-4 16 調査区 煙道付炉穴 042SL・119SL (S=1:20)



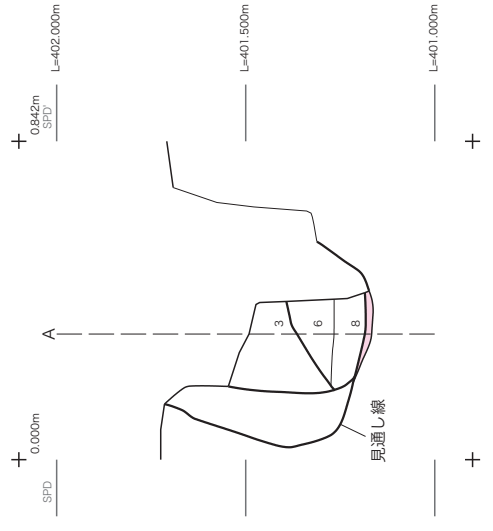
16-246SL A



16-246SL B

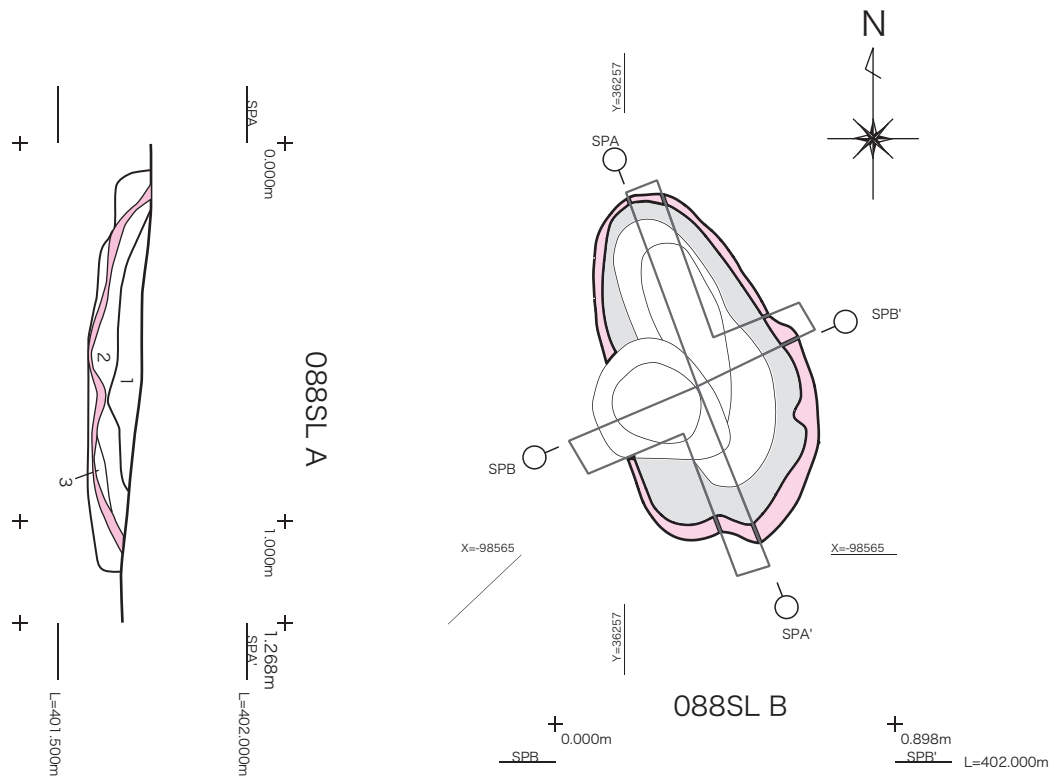


16-246SL D

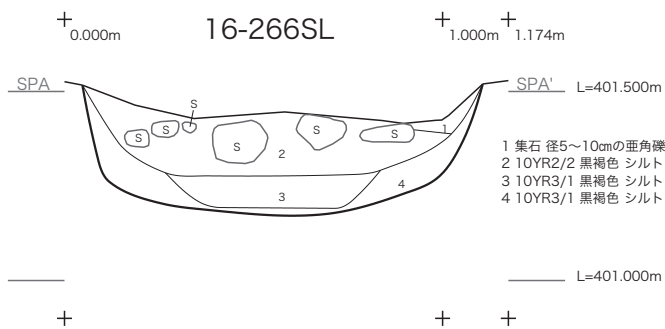
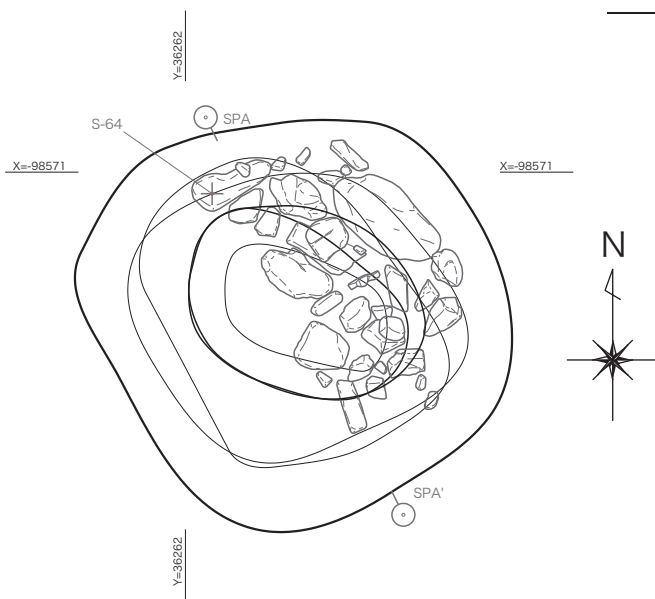
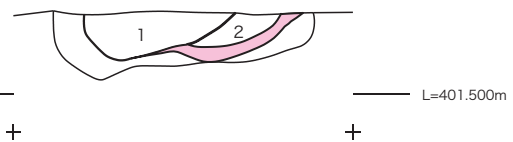


- 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂 中礫の亜角礫を多く含む。
- 2 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト やや粘質 粗砂を含む。
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト やや粘質 細砂を含む。
- 4 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト やや粘質 粗粒砂、細砂を含む。
- 5 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト やや粘質 細砂、灰、焼土を含む。
- 6 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト 粘質 細砂を含む。
- 7 10YR5/6 黄褐色シルト やや粘質 粗砂を含む。
- 8 10YR5/6 黄褐色シルト やや粘質 灰、焼土を含む。
- 9 10YR5/6 黄褐色シルト やや粘質 細砂を含む。

図 2-5 16 調査区煙道付炉穴 246SL (S=1:20)

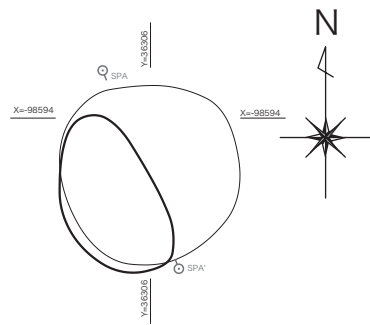


- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロック、2層ブロックを含む。
- 2 10YR6/2 灰黄褐色粘土質 シルト。
- 3 10YR6/2 灰黄褐色粘土質 シルト 炭少量含む。

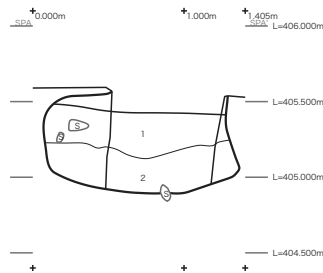


- 1 集石 径5~10cmの亜角礫。長さ30cmの礫あり。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 炭を多く含む。
- 3 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含み、中礫の亜角礫含む。
- 4 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロック、中礫の亜角礫を含み、炭を少量含む。

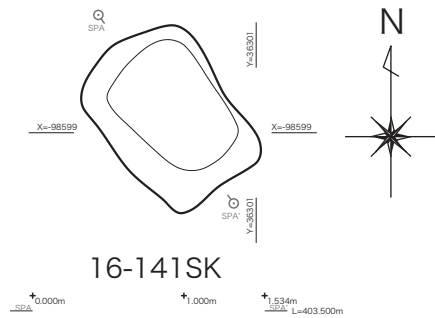
図 2-6 16 調査区 屋外炉 088SL・266SL (S=1:20)



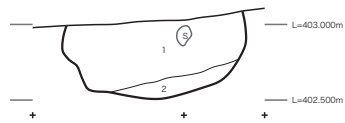
16-137SK



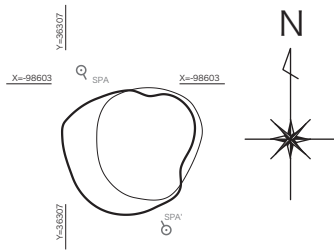
- 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂 10YR5/6 黄褐色シルトブロック少量混じる。
- 2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂 10YR5/6 黄褐色シルトブロック多く混じる。φ10cm大礫含む。



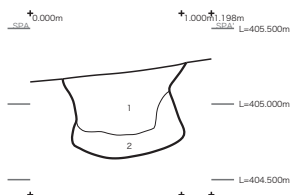
16-141SK



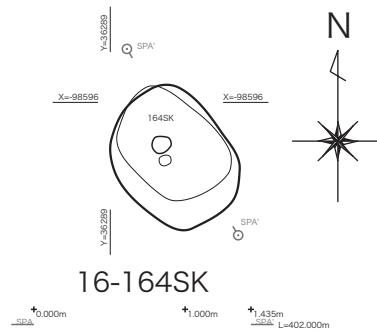
- 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色シルトブロックを少量、中礫の歪角礫を含む。
- 2 10YR5/3 にぶい黄褐色シルト 粘性強い 極粗砂、中礫の歪角礫を含む。



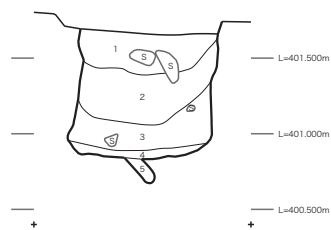
16-154SK



- 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含み、炭を含む。
- 2 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性強い 黄褐色シルトブロックを少量含む。

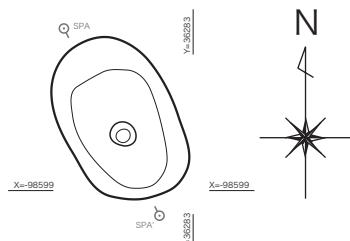


16-164SK

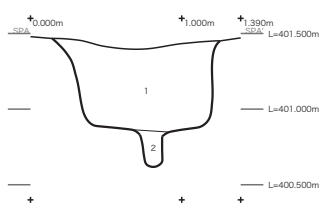


- 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂含む。径20cmの大礫の歪角礫あり。
- 2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含み、中礫の歪角礫を含む。
- 3 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色シルトブロックを多く含む。径20cmの大礫の歪角礫を含む。
- 4 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを含む。
- 5 10YR4/2 灰黄褐色シルト 粘質 粗砂を含み、黄褐色シルトブロックを少量含む。

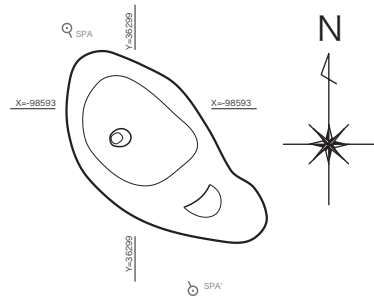
図 2-7 16 調査区 陥し穴 137SK・141SK・154SK・164SK (S=1:50)



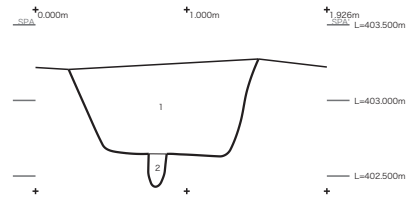
16-165SK



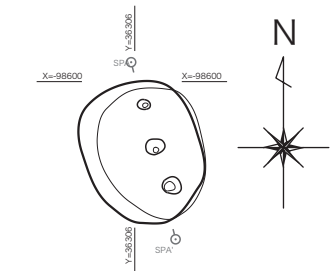
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含み、炭を含む。
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 粘質 粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



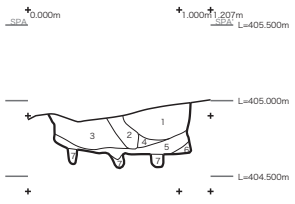
16-210SK



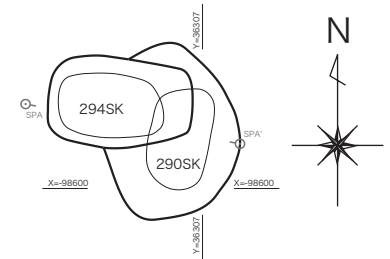
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 下部に 黄褐色 シルトブロックを多く含む。
- 2 10YR5/4 にぶい黄褐色 シルト やや粘質 中礫の亜角礫を多く含む。



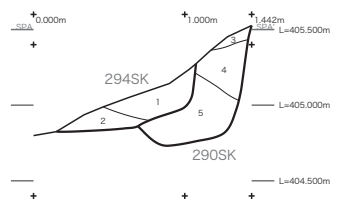
16-289SK



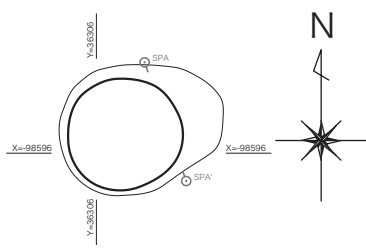
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。
- 2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。
- 3 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含み、細礫含む。
- 4 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。
- 5 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。
- 6 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。
- 7 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 粘質 粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



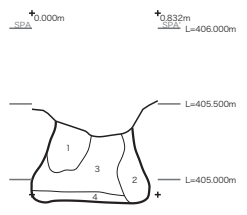
16-290SK 294SK



- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂 黄褐色 シルトブロックを少量含む。(294SK)
- 2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。(294SK)
- 3 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘性強い 黄褐色 シルトブロックを多く含む。(290SK)
- 4 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘性強い 黄褐色 シルトブロック、炭を含む。(290SK)
- 5 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘性強い 粗砂、黄褐色 シルトブロックを多く含む。(290SK)



16-291SK



- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。
- 2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、黒色 シルトブロックを含む。
- 3 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。
- 4 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。

16 調査区 210SK (図 2-8)

141SK 北側 5929 グリッドの急傾斜面に位置する平面が楕円形を呈する土坑で、長軸が 1.7m、短軸が 0.85m、深さは検出面から 0.6m を測る。164・165SK と同様、この土坑にも底面に杭の痕跡があり、縄文時代早期の陥し穴である可能性がきわめて高い。

16 調査区 289SK (図 2-8)

16 調査区南東隅 6030 グリッドの急傾斜面に位置する平面が楕円形を呈する土坑で、長軸が 0.9m、短軸が 0.75m、深さは検出面から 0.35m を測る。底面には超軸方向に沿って 3ヶ所の小孔があり、杭の痕跡と考えられる。縄文時代早期の陥し穴である可能性が高い。

16 調査区 290SK (図 2-8)

289SK の北側 5930 グリッドに位置する平面が楕円形の土坑で、294SK に切られる。規模は長軸が 1.1m、短軸が 0.9m、深さは検出面から 0.75m を測る。杭の痕跡はないが、土坑の形状から縄文時代早期の陥し穴である可能性が高い。

16 調査区 291SK (図 2-8)

290SK の北約 2m の 5930 グリッドに位置する断面が袋状の土坑。開口部は直径 0.75m のほぼ正円で、底部は長軸 1.1m、短軸 0.85m の楕円形を呈する。これも 137SK・154SK と同様、貯蔵穴の可能性もあるが、ここでは縄文時代早期の陥し穴としておく。(以上、樋上)

3. 縄文時代中期の遺構

縄文時代中期に属する遺構は、16 調査区南西隅の平坦面で確認できた竪穴建物 090SI と、それに伴う石囲炉 230SL である。

16 調査区 090SI

16 調査区北西角付近の 5625・5626 グリッ

ドに位置する竪穴建物跡。長軸 3.66m。短軸 3.23m を測る。

上面に植林された杉が存在した他、耕作地として整備された後の攪乱を多く受けており、遺構の残存状況は悪く遺構底面を残すのみ。中央わずかに東寄りに石囲炉 230SL がある。柱穴の残存状況も明瞭では無いが、位置から 233SP、236SP、293SP が想定される。

遺物の出土は少なく、土器が数点確認されているがいずれも縄文時代中期と考えられ、090SI の年代もこれに伴うものと考えられる。

16 調査区 230SL

090SI の中央やや東よりに位置する石囲炉。長軸、短軸ともに 0.79m、深さ 0.29m を測る方形の掘方をもつ。底面と側面下半部は被熱して赤変しており、礫の下半部にも赤変が見られる。計 6 個の礫を用いて構築され、礫の並びはややいびつな五角形状となる。礫は最大で、長軸 58cm、短軸 22cm を測る。礫の一つ (S-63) は破損した石皿と考えられ、炉材として転用された可能性が考えられる。(以上、樋上)

4. 縄文時代の土器

大栗遺跡での縄文土器の出土点数は計 38 点で、37 点を図化した (図 2-13)。ここでは、出土別に土器の様相について報告していく。

15 調査区 002SK 出土土器 (1～3)

いずれも深鉢胴部細片で、1 は胴部下半と考えられる。1・2 は器面調整がナデ・ケズリであり、時期の特定は難しいものの、中期後半～後期前葉までのものと考えられる。3 は、器面表に巻貝条痕が認められることから、後期中葉～後葉に属するものと考えられる。

15 調査区 出土土器 (4～15)

いずれも深鉢胴部片である。

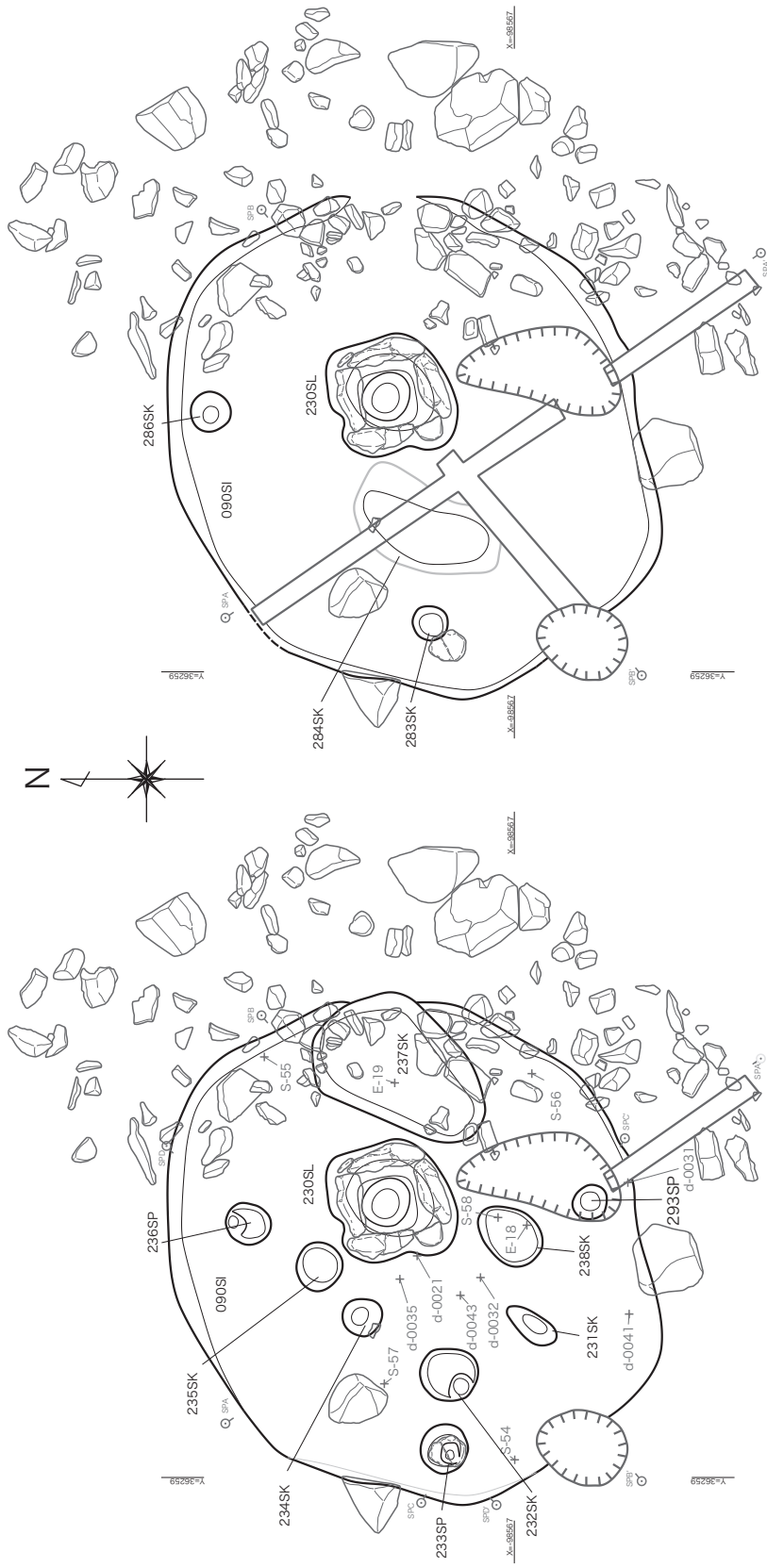
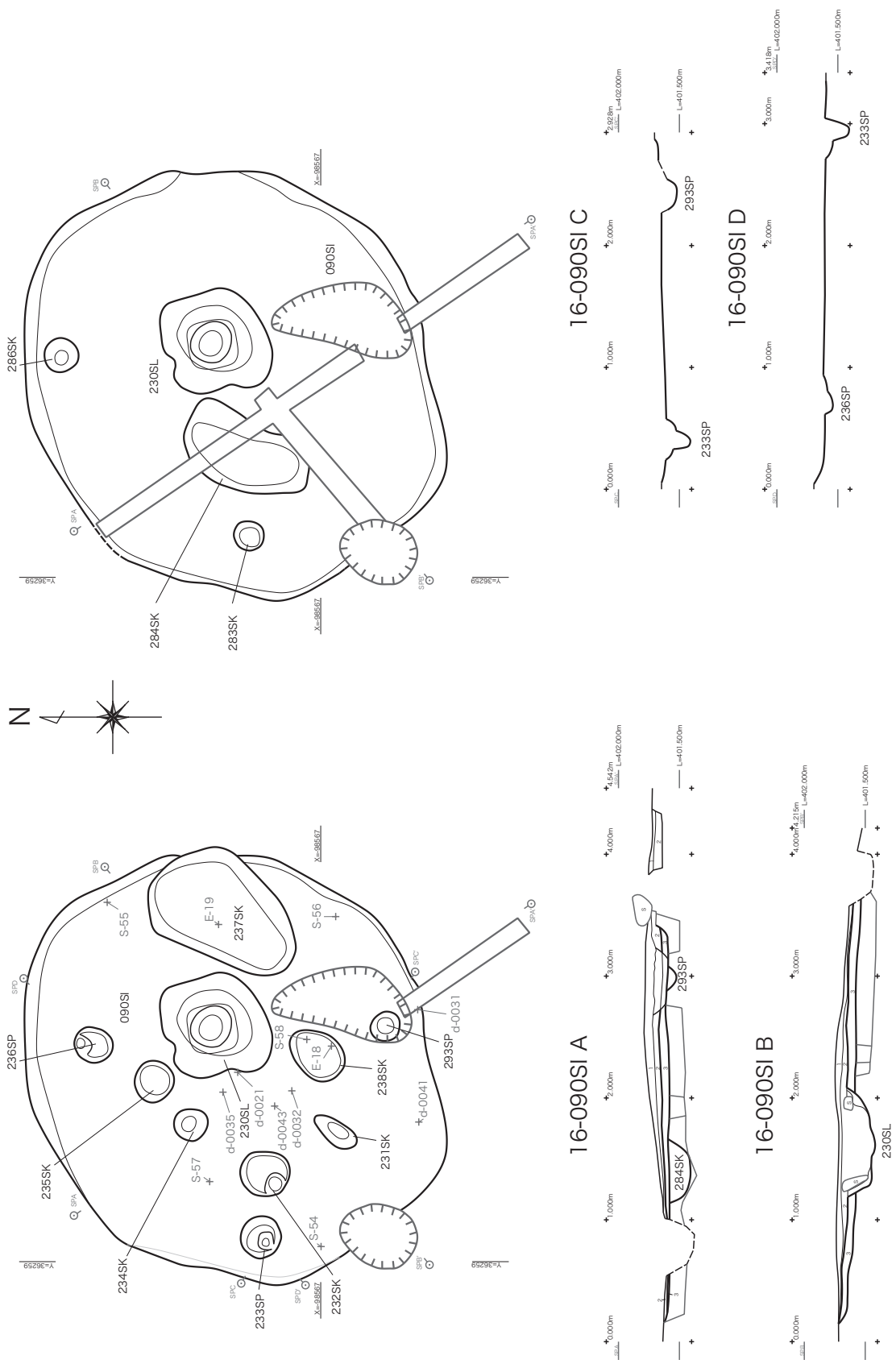
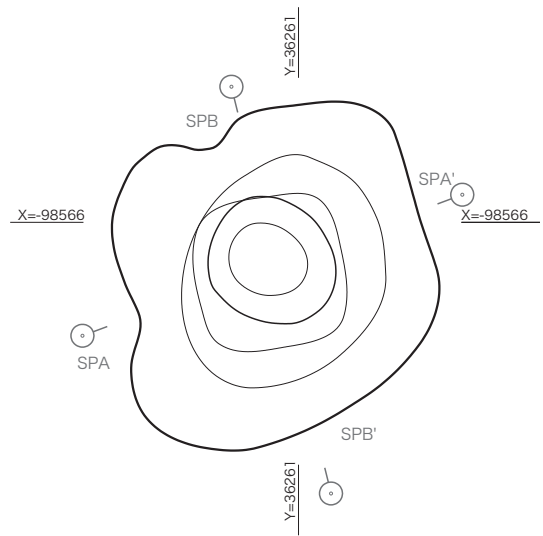
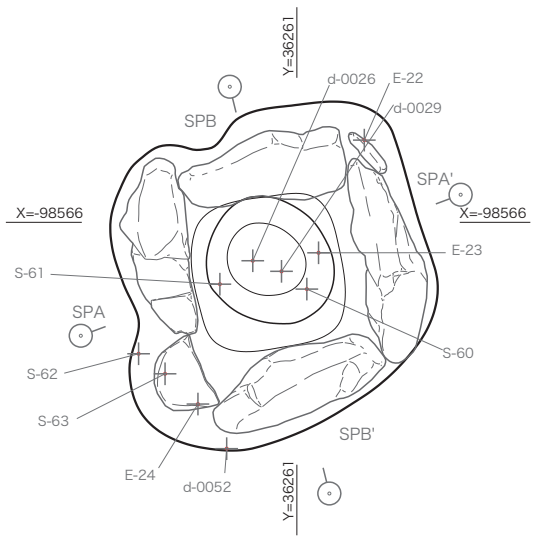


图 2-9 16 調査区 竪穴建物 090SI-1 (S=1:50)



- 1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、細礫含む。耕作土
- 2 10YR5/1 補灰色シルト やや粘質 中粒砂、黄褐色シルトブロックを少量含む、炭を含む。(覆土)
- 3 10YR5/4 黒褐色シルト やや粘質 粗砂含む。(床層)

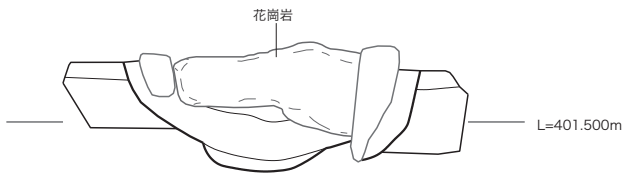
図 2-10 16 調査区 竪穴建物 090SI-2 (S=1:50)



16-230SL 立面図 A



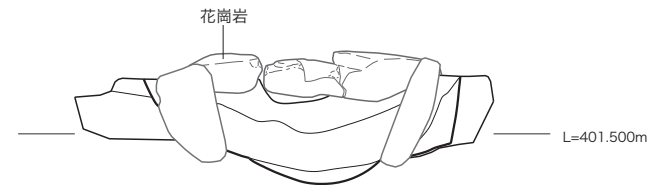
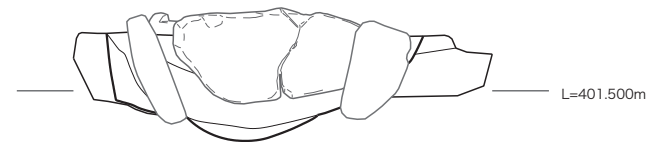
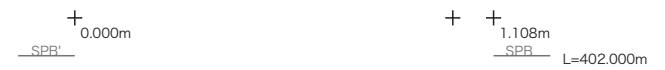
16-230SL 立面図 A'



16-230SL 立面図 B



16-230SL 立面図 B'



4～11は、遺構検出段階で出土した資料、12～15は表土掘削や表採された資料である。

4は早期前半で、方形状のネガティブ押型文で、大川式（萩平タイプ）に比定されるものと考えられる。5・6は早期後半で、胎土内に繊維を包含する。

7は表面に沈線、内面に巻貝条痕の認められる土器で、後期中葉以降に属するものである。

8・9は詳細な時期特定は難しいものの、中期後半～後期前葉の資料と推定される。13も同様の時期に属するものと考えられるもので、表面に沈線区画が展開している。

10は、表面にハケ目認められる甕で、弥生時

代に属するものと考えられる。

11・14は表面に二枚貝条痕の認められるもので、胴部上半である11では横方向、底部に近い14では斜方向に施されている。晩期に属すると考えられるが、前半か後半かは不明である。

12は表面に半截竹管状工具によるカマボコ状の集合沈線の認められるもので、中期中葉に属するものである。山田平式に比定されるものか。

16 調査区 090SI 出土土器 (16～20)

17・18は深鉢口縁部片、16・19・20は深鉢胴部片である。

16は断面形状が四角く角張った幅広の沈線が、併行して弧状に施されているものである。図面右側から左側に向かって、同心円構造を持つものかもしれない。17はやや厚手の口縁部直下に横沈線が認められるもので、やや内傾する器形となっている。18は大きな波状を呈する深鉢で口縁端部のみやや内傾する器形と考えられる。やや薄手で、ナデ調整である。19は胴部下半と考えられるが、横方向沈線が認められる。以上、これらの土器は、いずれも中期後半の取組式以降と考えられるものであり、これが090SIの機能していた時期の土器であると考えられる。

20はやや長方形を呈するネガティブ押型文の認められる、早期前半に属するものか。竪穴建物跡付近にあった早期前半の包含層から入り込んでものと考えられる。

16 調査区 170SK 出土土器 (21)

21は、ナデ調整の深鉢胴部片で、胎土に繊維を包含するものである。早期後半に属する。

16 調査区 230SL 出土土器 (22～24)

いずれも深鉢胴部片で、ナデ調整を基本

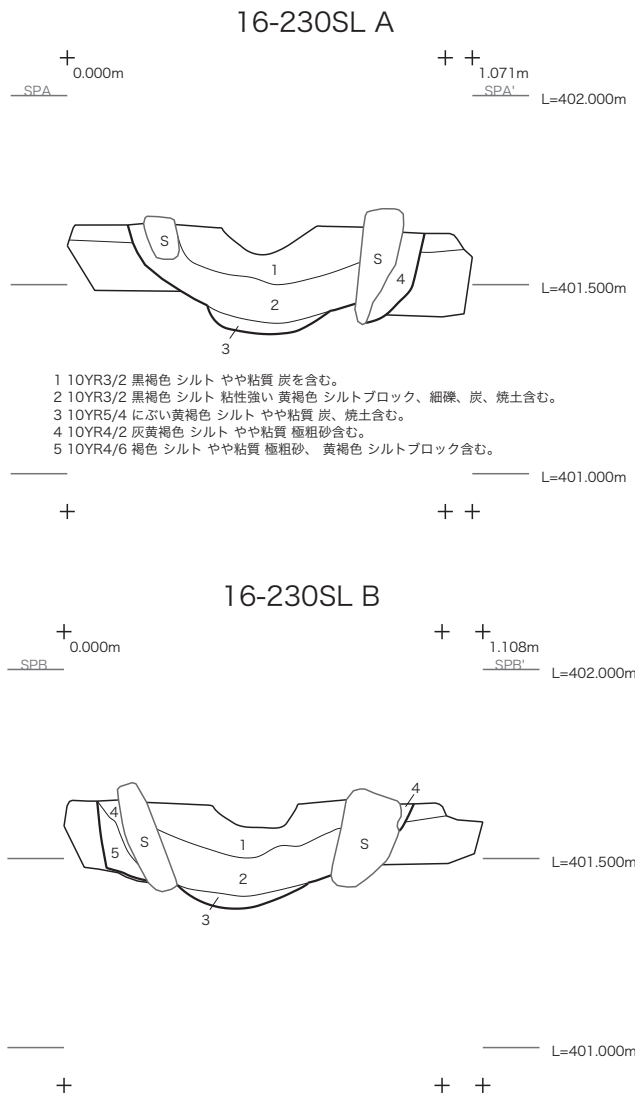


図 2-12 16 調査区 竪穴建物 090SI の石囲炉 230SL-2 (S=1:20)

とする。22は外面に縄文RLが横方向に展開するもので、後期初頭～前葉に属すると考えられる。

16 調査区 266SK 出土土器 (25)

深鉢胴部片で、表裏ともナデ調整である。表面には縦方向に条線が施されている。中期末まで遡る可能性もあるものの、これまでの設楽町内での出土事例を勘案すると、後期初頭～前葉に属する可能性が高い。

16 調査区 284SK 出土土器 (26)

深鉢胴部片で、若干長方形状を呈するネガティブ押型文のある早期前半に属するものである。大川式(萩平タイプ)に比定されるものか。

16 調査区 出土土器 (27～32)

いずれも深鉢胴部片であるが、早期に属するものが多い。27は縦位方向に撚糸文の施されているものである。28は表面に長細いネガティブ押型文が認められるもので、神宮司式に比定されるものか。29はや大きなポジティブな楕円押型文で、胎土に繊維を包含するものである。黄島式～高山寺式に比定されるものか。30・31は二枚貝条痕調整の認められるもので、胎土に繊維を含む。早期後半に属するものである。32は胴部ナデで、中期～後期に属するものと考えられる。

本調査 A 出土土器 (33～37)

これらも深鉢胴部片である。33は縦位方向に撚糸文の認められるもので、早期前半に属する。34は繊維を含む胎土で、表には半截竹管状工具による沈線と、縄文が施されている。茅山下層式に比定されるものと考えられる。35は表面に縦方向に条線が認められるもので、後期初頭～前葉に属するものであろう。36は表面に二枚貝条痕調整の認められる晩期の土器、37はナデ調整で時期不詳であるが、中期後半～後期前葉に属するものと考えられる。(以上、川添)

5. 縄文時代～弥生時代の石器

今回の調査で出土した石器は、144点で、そのほとんどが縄文時代に属するものである。内訳は、石鏃2点(39・40)、削器2点(66・54)、楔形石器1点(45)、加工痕ある剥片6点(1・6・7・55・80)、剥片113点((2～5・8～35・41～44・46・47・49・50・52・56・59～62・64・67～69・73・75・77～79・81)、碎片1点、石核4点(36・37・70)、打製石斧1点(57・76)、磨製石斧1点(74)、石錘1点(51)、礫器状石核1点(38)、磨石・敲石類7点(53・58・65・71・72)、台石3点(48・63)である。石器の大半が包含層中で出土しているが、縄文時代中期後葉の竪穴建物跡090SI・230SLのように遺構一括の石器群(図2-21・22-54～63)もある。石器の出土量の少なさは、包含層の残存状況が希薄であったことに起因するが、剥片や石核、磨石・敲石類などが多い点は、居住域であった可能性を推察させる。有茎の石鏃(39)や磨製石斧(74)は、弥生時代の石器である可能性が高く、単発的に、弥生時代の遺構が形成された可能性がある。石材では、安山岩(B・Dも含む)と凝灰岩類がもっとも多く、在地系の石材で占められているが、サヌカイト製の削器(54)、黒曜石製の楔形石器(45)や剥片(5・12・46・56・77-79)、塩基性凝灰岩製の磨製石斧(74)など遠隔地石材を使用した石器も一部認められる。

石鏃 (39・40)

石鏃は5824グリッドから2点出土している。完形は39の一点のみで、有茎鏃である。両面とも周縁加工で整形しており、両面に一次剥離面を残す。40は先端部のみである。石材は39が溶結凝灰岩、40は凝灰岩である。

削器 (54・66)

削器は090SIから1点(54)、5626グリッド

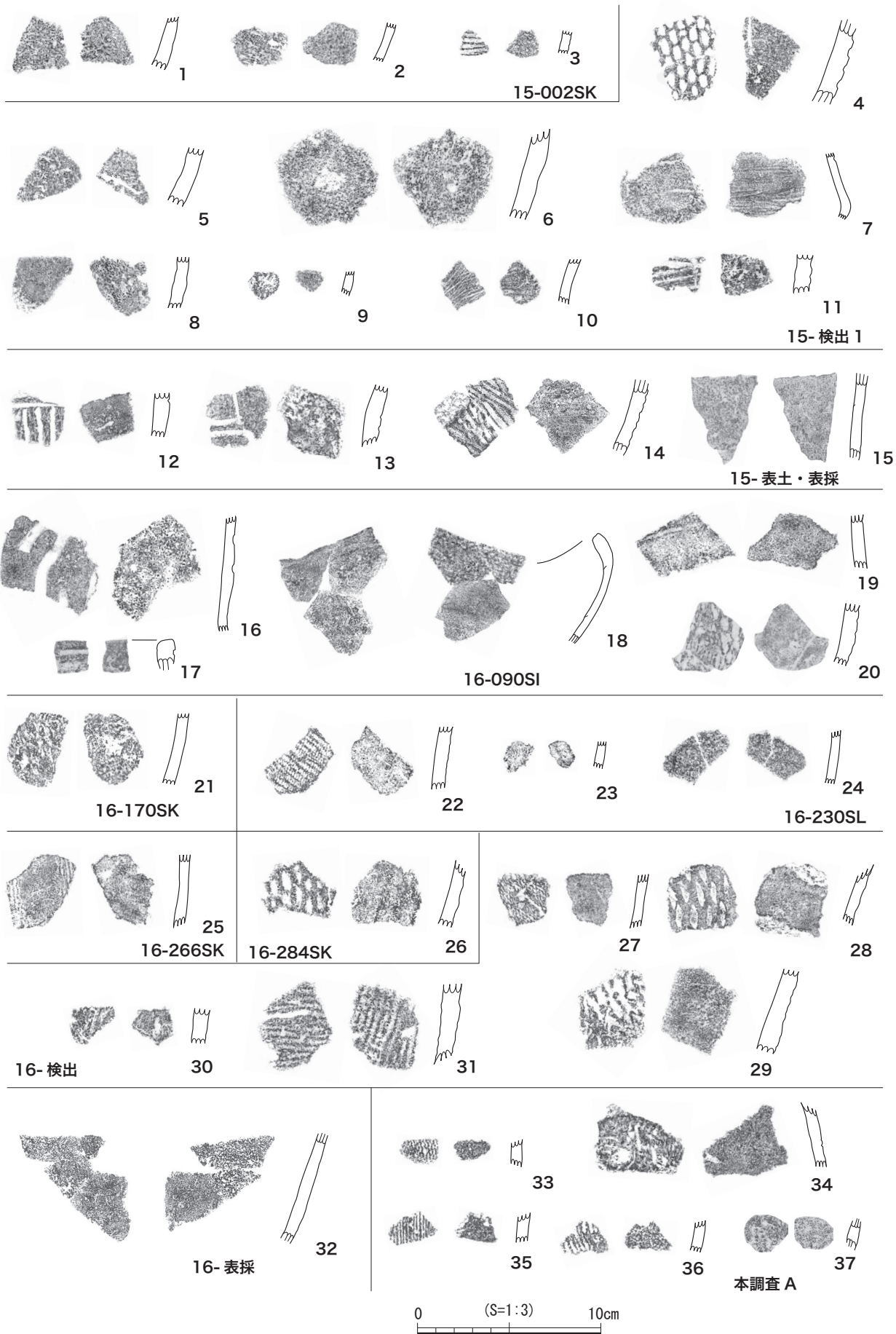


図 2-13 15・16 調査区出土の縄文土器 (S=1:3)

から1点の2点が出土している。54は、横長剥片の長軸を加工し、刃部を形成している。両側縁に加工があるが、左側縁に加工が集中している。66は縦長剥片の右側縁を加工し、刃部を形成している。表面右側縁を加工する一方、裏面は一次剥離面で構成される。石材は、54が風化したサヌカイト、66が泥質凝灰岩である。

楔形石器 (45)

楔形石器は6025グリッドから1点出土している。表面に素材面を大きく残し、下端部に下方向からの小さな剥離痕が連続する。裏面右側縁には加工が施される。断面は三角形を呈する。石材は黒曜石である。

加工痕ある剥片 (1・6・7・55・80)

加工痕ある剥片は、5724グリッド中央トレンチから1点(1)、5625グリッドから2点(6・7)、090SI(69)から1点、表採で2点(80)出土している。加工が下端部に施されるもの(1・6・7)と側縁に施されるもの(55・80)がある。また、1は、左下端部にノッチ状の加工が施されている。石材は1が凝灰岩、6が溶結凝灰岩、7が安山岩D、55・80が安山岩である。

5. 剥片 (2 ~ 5・8 ~ 35・41 ~ 44・46・47・49・50・52・56・59 ~ 62・64・67 ~ 69・73・75・77 ~ 79・81)

剥片は、113点出土し、その内の56点を図化した(2 ~ 5・8 ~ 35・41 ~ 44・46・47・49・50・52・56・59 ~ 62・64・67 ~ 69・73・75・77 ~ 79・81)。

剥片は不定形な剥片が多数を占めるが、表面に複数方向からの剥離があり、側面はくの字状になる剥片(9・15・18・24・27・28・30・44・47・49)がある。このうち、5724グリッドでは、6点(15・18・24・27・28・30)が出土している。石材は、溶結凝灰岩が3点(9・15・49)、凝灰岩3点(18・28・30)、砂質凝灰岩2点(24・47)、泥質凝灰岩1点(27)、安山岩Bが1点と、

凝灰岩系の石材が9割を占める。両極剥離技法で剥がされたと考えられる剥片は3点(13・14・41)出土している。石核の打面再生剥片は、5点(34・43・62・68・81)出土している。34・43・62・68では、平坦な打面と剥片を剥がした剥離痕が認められる。

石核 (36・37・70)

石核は4点出土しており、3点(36・37・70)を図化した。36では、小型で縦長の剥片を剥がしており、37では、幅広で不定形な剥片を剥がしている。70は、小型で不定形な剥片を剥がしている。石材は、36が安山岩、37が凝灰岩、70が溶結凝灰岩である。

打製石斧 (57・76)

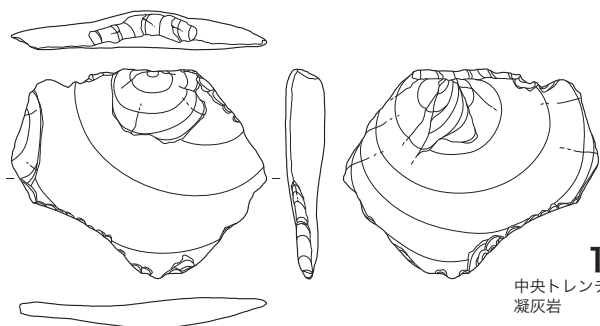
打製石斧は2点(57・76)出土しており、57は090SIから出土したもので、両面に線状痕が認められるほど摩耗しており、短冊形を呈している。刃部は、折損後に刃部再生が行われており、かなり使い込まれた打製石斧である。基部は折損後に裏面から加工が施される。76は刃部のみの資料である。裏面に一次剥離面を大きく残しており、剥片素材の打製石斧である。石材は57・76共に安山岩である。

磨製石斧 (74)

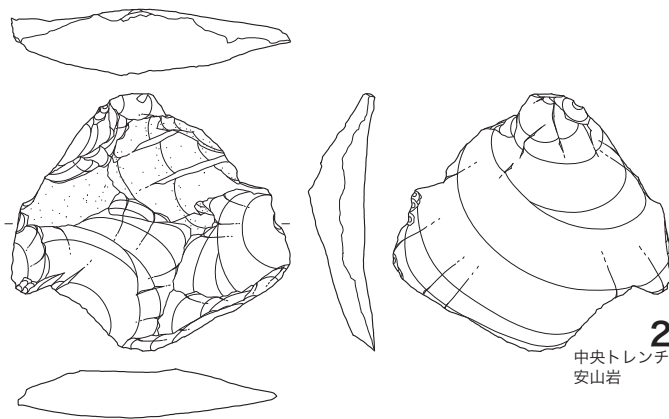
磨製石斧は、270SKから1点出土している(74)。研磨したのちに、敲打による整形がおこなわれ、刃部も敲打によって潰れている。刃部の形成が認められないため、敲石に転用されていた可能性が高い。

石錘 (51)

石錘は011SKから1点(51)出土している。長軸方向に溝状の加工が両面に施される、有溝石錘である。表面下部と裏面が摩耗しており、裏面は平坦な形状となる。

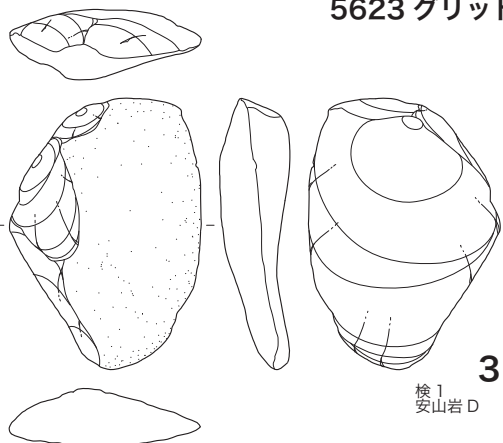


1
中央トレンチ
凝灰岩



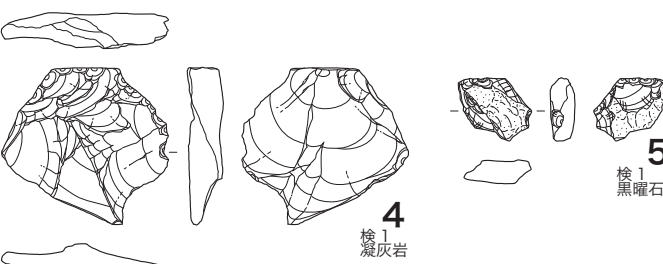
2
中央トレンチ
安山岩

5623 グリッド



3
検1
安山岩D

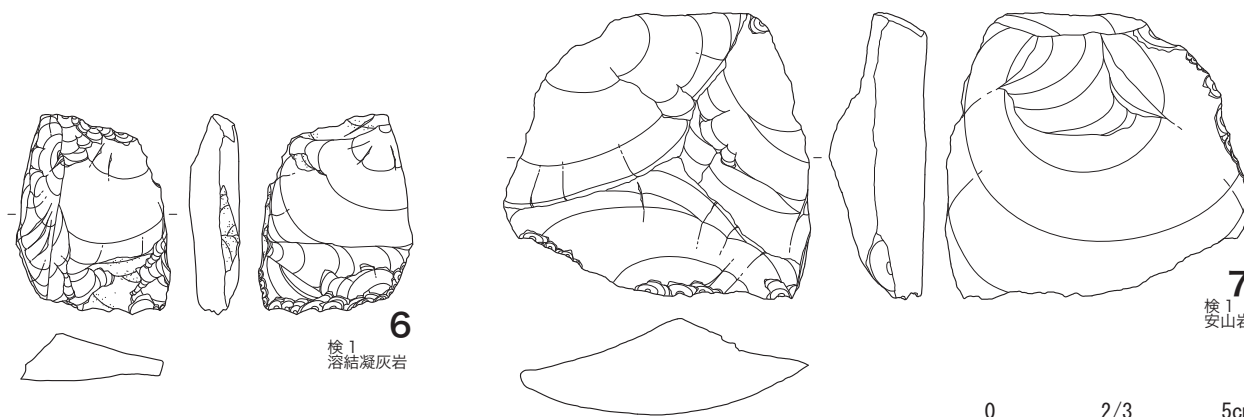
5624 グリッド



4
検1
凝灰岩

5
検1
黒曜石

5625 グリッド



6
検1
溶結凝灰岩

7
検1
安山岩

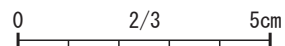
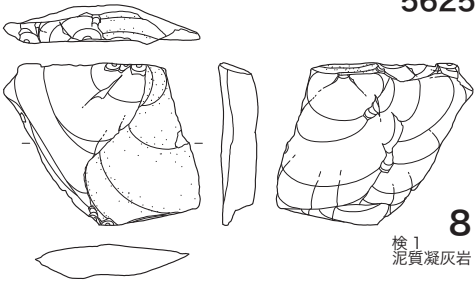


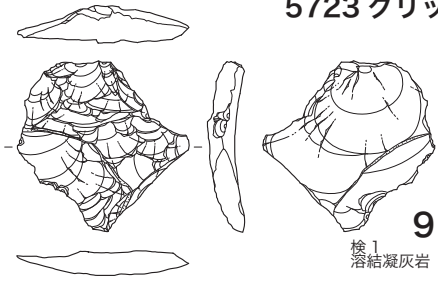
図 2-14 15 調査区 中央トレンチ・5623-5625 グリッド出土の石器 (S=2:3)

5625 グリッド



8
検1
泥質凝灰岩

5723 グリッド

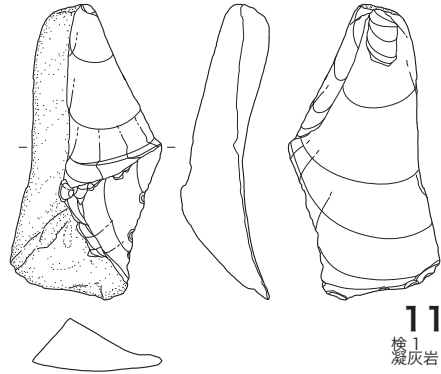


9
検1
溶結凝灰岩

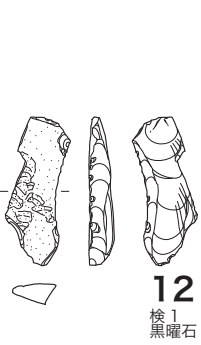
5724 グリッド



10
検1
安山岩 B



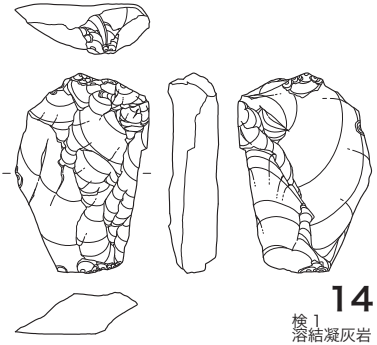
11
検1
凝灰岩



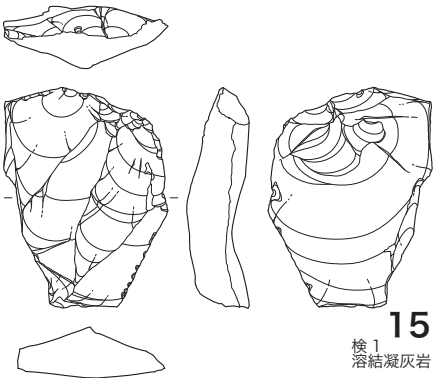
12
検1
黒曜石



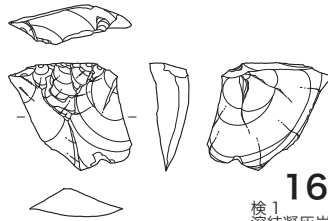
13
検1
溶結凝灰岩



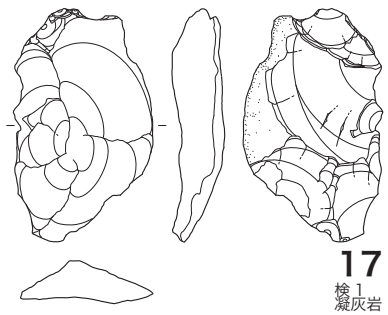
14
検1
溶結凝灰岩



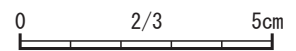
15
検1
溶結凝灰岩



16
検1
溶結凝灰岩



17
検1
凝灰岩



5724 グリッド

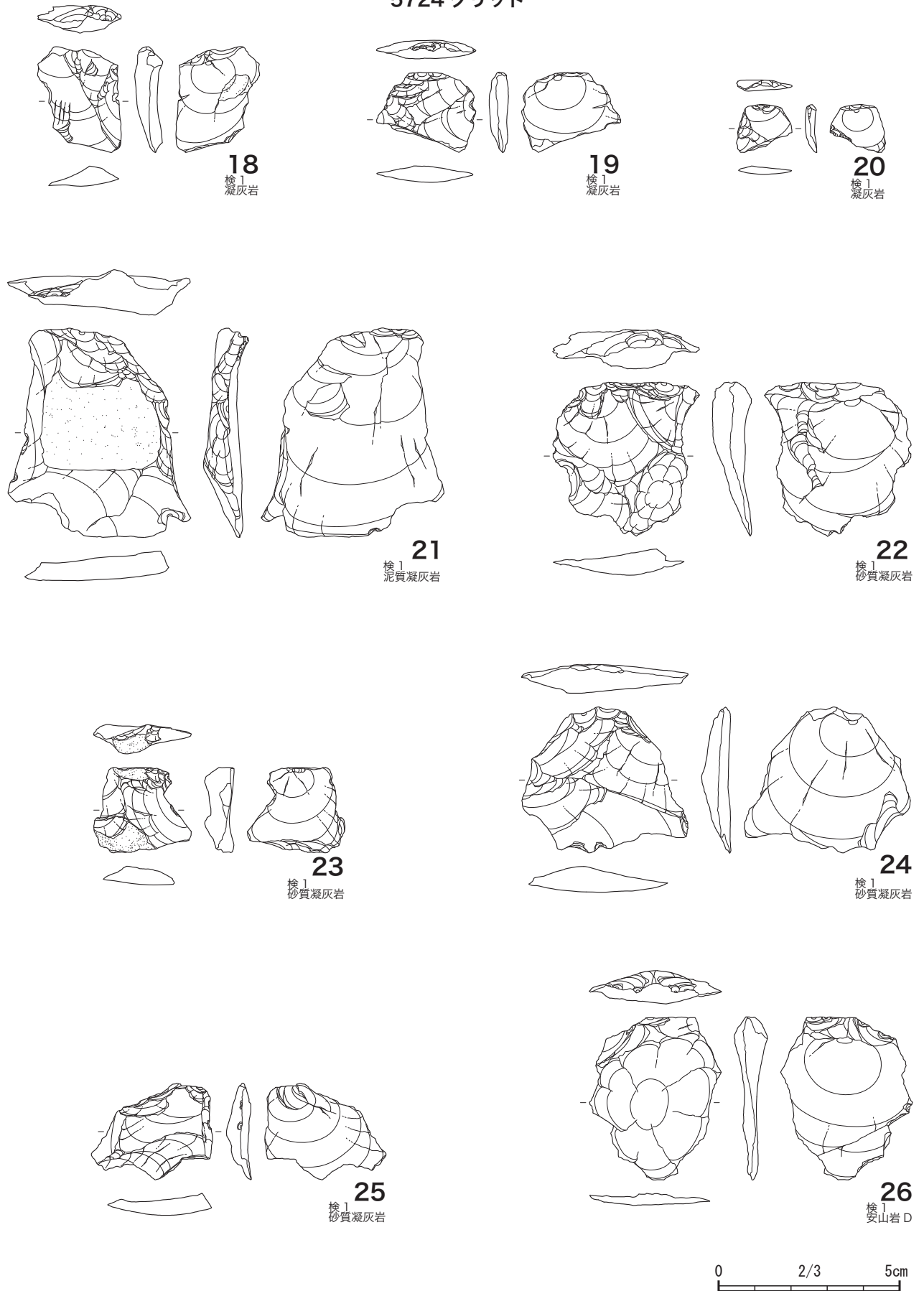
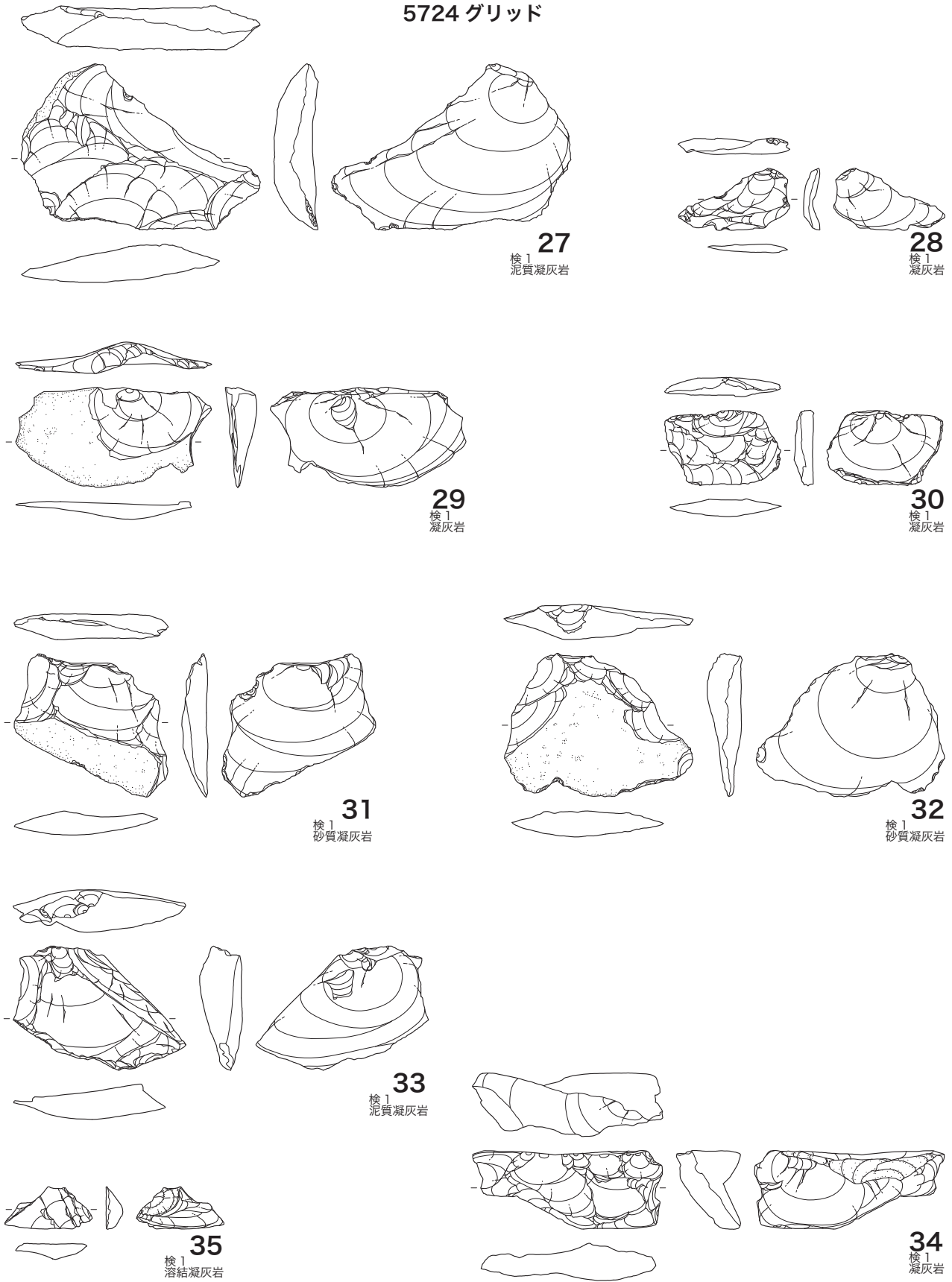


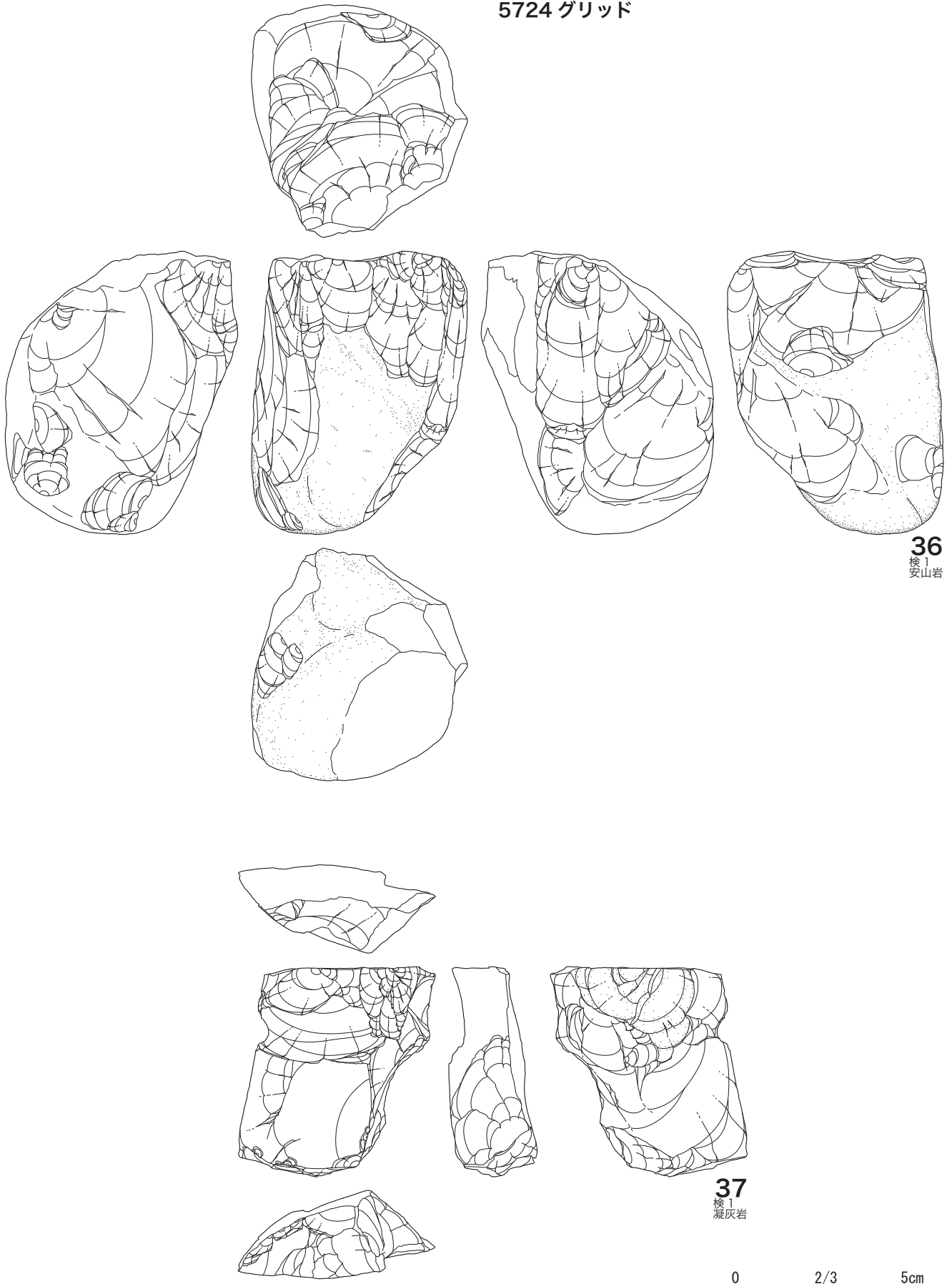
図 2-16 15 調査区 5724 グリッド出土の石器 -1 (S=2:3)

5724 グリッド



0 2/3 5cm

5724 グリッド



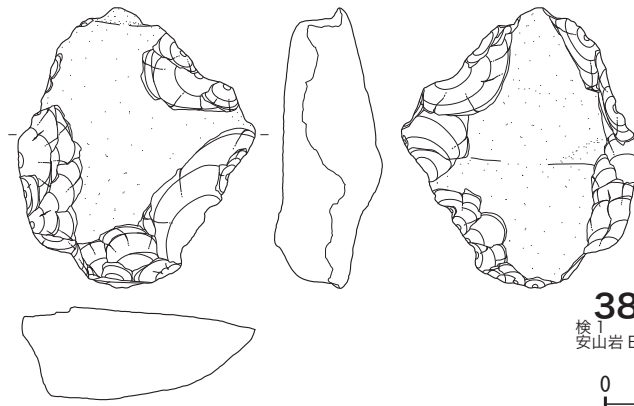
36
検1
安山岩

37
検1
凝灰岩

0 2/3 5cm

図 2-18 15 調査区 5724 グリッド出土の石器 -3 (S=2:3)

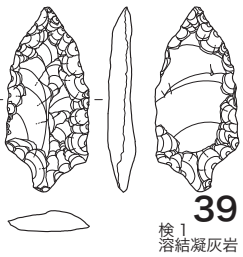
5725 グリッド



38
検1
安山岩 B

0 1/3 10cm

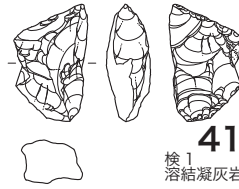
5824 グリッド



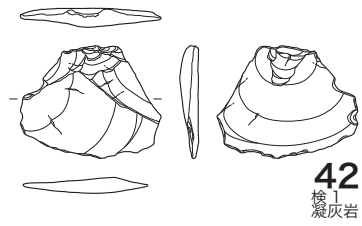
39
検1
溶結凝灰岩



40
検1
凝灰岩

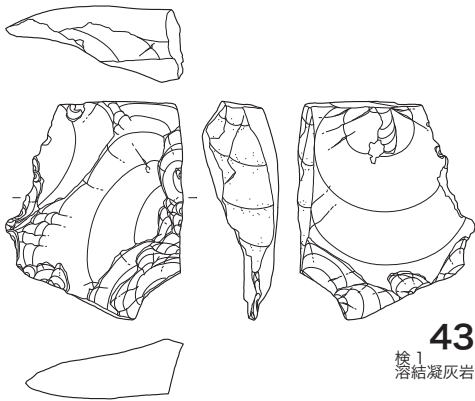


41
検1
溶結凝灰岩



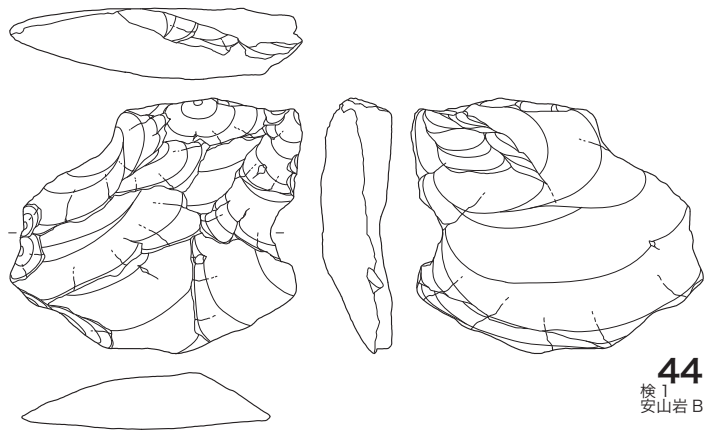
42
検1
凝灰岩

5826 グリッド



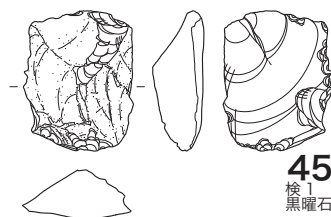
43
検1
溶結凝灰岩

5925 グリッド



44
検1
安山岩 B

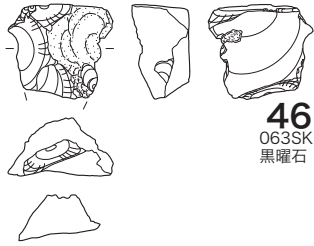
6025 グリッド



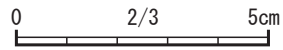
45
検1
黒曜石

0 2/3 5cm

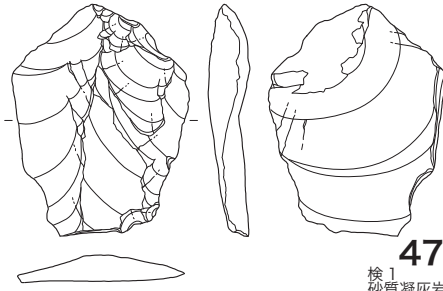
063SK



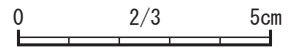
46
063SK
黒曜石



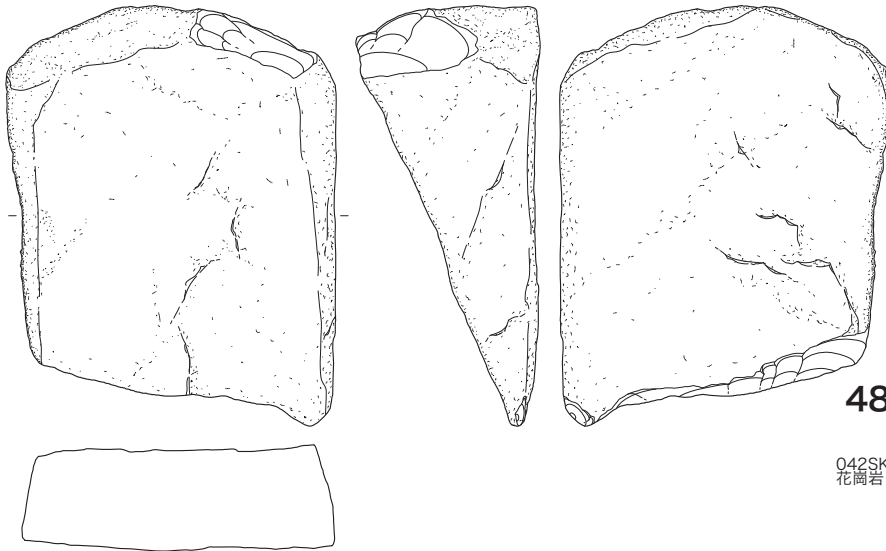
5524 グリッド



47
検1
砂質凝灰岩

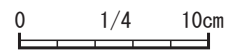


042SK

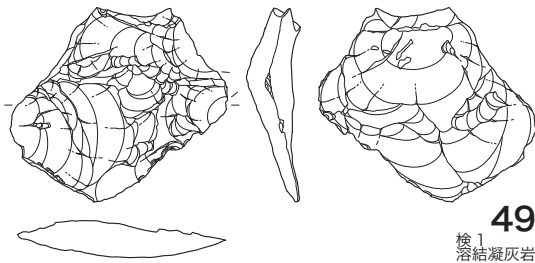


48

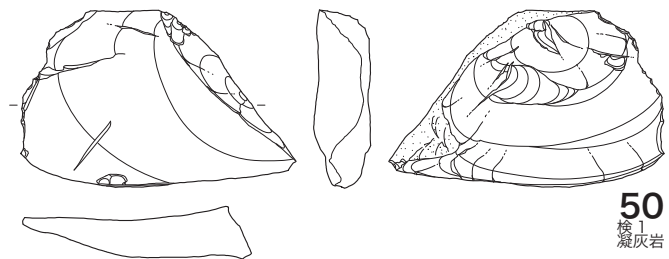
042SK
花崗岩



5424 グリッド



49
検1
溶結凝灰岩



50
検1
凝灰岩

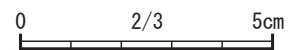
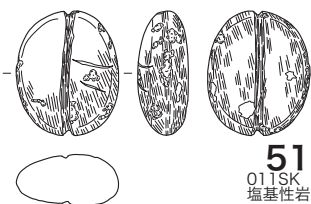


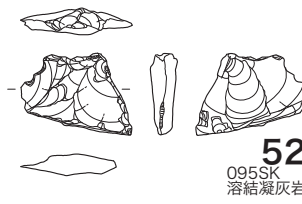
図 2-20 15 調査区 063SK・042SK・5524・5424 グリッド出土の石器 (S=1:4/2:3)

011SK



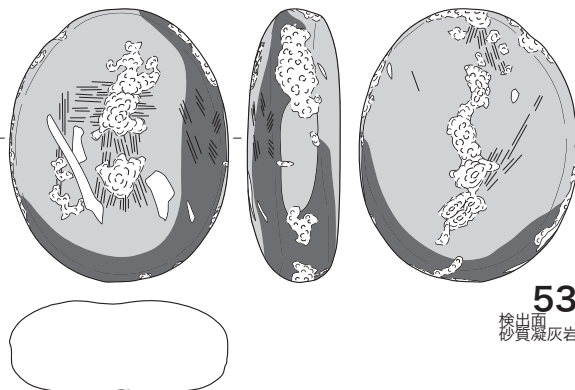
51
011SK
塩基性岩
0 1/3 10cm

095SK



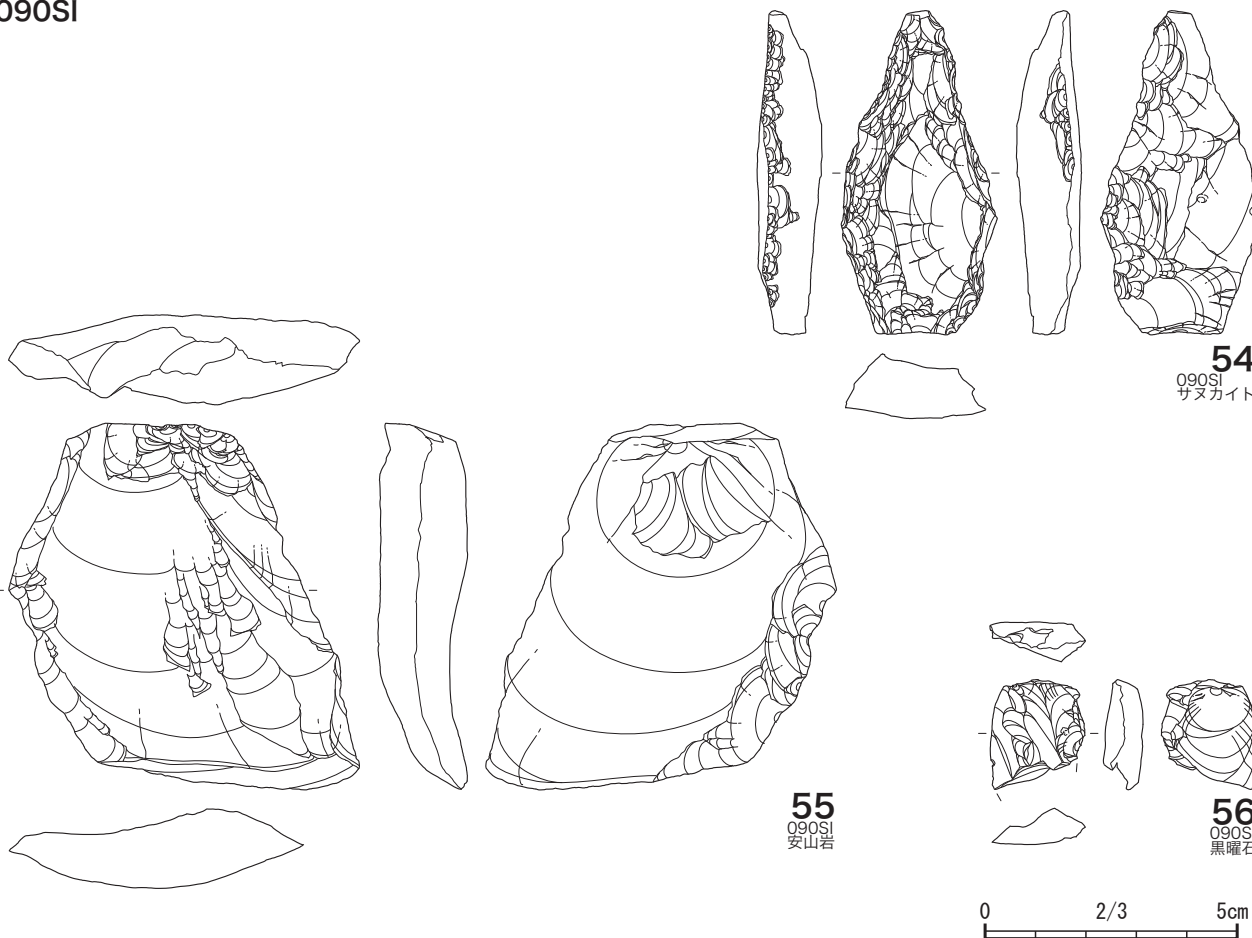
52
095SK
溶結凝灰岩
0 2/3 5cm

5626 グリッド



53
検出面
砂質凝灰岩
0 1/3 10cm

090SI



54
090SI
サヌカイト

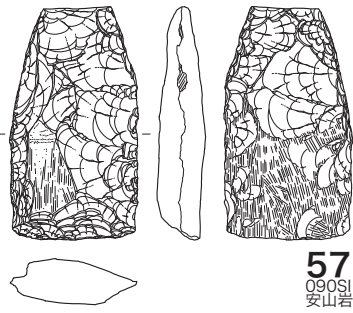
55
090SI
安山岩

56
090SI
黒曜石

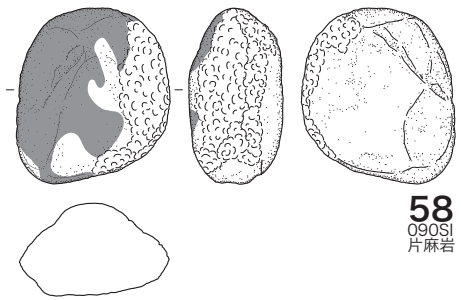
0 2/3 5cm

図 2-21 16 調査区 011SK・095SK・5626 グリッド・090SI 出土の石器 (S=1:3/2:3)

090SI



57
090SI
安山岩



58
090SI
片麻岩

0 1/3 10cm

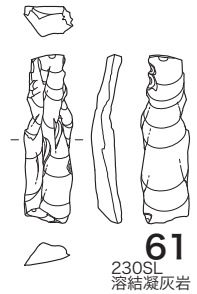
230SL



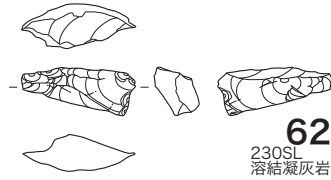
59
230SL
安山岩



60
230SL
凝灰岩

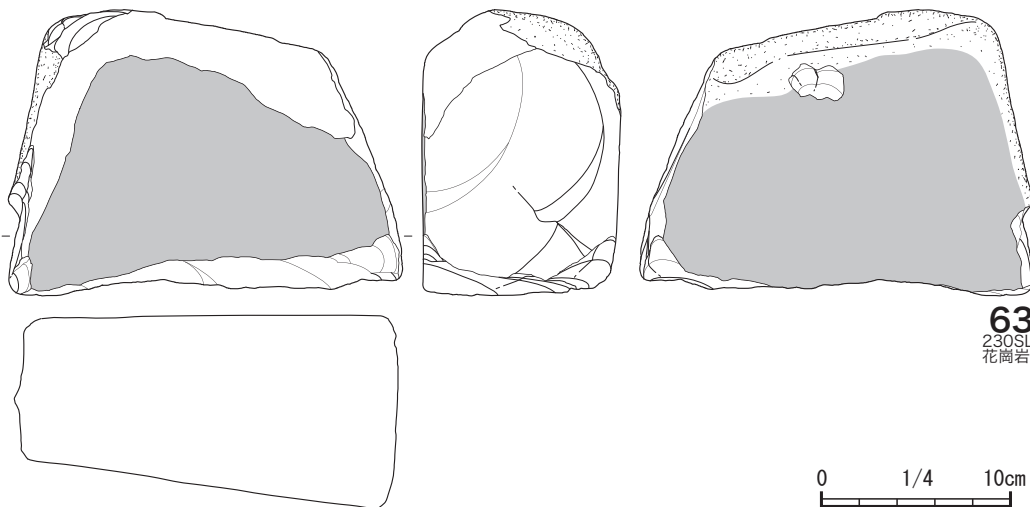


61
230SL
溶結凝灰岩



62
230SL
溶結凝灰岩

0 2/3 5cm

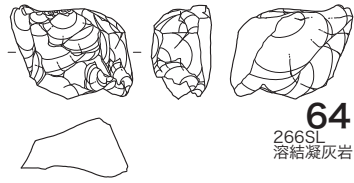


63
230SL
花崗岩

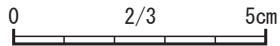
0 1/4 10cm

図 2-22 16 調査区 090SI・230SL 出土の石器 (S=1:4/2:3)

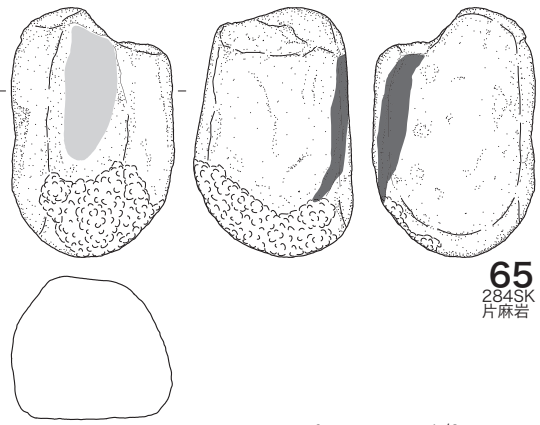
266SL



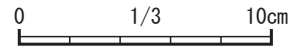
64
266SL
溶結凝灰岩



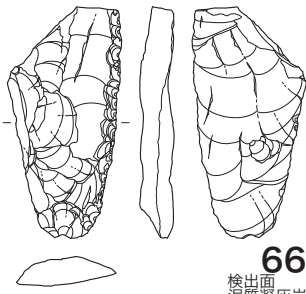
284SK



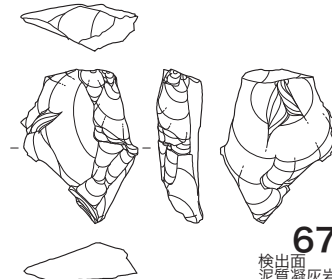
65
284SK
片麻岩



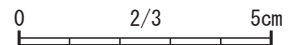
5626 グリッド



66
検出面
泥質凝灰岩



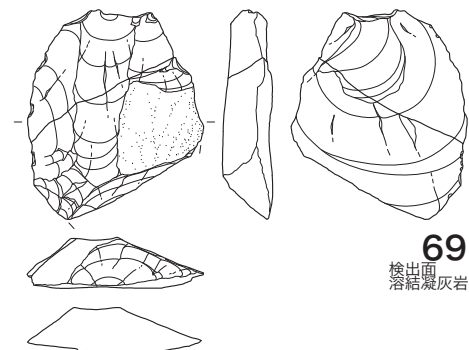
67
検出面
泥質凝灰岩



5726 グリッド



68
検出面
凝灰岩



69
検出面
溶結凝灰岩

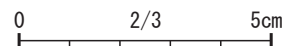
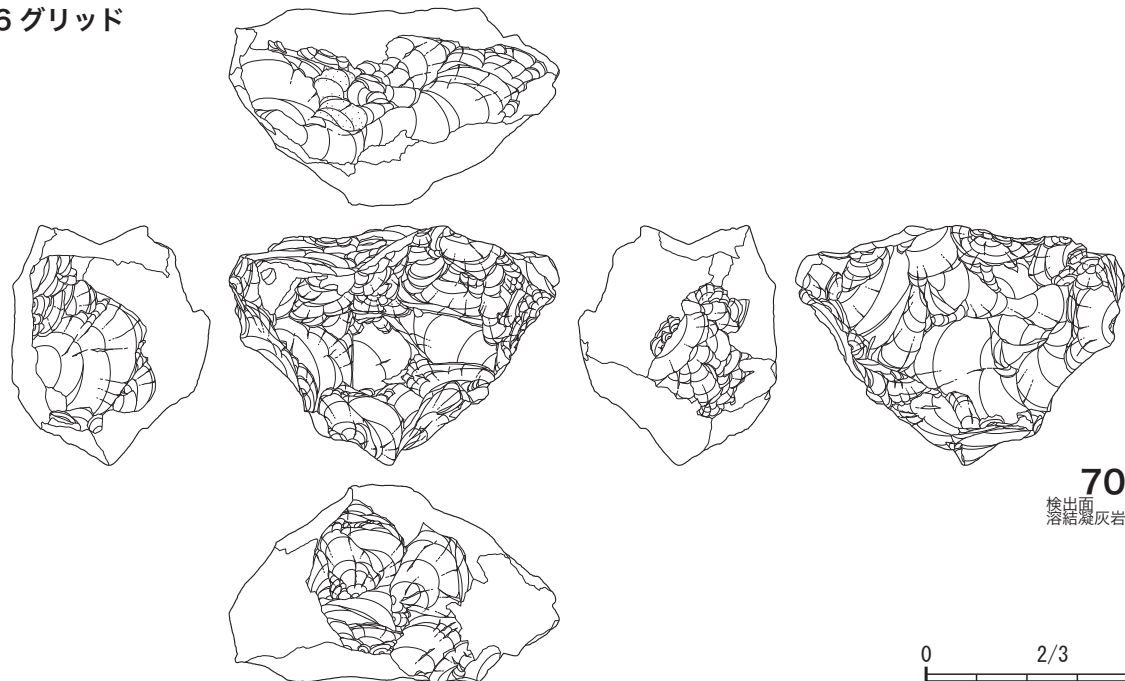


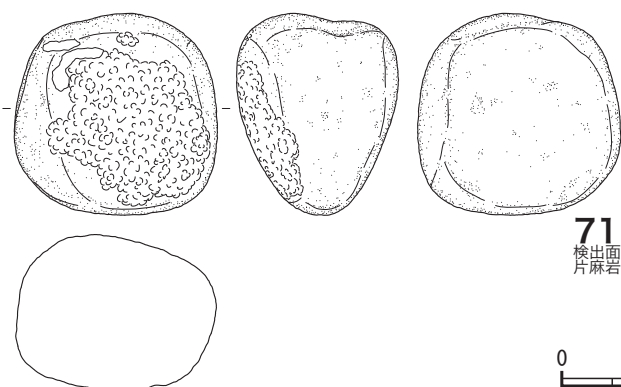
図 2-23 16 調査区 266SL・284SK・5626・5726 グリッド出土の石器 (S=1:3/2:3)

5726 グリッド



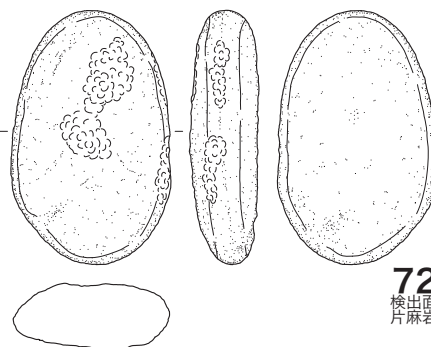
70
検出面
溶結凝灰岩

0 2/3 5cm



71
検出面
片麻岩

0 1/3 10cm



72
検出面
片麻岩

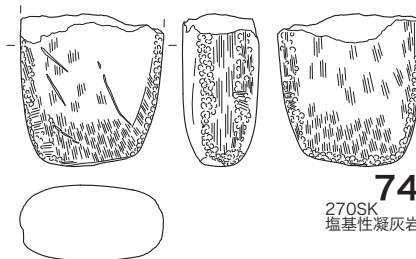
164SK



73
164SK
安山岩

0 2/3 5cm

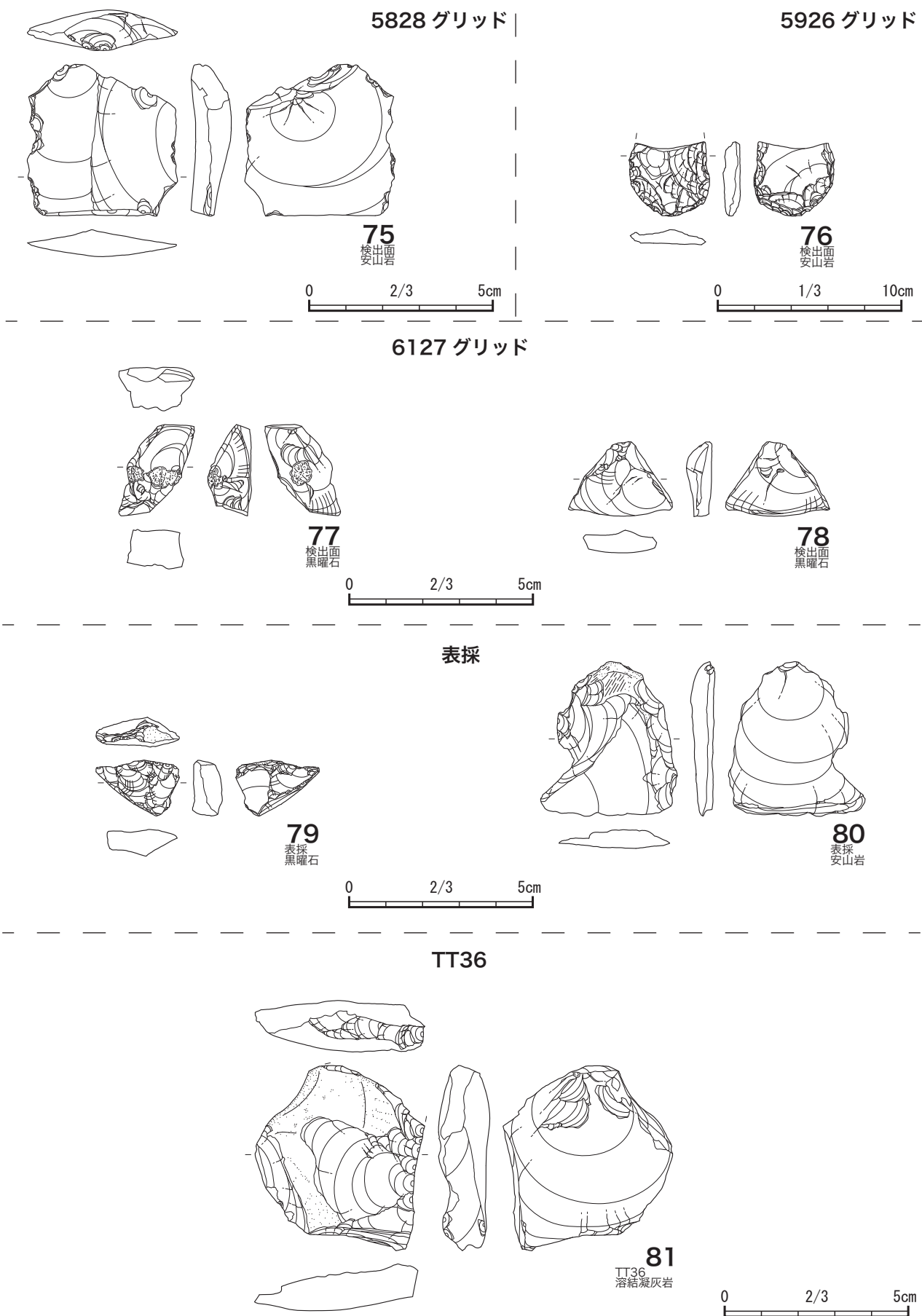
270SK



74
270SK
塩基性凝灰岩

0 1/3 10cm

図 2-24 16 調査区 5726 グリッド・164SK・270SK 出土の石器 (S=1:3/2:3)



38 図 2-25 16 調査区 5828・5926・6127 グリッド・表面採取・テストトレンチ出土の石器 (S=1:3/2:3)
大栗遺跡

礫器状石核 (38)

礫器状石核は、5725 グリッドから 1 点 (38) 出土している。両面とも原礫面を大きく残す。両面とも求心的な剥離で構成されるが、刃部に相当する部分ではあまり連続的な加工が施されておらず、刃部の形成が認められないため、礫器状石核とした。石材は、風化の進んだ安山岩 B 類である。

磨石・敲打石類 (53・58・65・71・72)

磨石・敲打石類は 6 点出土している。磨面や敲打痕が 1 つの石器から複合的に確認されることが多いため、磨石・敲打石類として報告する。090SI からは 1 点 (58)、284SK から 1 点 (65)、5626 グリッドから 1 点 (53)、5726 グリッドから 2 点 (71・72) が出土している。礫の形状から、丸みのある円礫 (58・65・71) と扁平な円礫 (53・72) に分類できる。丸みのある円礫では、端部と側面に敲打痕や磨面が認められる。これには、敲打痕と磨面があるもの (58・65) と敲打のみのも (71) がある。扁平な円礫では、中央と側面に敲打痕と磨面がある (53・72)。53 の裏面では、溝状の窪みが隣接して 2 条認められる。石材は、53 が砂質凝灰岩、58・65・71・72 が片麻岩である。

台石 (48・63)

台石は 042SK から 1 点 (48)、230SL から 1 点 (63)、TT13 から 1 点出土している。48 では、顕著な使用痕は認められないが、表面に軽微な敲打痕? が認められる。また、被熱して一部変色し脆くなっている。63 は、両面に顕著な磨面をもつ。表面は被熱により一部に変色が認められる。石材は、48・63 共に花崗岩である (以上、田中)

6. 縄文時代以降の遺構

15 調査区 001SK

15 調査区南部の西向き緩斜面、5926 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 0.792m、短

軸 0.724m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.309m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調として、明黄褐色シルトの小ブロックを多く含む。遺構底面には小土坑が検出されたが、植栽痕の可能性が高いと思われる。

出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断することは難しい。黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 002SK

001SK の西側、5826 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 2.882m、短軸 1.982m の不整な楕円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.757m である。

遺構埋土は 10YR2/1 黒色シルト層を基調とする。

土坑内には人頭大の礫が密集して検出されていることから、縄文時代の集石土坑の可能性もある。しかし、遺構は礫層付近に掘削されていることから、礫は埋没する過程で混入した可能性もある。

出土遺物として、黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器 (図 2-35-61) が包含されることから、古代 (9 世紀後半頃) に帰属する可能性もある。

15 調査区 003SK

002SK の南西、5925 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 1.844m、短軸 1.668m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.6695m である。

遺構埋土は上層が 10YR2/1 黒色シルト層、下層が 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調とする。

出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断することは難しい。黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 012SK

003SK の北約 10m、5825 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 1.074m、短軸 0.812m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.477m である。

遺構埋土は 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、下位には黄褐色シルトの小ブロックを含む。

土坑内には人頭大の礫が密集して検出されていることから、縄文時代の集石土坑の可能性もある。しかし、遺構は礫層付近に掘削されていることから、礫は埋没する過程で混入した可能性もある。出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断することは難しい。黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 013SK

012SK の西側、5824 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 0.979m、短軸 0.639m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.558m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒色シルト層を基調として、暗褐色シルトブロックを多く含む。

出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断することは難しい。黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 017SK

15 調査区中央部の南西向きの緩斜面、5624 グリッドにおいて検出した。018SK と重複し、切り合い関係は 018SK → 017SK である。平面形は（残存）長軸 0.739m、（残存）短軸 0.581m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.176m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調として、明黄褐色シルトの大ブロックを多く含む。出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断することは難しい。黒色から黒褐色を基調とする遺構埋

土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 018SK

017SK と重複しており、掘削の前後関係は 018SK → 017SK である。平面形は長軸 1.033m、短軸 0.95m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.389m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調として、下層は黒色シルトブロック、暗褐色シルトブロックを含み、褐色シルトブロックをわずかに含む。

出土遺物として、黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 019SK

018SK 北東側の南西向きの緩斜面、5624 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 1.057m、短軸 0.475m のやや不整な長楕円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.357m である。

遺構埋土は上層が 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、炭化物を含む。下層は 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調として、黄褐色シルトの小ブロックを多く含む、炭化物をわずかに含む。

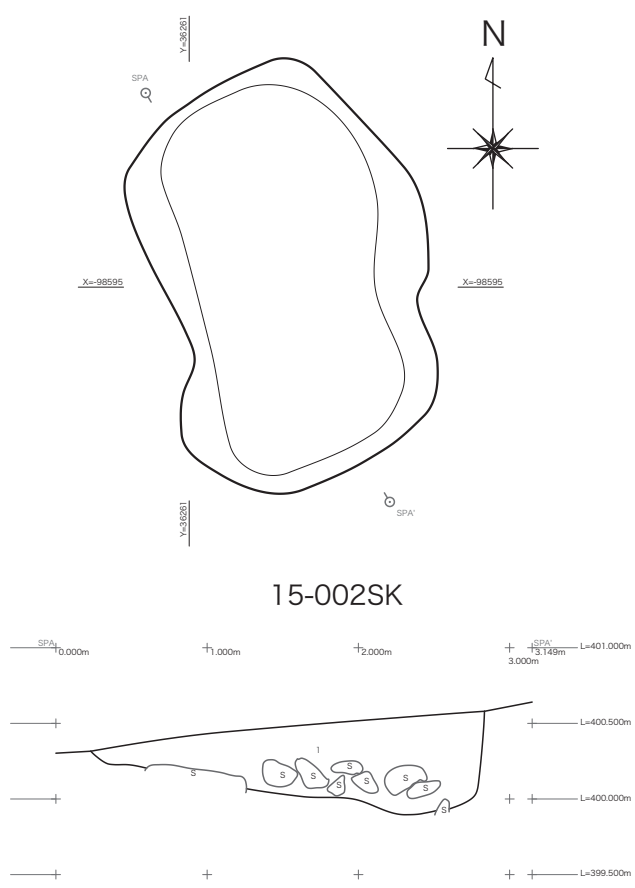
出土遺物として、黒色から黒褐色を基調とする遺構埋土や遺跡内の堆積層には灰釉陶器が包含されることから、古代に帰属する可能性もある。

15 調査区 020SK

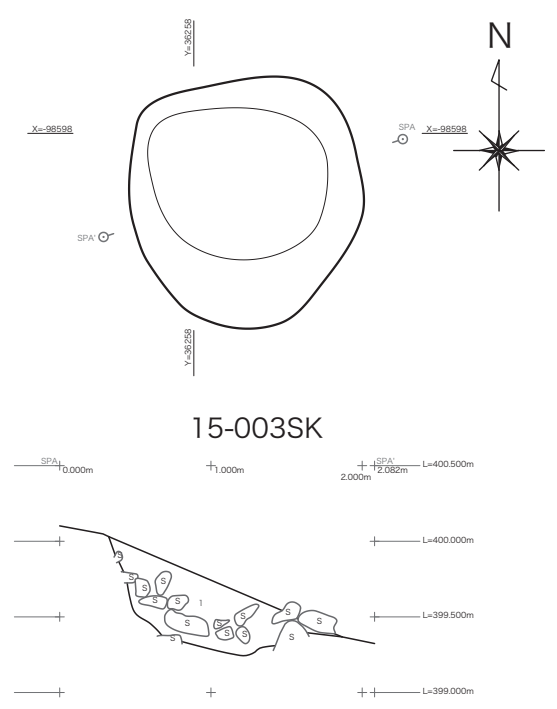
017SK 北西側の南西向きの緩斜面、5623 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 1.512m、短軸 0.82m のやや不整な長楕円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.3765m である。

遺構埋土は上層が 10YR3/3 暗褐色シルト層を基調として、黄褐色シルトの大ブロックを多く含む。

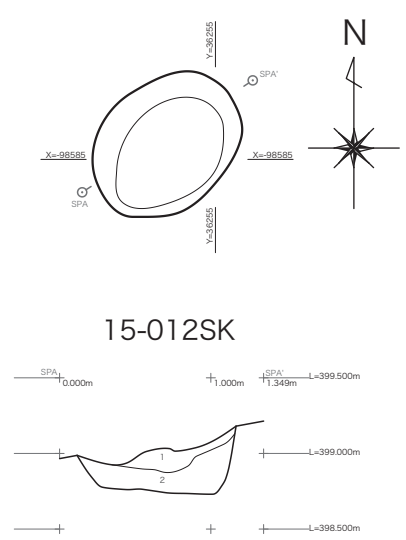
15 調査区 060SK



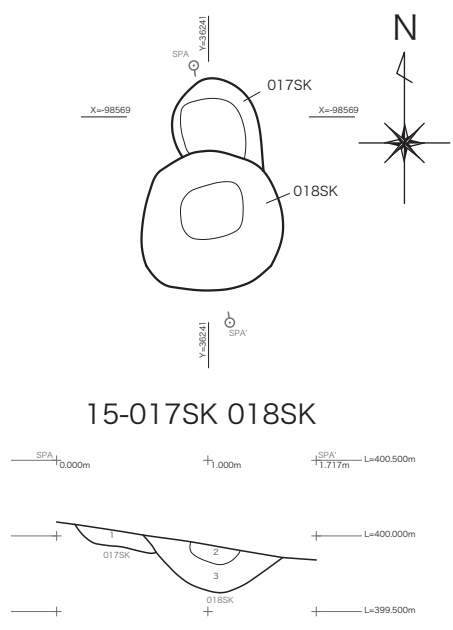
1 10YR2/1 黒色 細粒砂少量含むシルト層 明黄褐色シルトの小ブロックを少量含む、大礫の亜角礫を含む。



1 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 大礫の角礫を含み、中礫の亜円礫を含む。

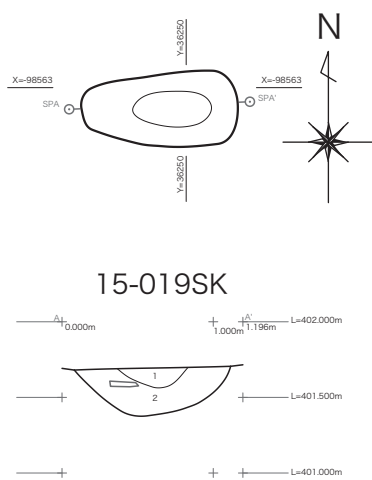


1 10YR2/1 黒色 細粒砂少量含むシルト層
2 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 黄褐色シルトの小ブロックを少量含む。



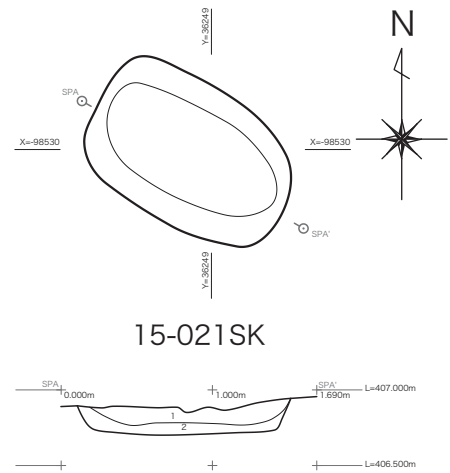
1 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 明黄褐色シルトの大ブロックを多量に含む。(017SK)
2 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 細礫を少量含む。(018SK)
3 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 黒色シルトブロックを含み、暗褐色シルトブロックを含み、褐色シルトの小ブロックを少量含む。(018SK)

図 2-26 15 調査区 002SK・003SK・012SK・018SK (S=1:50)



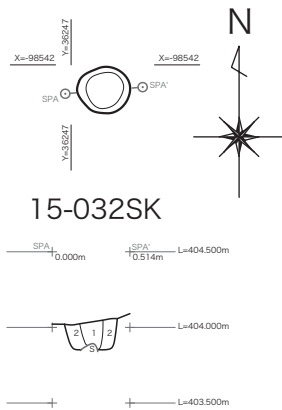
15-019SK

- 1 10YR2/1 黒色 細粒砂少量含むシルト層 炭化物を少量含む。
 2 10YR3/1 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 黄褐色シルトの小ブロックを多量に含む。炭化物を少量含む。



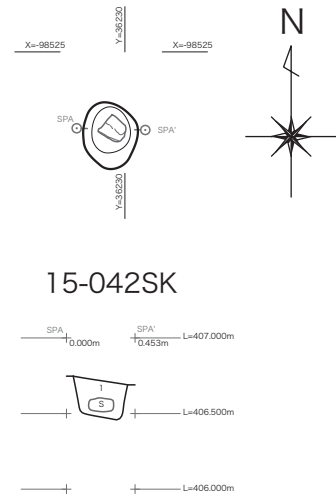
15-021SK

- 1 10YR3/2 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 明黄褐色中粒砂の小ブロックを少量含む。炭化物を少量含む。
 2 10YR3/2 黒褐色 細粒砂少量含むシルト層 黄褐色細粒砂の大ブロックを多量に含む。



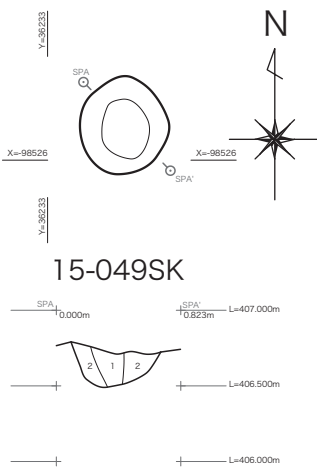
15-032SK

- 1 10YR2/1 黒色 極細粒砂少量含むシルト層 黄褐色シルトの小ブロックを少量含む。
 2 10YR3/1 黒褐色 極細粒砂少量含むシルト層 黄褐色シルトブロックを多量に含む。



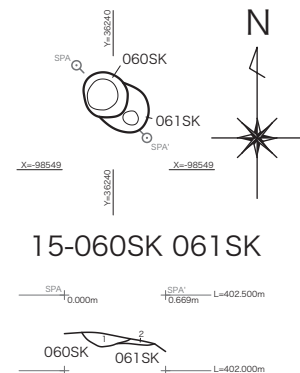
15-042SK

- 1 10YR2/1 黒色 極細粒砂少量含むシルト層 黄褐色シルトの小ブロックを含む。炭化物を少量含む。



15-049SK

- 1 10YR3/1 黒褐色 極細粒砂少量含むシルト層 中礫の角礫を含む。
 2 10YR5/6 黄褐色 極細粒砂少量含むシルト層 黒褐色シルトブロックを含む。



15-060SK 061SK

- 1 10YR3/4 暗褐色 極細粒砂少量含むシルト層 褐色シルトの小ブロックを少量含む。炭化物を極少量含む。(060SK)
 2 7.5YR4/3 褐色 シルト少量含む粘土層 炭化物を極少量含む。(061SK)

図 2-27 15 調査区 019SK・021SK・032SK・042SK・049SK・060SK・061SK (S=1:50)

15 調査区北寄り中央の南向きの緩斜面、5423 グリッドにおいて検出した。061SK と重複し、切り合い関係は 061SK → 060SK である。平面形は長軸 0.377m、短軸 0.353m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.1155m でごく浅い。

遺構埋土は 10YR3/4 暗褐色シルト層を基調とする。

出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断することは難しいが、遺構の埋土、周囲の状況から近世から近代に帰属する可能性が高い。

15 調査区 061SK

北東の南向き斜面、5424 グリッドにおいて検出した。060SK と重複し、切り合い関係は 061SK → 060SK である。平面形は長軸 0.398m、短軸 0.325m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.106m でごく浅い。

遺構埋土は 10YR4/3 褐色粘土層を基調とする。

出土遺物はなく、遺構の時期、性格を判断する

ことは難しいが、遺構の埋土、周囲の状況から近世から近代に帰属する可能性が高い。

15 調査区 021SK

15 調査区北東隅の南西向きの緩斜面、5324・5424 グリッドにおいて検出した。平面形は長軸 1.457m、短軸 1.019m の長楕円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.4335m である。

遺構埋土は上層が 10YR3/2 黒褐色シルト層を基調とする。

15 調査区 032SK

061SK と重複して検出した。なお、周辺には小土坑が多く検出されている。平面形は長軸 0.392m、短軸 0.293m の楕円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.248m である。

遺構埋土は中央が 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、その周囲は 10YR3/1 黒褐色シルトを基調として、黄褐色シルトブロックを多く含む。

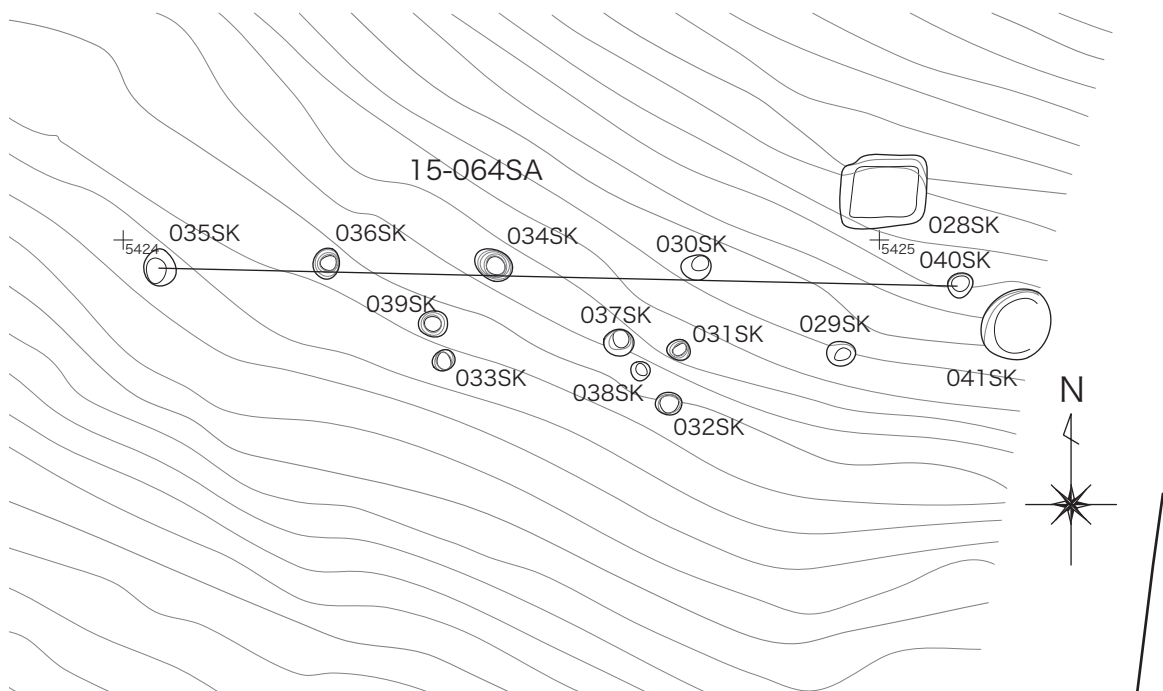


図 2-28 15 調査区 柵列 064SA (S=1:100)

遺構埋土の状況から、中央が柱痕で、周囲が柱掘方と判断される。

出土遺物はないが、遺構は周辺の小土坑と同様、近世から近代に帰属する柱穴と推定される。

15 調査区 064SA

15 調査区北東寄りの南向き斜面、5424 グリッドにおいて検出した。小土坑状の遺構がほぼ東西方向に 2.2m の間隔で列状に配されることから、これらは柱列を構成するものと判断した。

遺構出土遺物はないが、遺構の配置状況、掘方の形状、埋土の状況等から近世から近代に帰属する遺構と推定される。

035SK は長軸 0.487m、短軸 0.443m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.1865m である。

遺構埋土は 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、黄褐色シルト、黒褐色シルトのブロックを含む。

036SK は長軸 0.409m、短軸 0.369m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.267m である。

遺構埋土は 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、黄褐色シルトの小ブロックを含む。

034SK は長軸 0.533m、短軸 0.404m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.4035m である。

遺構埋土は 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、黄褐色シルトの小ブロックを含む。

030SK は長軸 0.404m、短軸 0.333m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.8225m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒色シルト層を基調として、黄褐色シルトの大ブロックを含む。

15 調査区北西部の遺構群

15 調査区北西隅の南向き斜面、5222 グリッドから 5223 グリッドにかけては、近世から近代の造成面が検出された。

15 調査区 042SK

5222 グリッドにおいて検出した。付近は近世から近代の造成面である。平面形は長軸 0.437m、短軸 0.366m の楕円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.3185m である。

遺構埋土は中央が 10YR2/1 黒色シルト層を基調として、黄褐色シルトの小ブロックを含む。

遺構内のほぼ中央、遺構底面からやや浮いた位置に扁平な礫が残されていた。礫は出土状況から根石と推定される。

遺構は周辺の状況と遺構内に根石が検出されているから、近世から近代に帰属する柱穴であった可能性が高い。

15 調査区 043SK

5222 グリッドにおいて検出した。付近は近世から近代の造成面である。平面形は長軸 0.807m、短軸 0.518m の倒卵形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.33m である。

遺構埋土は中央が 10YR3/3 暗褐色シルト層を基調として、黄褐色シルトブロックを含む。

出土遺物としては大窯 2 段階の天目茶碗（図 2-34-40）がある。遺構は出土遺物から、戦国時代に帰属すると判断される。

15 調査区 046SK

5222 グリッドにおいて検出した。付近は近世から近代の造成面である。平面形は長軸 1.298m、短軸 1.255m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.34m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調とする。

検出面付近には近代の陶磁器類が集積されていた。遺構は近世の整地層の上面から掘削されていること、近代の陶磁器類が出土していることから、近代に帰属すると推定される。

15 調査区 049SP

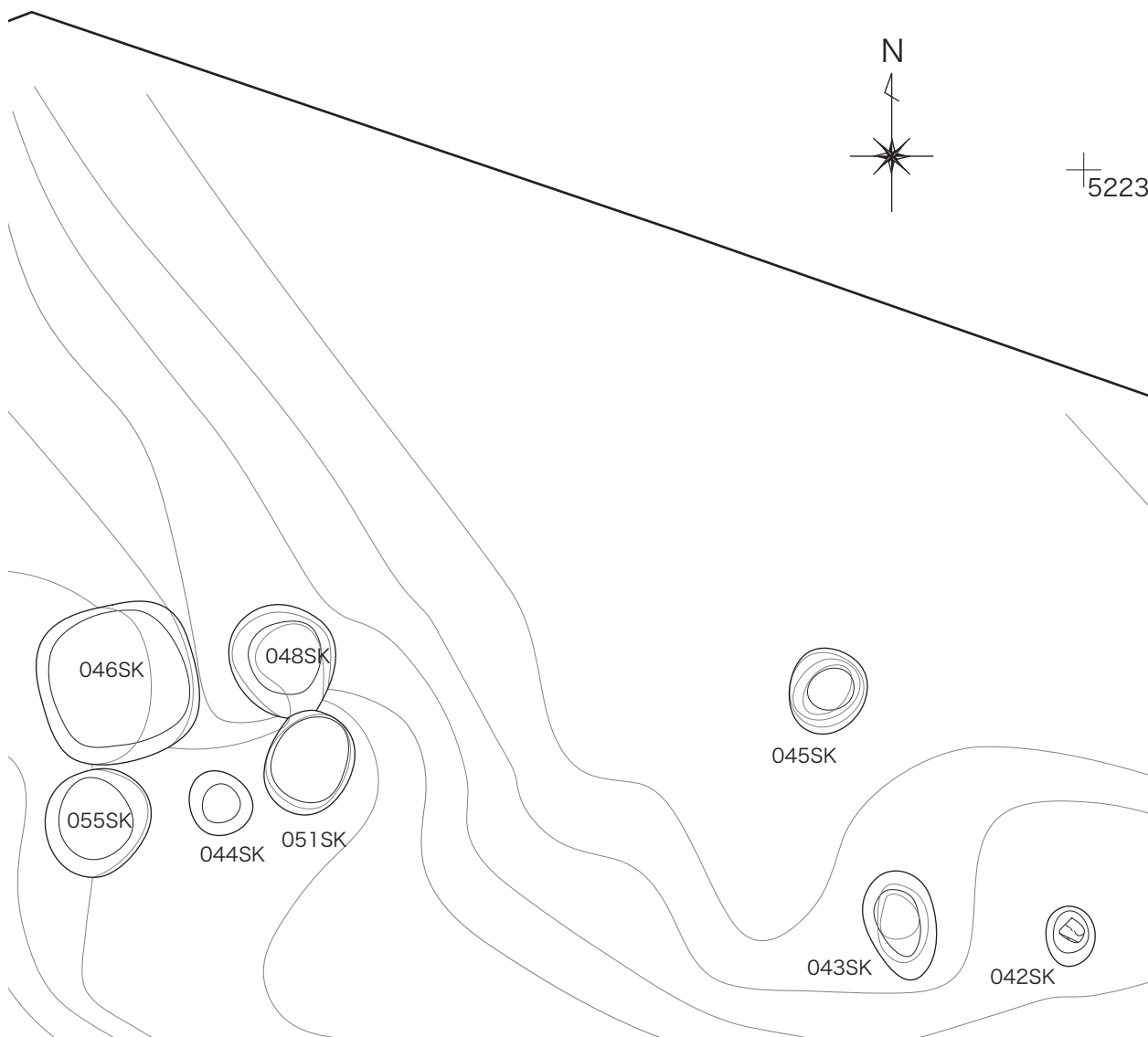


図 2-29 15 調査区 042SK・043SK・044SK・045SK・046SK・048SK・051SK・055SK (S=1:50)

5223 グリッドにおいて検出した。付近は近世から近代の造成面である。平面形は長軸 0.651m、短軸 0.592m のやや不整な円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.3365m である。

遺構埋土は中央が 10YR3/1 黒褐色シルト層を基調として、その周囲は 10YR5/6 黄褐色シルト層を基調として、黒褐色シルトブロックを含む。遺構埋土の状況から、中央が柱痕で、周囲が柱掘方と判断される。出土遺物はないが、遺構は周辺

の状況から近世から近代に帰属する柱穴と推定される。

15 調査区 051SK

5222 グリッドにおいて検出した。付近は近世から近代の造成面である。平面形は長軸 0.761m、短軸 0.643m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.1845m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒褐色細粒砂層を基調と

する。

土坑底面には埋設された桶が遺存していた。遺構は近世の整地層の上面から掘削されていることから、近世から近代に帰属すると推定される。

15 調査区 055SK

5222 グリッドにおいて検出した。付近は近世から近代の造成面である。平面形は長軸 0.799m、短軸 0.761m の円形を呈する。遺構検出面からの深さは 0.285m である。

遺構埋土は 10YR3/1 黒褐色細粒砂層を基調とする。

土坑底面には埋設された桶が遺存していた。遺

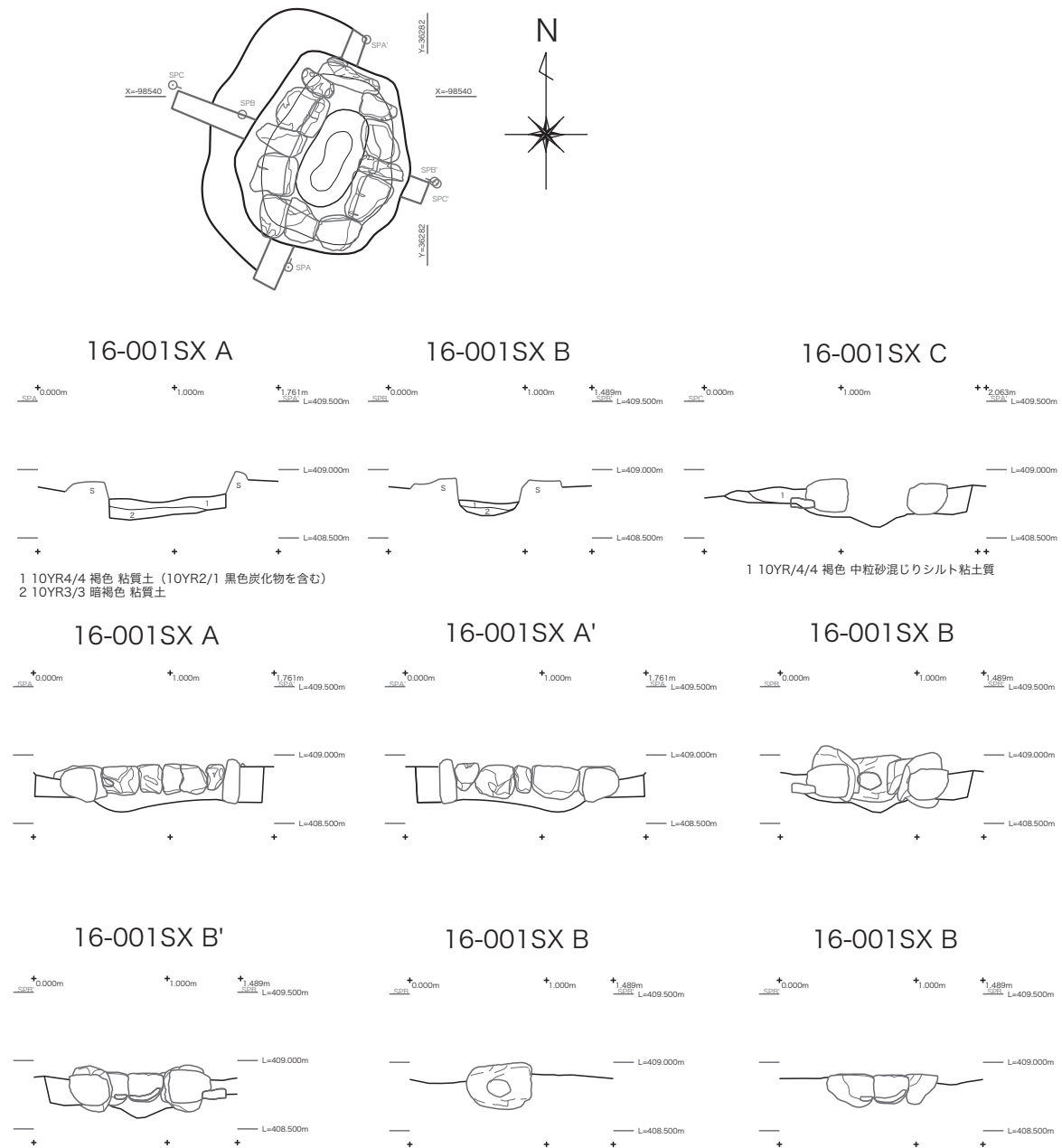


図 2-30 16 調査区 石組 001SX (S=1:50)

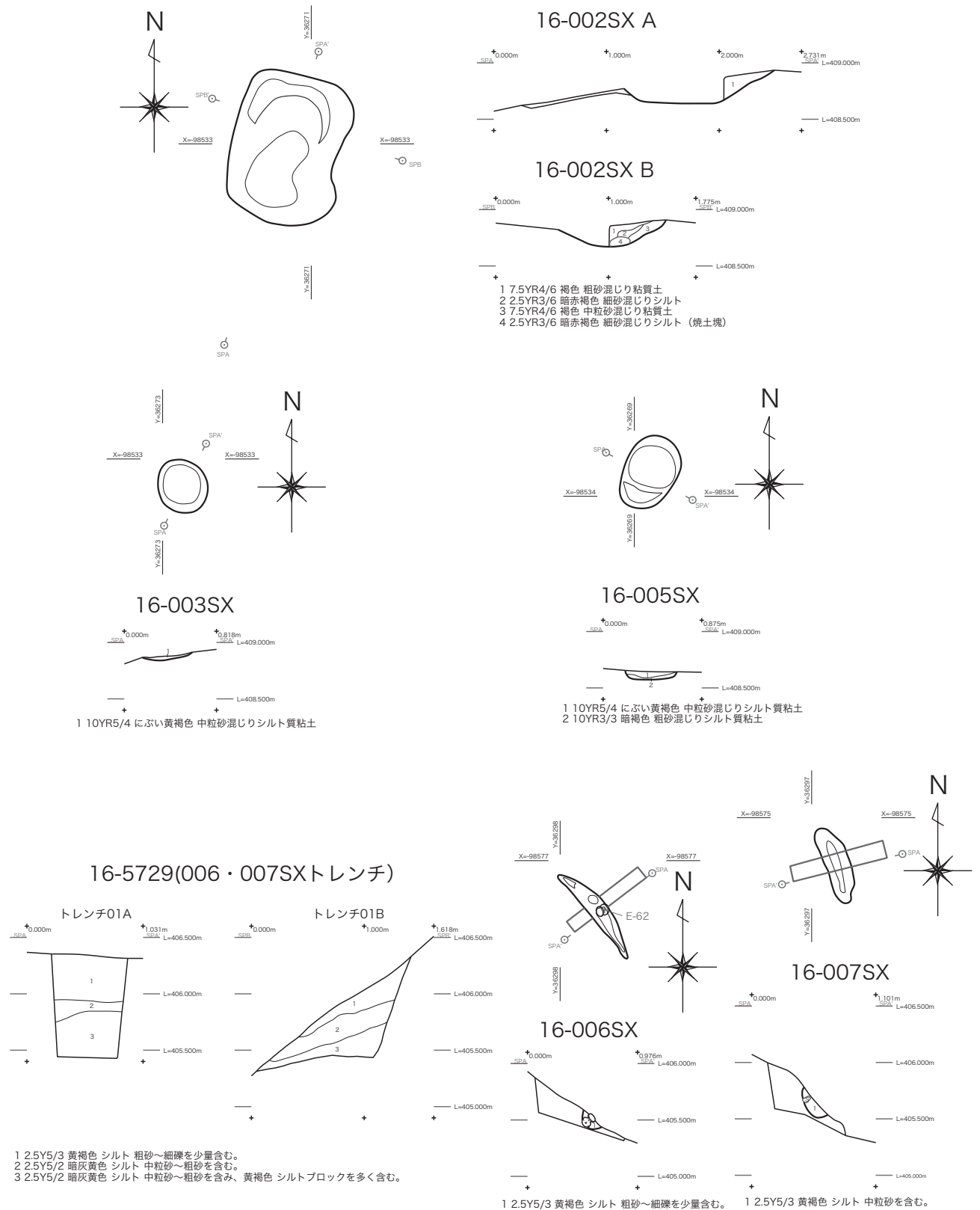


図 2-31 16 調査区 002SX・003SX・005SX・006SX・007SX (S=1:50)

構は近世の整地層の上面から掘削されていることから、近世から近代に帰属すると推定される。

16 調査区 001SX

16 調査区北端の 5328 グリッドにある、近世以降の平坦面の東端付近に築造された石組み遺構。石組みは一段で、南北方向が長軸となる。長軸方向は東西辺とも 4 石で、うち南側から 2 つめの石は小口面を立てて用いる。

短軸方向は北辺が 1 石で南辺が 3 石。それぞれ長軸方向の石を塞ぐように据えている。石組みの内法は、長軸方向が 1.0m で短軸方向が 0.4m、深さ 0.3m を測る。床面および石組みの内法側には被熱した痕跡が明瞭に認められる。

一見すると古墳時代後期～終末期の小石室のようだが、石組み内および掘り方から染付片が出土していることから、所属時期は近世以降とみられる。現状では性格不明だが、火葬施設である可能性が高い。

16 調査区 002SX

001SX 北西側の 5327 グリッドに位置する浅い方形の土坑。長辺 1.33m、短辺 0.97m、深さ 0.22m を測る。埋土は 3 層からなり、最下層に焼土塊を含む。001SX 同様、火葬施設の可能性がある。

16 調査区 003SX

002SX すぐ西の 5327 グリッドにある浅い皿状の断面を呈する土坑。平面形は直径 0.5m のほぼ正円で、深さは 5cm を測る。

16 調査区 005SX

002SX の南側、5326 グリッドに位置する土坑で、長軸 0.7m、短軸 0.45m、深さ 0.1m を測る。

16 調査区 006SX

16 調査区東側の急斜面 5729 グリッドに形成された浅い凹みから仏餉具とみられる鉄釉の壺が

出土している。斜面上方からの流れ込みである可能性が高い。

16 調査区 007SX

006SX の北側約 2m の 5729 グリッドにある長軸 0.7m、短軸 0.2m、深さ 0.2m を測る平面が三日月状を呈する土坑。

006SX と同様、急斜面に掘削されている。

16 調査区 070SA

16A 区北側の平坦面崖下 5425・5426 グリッドに、北西から南東方向に築かれた柱穴列。柱掘方は 6 基を数え、全長は 11m。柱掘方の平面形は直径 0.6～0.8m の円形で、深さは検出面から 1.05m を測る。底部に柱痕跡をもつものが多く、それらによると柱の直径は 20cm 程度。柱間寸法は 1.8～2.8m 程度と不揃いである。

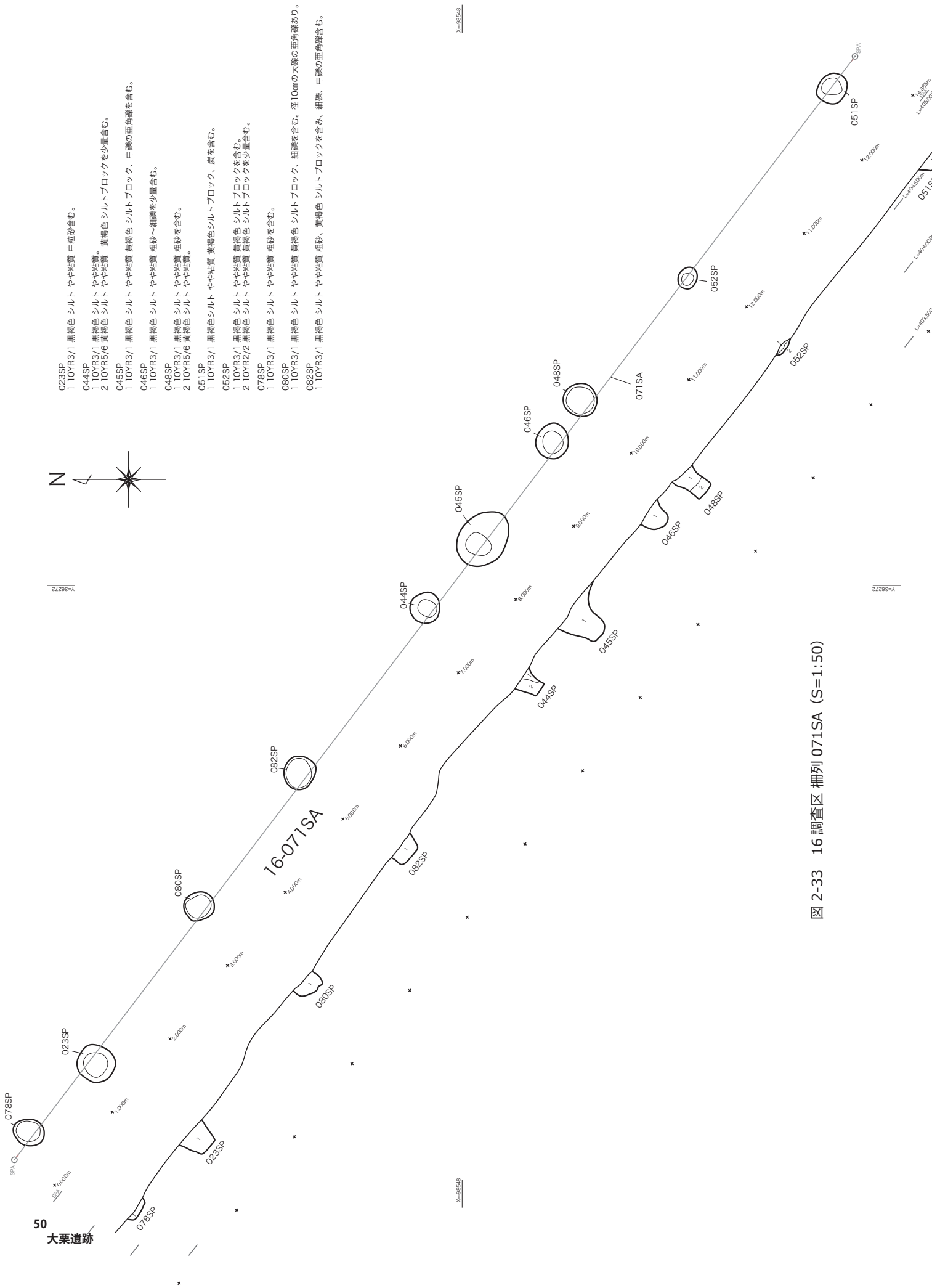
16 調査区西壁土層断面図(図 1-4)にはこの 070SA 最西端の 120SP がかかっている。土層断面図を録った位置が 120SP の中軸でないため、本来の掘り込み面は不明だが、水田耕作土より上の堆積層から掘削されていることは間違いなく、おそらくは表土(近代の石垣に伴う盛土)直下であると想定できる。

この 070SA と後述する 071SA、そして 15 調査区の 064SA は、これらの掘り込み面における等高線に沿っており、064SA の西端が調査開始前にあった石垣の位置にほぼ合致している。

以上のことから、石垣構築に伴う遺構(石垣最下部の土留めなど)ではないが、その前段階に石垣と同じような意図をもって構築されたものと想定できる。

16 調査区 071SA

070SA の東から 2 番目の柱掘方(028SP)の北側 5426・5427・5527 グリッドに、南東方向に伸びる柱穴列。10 基の柱掘方からなり、全長で 14.2m。柱掘方は 20～60cm の円形で、柱痕跡は認められない。深さは最も遺存状態の良い



- 023SP 1 10YR3/7 黒褐色 シルト やや粘質 中粒砂を含む。
- 044SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質。
- 2 10YR5/6 黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。
- 045SP 1 10YR3/7 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、中濺の垂角礫を含む。
- 046SP 1 10YR3/7 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂～細礫を少量含む。
- 048SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。
- 2 10YR5/6 黄褐色 シルト やや粘質。
- 051SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、炭を含む。
- 052SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。
- 078SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。
- 080SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、細礫を含む。径10cmの大濺の垂角礫あり。
- 082SP 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含み、細礫、中濺の垂角礫を含む。

図 2-33 16 調査区 柵列 071SA (S=1:50)

X=98548

X=98548

Y=96272

Y=96272

もので、検出面から45cmを測る。柱間寸法は1～2.6mと不揃いである。

前述の070SAよりも簡便なつくりであるが、同様の機能を備えていたと考えられる。070SAとの時期の前後関係は不明だが、15調査区の064SAとともに一連の機能を有する同時期の遺構である可能性が高い。(以上、樋上)

7. 弥生時代～近代の土器・陶磁器

縄文時代の遺物を除けば、大栗遺跡から出土している遺物のほとんどは近代に属する。おそらくは植林以前の宅地で使用されていたものと想定できる。

15 調査区 043SK

40は鉄釉を施した天目茶碗で、瀬戸の大窯第2段階(16世紀中葉頃)に属する。

15 調査区 045SK

41・42は磁器の猪口で、41は外面にヤシの木?が描かれ、高台内に『大明』の文字がある。42は青磁。43は染付の酒杯で、見込み部に扇を持った人物が描かれる。44は染付碗蓋。45は磁器の端反碗で、赤絵が施される。46は染付端反碗。47は磁器の丸碗で赤絵を施す。48・49・50は染付丸碗。51・52は染付平碗。53は磁器の平碗。54は染付皿。55は朱泥の急須。56は鉄釉陶器の甕。

15 調査区 検出 I

39は灰釉陶器の皿で、時期は18世紀後半頃か。

15 調査区 表土掘削

60は弥生土器の壺底部。61は古代の灰釉陶器碗で、黒笹90号窯式期(9世紀後半頃)に属する。

15 調査区 表面採取

38は方形の香炉の底部。57は白磁の酒杯。58・59は染付丸碗。

16 調査区 006SX

62は鉄釉陶器の花瓶で、仏具として用いられた可能性がある。

16 調査区 015SK

63は陶器の鉢で、見込み部に「寿」の一字を描く。

16 調査区 表土掘削

64は陶胎染付の箱形湯呑で、時期は19世紀中葉頃。65は瓶の蓋か。

試掘トレンチ

66は弥生土器の壺底部。67は鉄釉陶器のすり鉢で、時期は幕末頃か。(以上、樋上)

8. 中世以降の石器

82～86は中世以降とみられる砥石である。岩質は82が凝灰岩、83～86は泥質凝灰岩。

出土地点は、82が15調査区の検出Iで5625グリッド。83・84が15調査区の表土掘削で5422グリッド、85が15調査区の045SKで5222グリッド、86が16調査区の038SKで5425グリッドである。(以上、樋上)

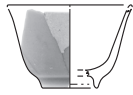
9. 近代の木製品

W001・002は漆椀。W003は井戸の底板とみられる。W003は15調査区051SKからの出土。(以上、樋上)

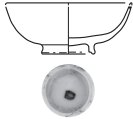
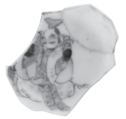
15 調査区 045SK



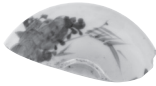
41



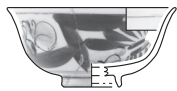
42



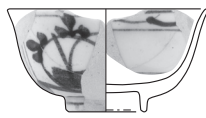
43



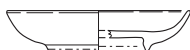
44



45

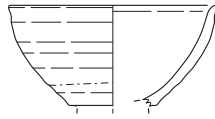


46

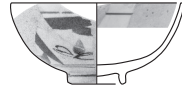
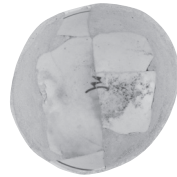


54

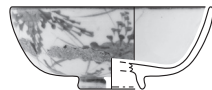
15 調査区 043SK



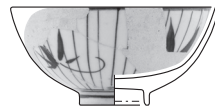
40



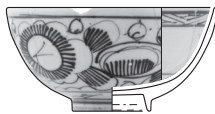
47



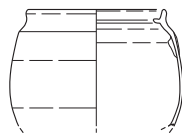
48



49

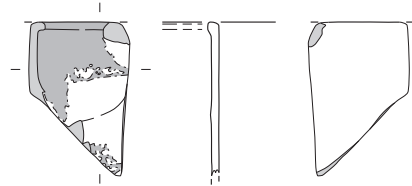


50



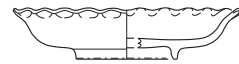
55

15 調査区 表面採取



38

15 調査区 検出 I



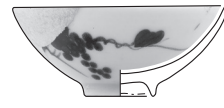
39



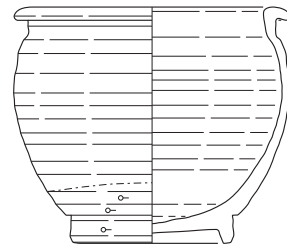
51



52



53



56



图 2-34 15 調査区 043SK・046SK・検出 I・表面採取出土陶磁器 (S=1:4)

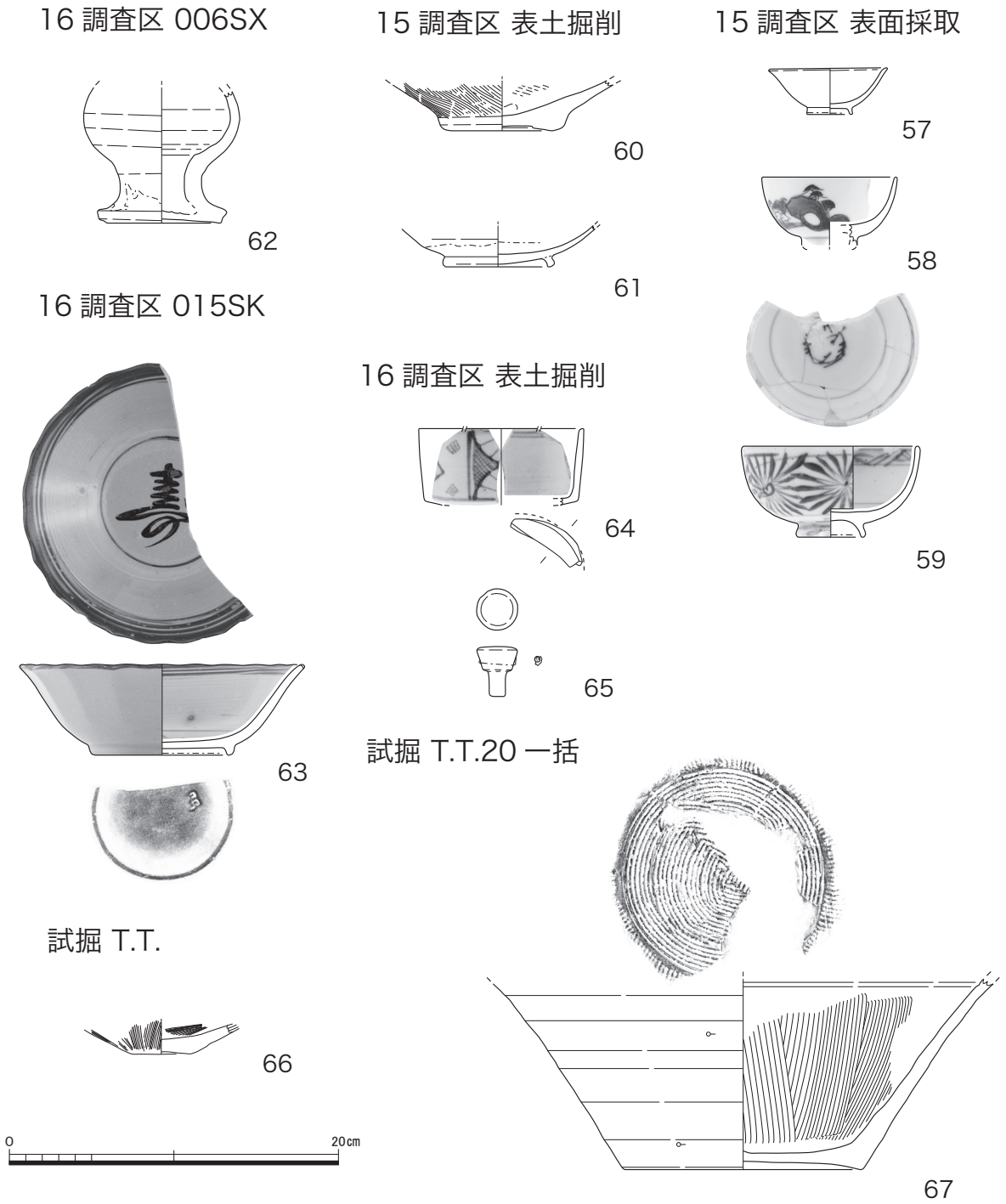


図 2-35 15 調査区 表土掘削・表面採取 / 16 調査区 006SX・015SK・表土掘削 / 試掘トレンチ出土土器・陶磁器 (S=1:4)

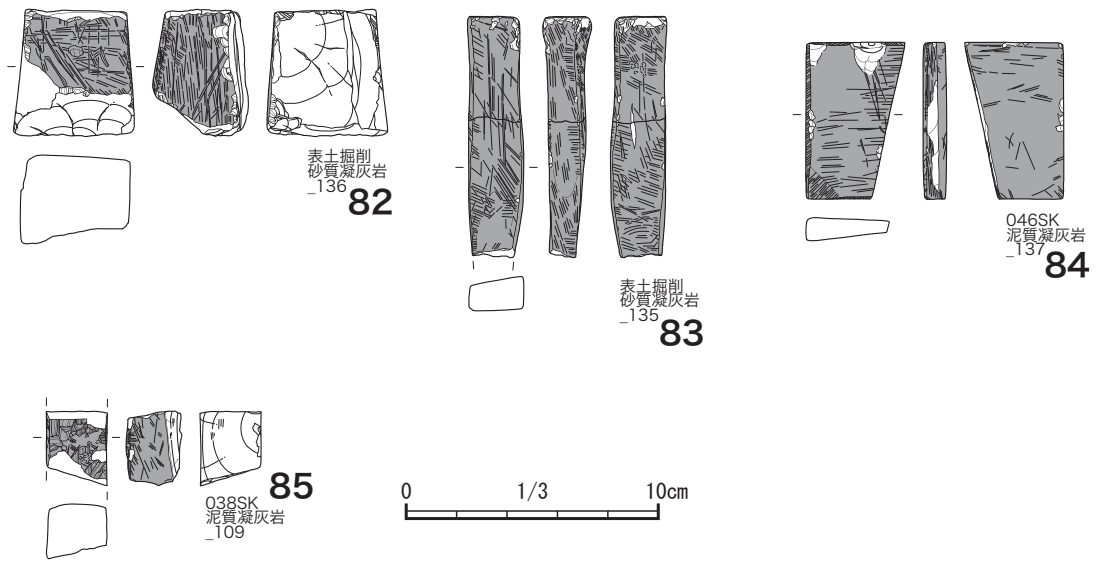
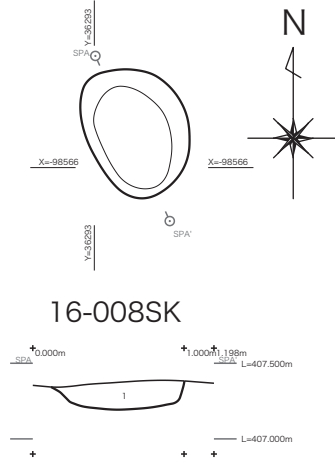


図 2-36 15 調査区 表土掘削・046SK・038SK 出土の砥石 (S=1:3)

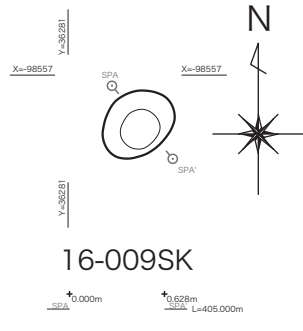


図 2-37 15 調査区 表面採取・051SK 出土木製品 (S=1:4)



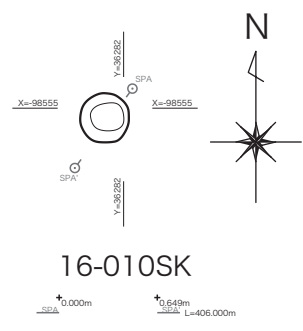
16-008SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、中礫の亜角礫、焼土含む。



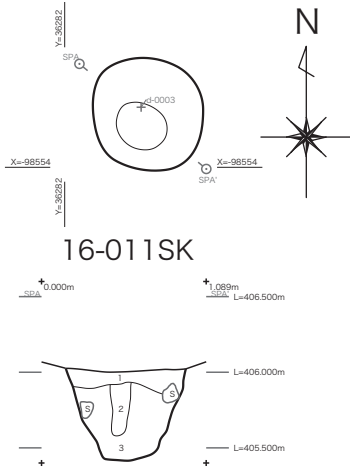
16-009SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。
2 10YR5/6 黄褐色粘土質 シルト 中礫の亜角礫を少量含む。



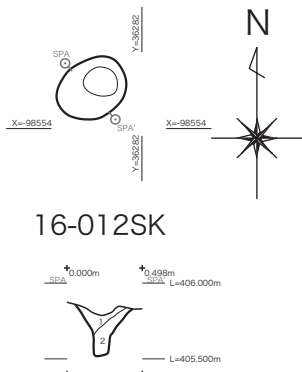
16-010SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂含む。
2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、径10cmの大礫含む。



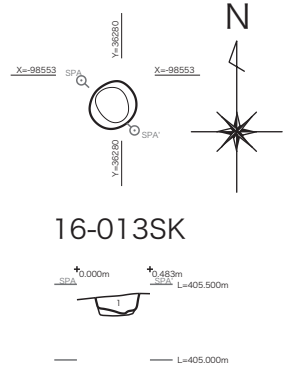
16-011SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 細礫、炭含む。
2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む、中礫の亜角礫を含む。
3 10YR3/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む、中礫の亜角礫含む



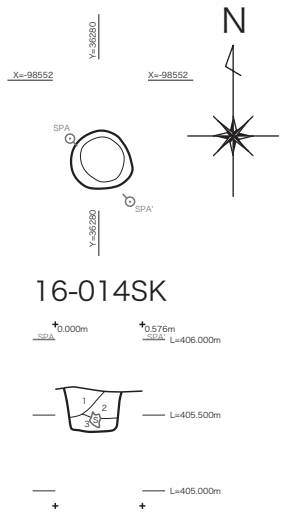
16-012SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。
2 10YR5/6 黄褐色 シルト やや粘質 径10cmの大礫の亜角礫を多く含む。



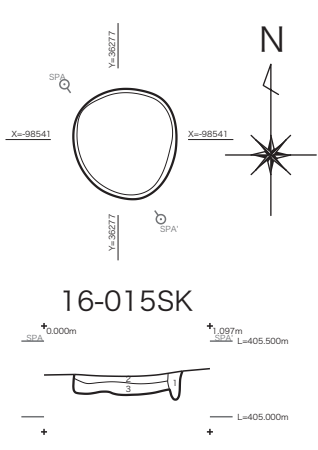
16-013SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、亜角礫の中礫を含む。



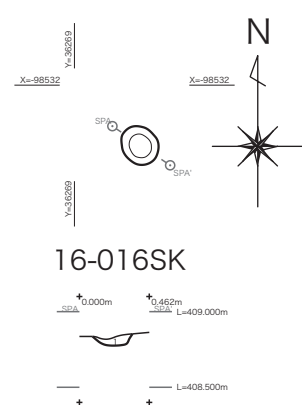
16-014SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 細礫を含む。
2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色シルト ブロックを多く含む。
3 10YR5/6 黄褐色 シルト やや粘質 粗砂多く含む。径10cm大礫の亜角礫あり。



16-015SK

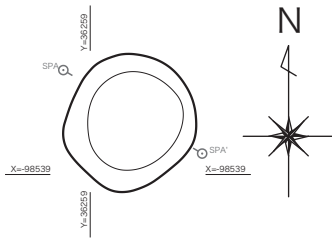
1 10YR3/1 黒褐色 シルト 黄褐色シルト ブロック、中礫の亜角礫含む。
2 7.5YR3/1 黒褐色 シルト 中粒砂含む。
3 10YR5/2 黒褐色 シルト 径10cm大礫の亜角礫多く含む。



16-016SK

1 10YR5/2 黒褐色 シルト 中礫の亜角礫多く含む、焼土含む。

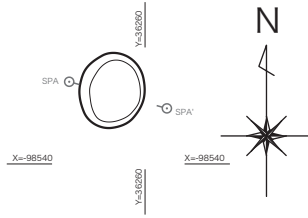
図 2-38 16 調査区 008SK・009SK・010SK・011SK・012SK・013SK・014SK・015SK・016SK (S=1:50)



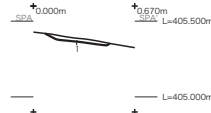
16-017SK



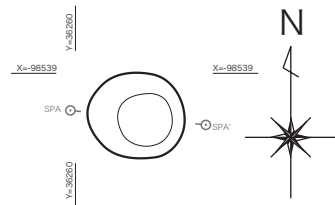
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを含む。



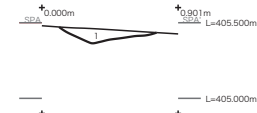
16-018SK



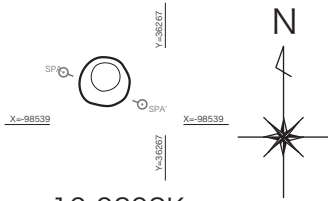
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルト ブロックを少量含む。



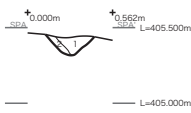
16-019SK



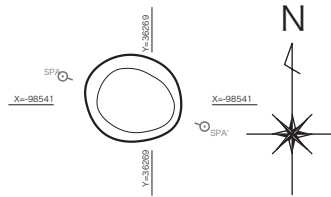
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、細礫を含む。



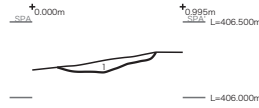
16-020SK



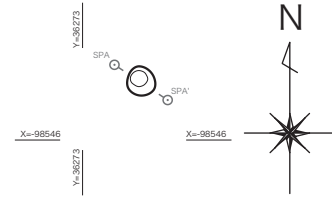
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを含む。
2 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 中礫の亜角礫を含む。



16-021SK



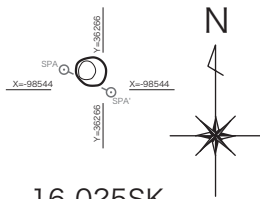
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、炭を含む。



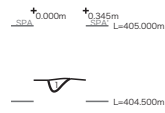
16-022SK



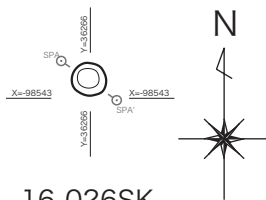
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、中礫の亜角礫を含む。



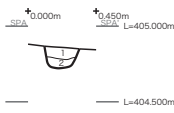
16-025SK



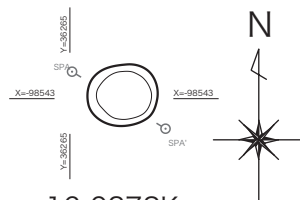
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルト ブロック、炭少量含む。



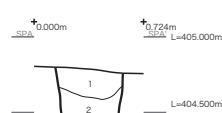
16-026SK



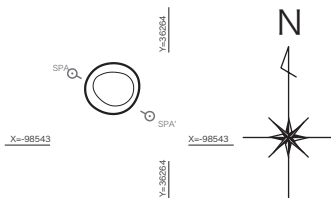
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含み、炭を少量含む。
2 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 粗砂含む。



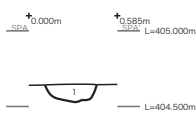
16-027SK



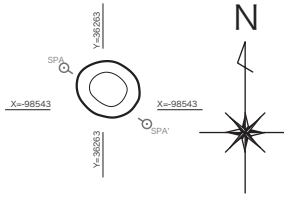
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック少量含む。
2 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック含み、径10cm大礫の亜角礫を多く含む。



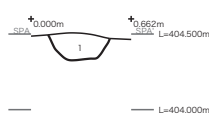
16-029SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色シルトブロック少量含む。

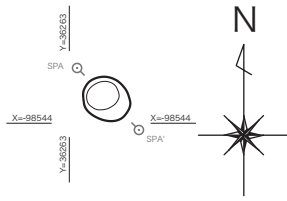


16-030SK



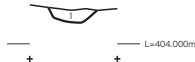
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック少量含み、細礫~中礫の亜角礫を含む。

図 2-39 16 調査区 017SK・018SK・019SK・020SK・021SK・022SK・025SK・026SK・027SK・029SK・030SK (S=1:50)

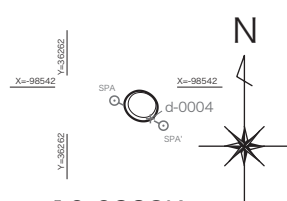


16-031SK

SPA +0.000m +0.579m
L=404.500m

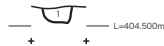


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。

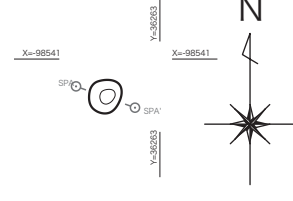


16-033SK

SPA +0.000m +0.384m
L=405.000m

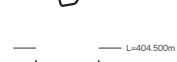


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、中礫の亜角礫を含む。

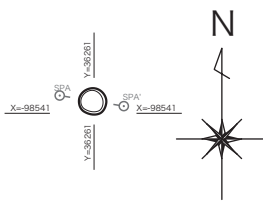


16-034SK

SPA +0.000m +0.415m
L=405.000m



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量、細礫を含む。



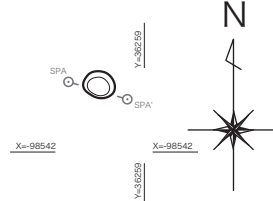
16-035SK

SPA +0.000m +0.430m
L=405.000m



1 10YR5/6 黄褐色 シルト 粘性強い 黒褐色 シルトブロックを少量含む。

2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



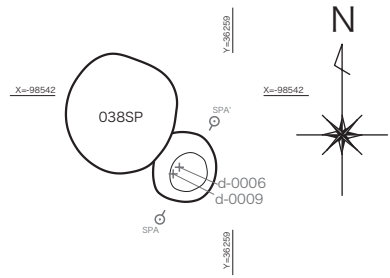
16-037SK

SPA +0.000m +0.406m
L=405.000m



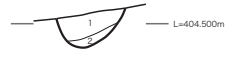
1 10YR5/6 黄褐色 シルト 粘性強い 黒褐色 シルトブロック含む。

2 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘性強い 下部に黄褐色 シルトブロックを多く含む。



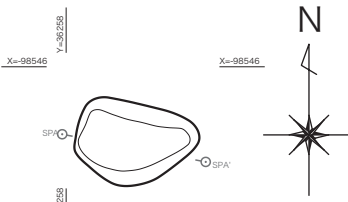
039SK

SPA +0.000m +1.743m
L=405.000m



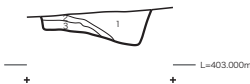
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロック少量含み、中礫の亜角礫、炭含む。

2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック多く含み、炭含む。



16-040SK

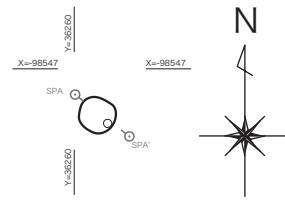
SPA +0.000m +0.966m
L=403.500m



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。

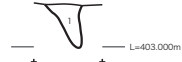
2 10YR5/6 黄褐色 シルト 粘性強い。

3 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、下部に黒褐色 シルトブロック含む。



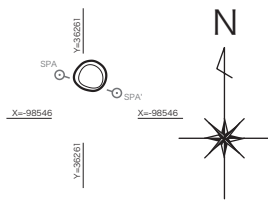
16-041SK

SPA +0.000m +0.453m
L=403.500m



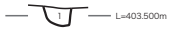
1 10YR2/2 黒褐色 シルト 粘性やや強い 黄褐色 シルトブロック少量含む。

図 2-40 16 調査区 031SK・033SK・034SK・035SK・037SK・039SK・040SK・041SK (S=1:50)



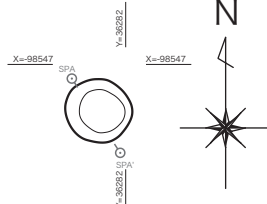
16-043SK

SPA +0.000m SPA' +0.398m L=404.000m



L=403.000m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂～細礫、黄褐色シルトブロックを含む。



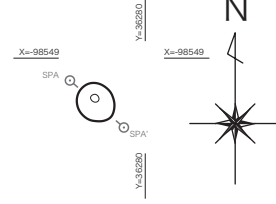
16-047SK

SPA +0.000m SPA' +0.586m L=408.500m



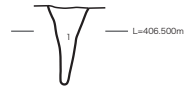
L=407.500m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を少量含む。



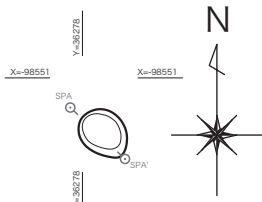
16-049SK

SPA +0.000m SPA' +0.473m L=407.000m



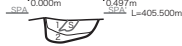
L=406.000m

1 10YR4/1 褐灰色シルト やや粘質 粗砂を多く含む。



16-050SK

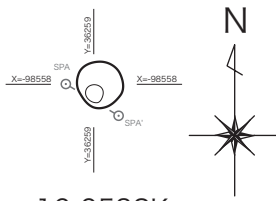
SPA +0.000m SPA' +0.497m L=405.500m



L=405.000m

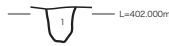
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を少量含む。径10cmの大礫の角礫あり。

2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック少量含む。



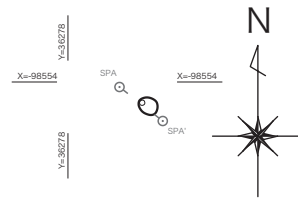
16-053SK

SPA +0.000m SPA' +0.407m L=402.500m



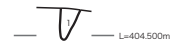
L=401.500m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。



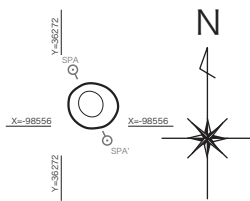
16-055SK

SPA +0.000m SPA' +0.364m L=405.000m



L=404.000m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 下部に黄褐色シルトブロックを少量含む。



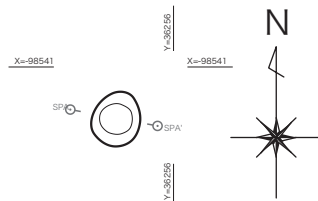
16-056SK

SPA +0.000m SPA' +0.520m L=403.500m



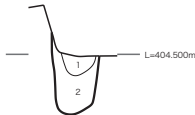
L=402.500m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 下部に黄褐色シルトブロックを含み、中礫の垂角礫を多く含む。



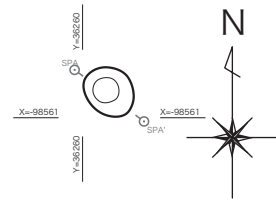
16-057SK

SPA +0.000m SPA' +0.587m L=405.000m



L=404.000m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。
2 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを多く含む。



16-060SK

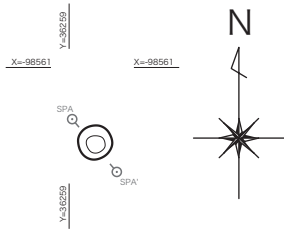
SPA +0.000m SPA' +0.572m L=402.000m



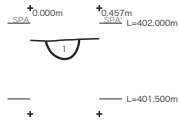
L=401.500m

1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 下部に黄褐色シルトを含む。

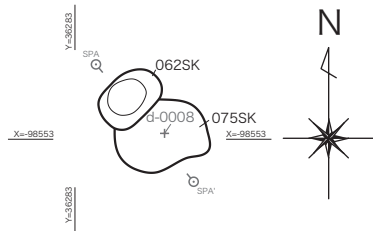
図 2-41 16 調査区 043SK・047SK・049SK・050SK・053SK・055SK・056SK・057SK・060SK (S=1:50)



16-061SK



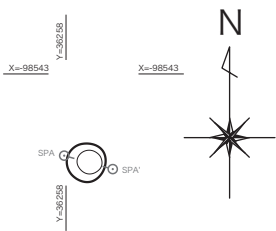
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。



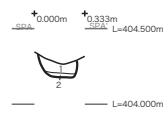
16-062SK 075SK



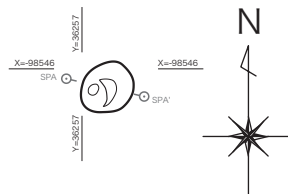
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂少量、下部に黄褐色 シルトブロック多く含む、中礫の歪角礫を含む。(062SK)
 2 10YR5/2 灰黄褐色 シルト やや粘質 (075SK)。
 3 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、中礫の歪角礫を含む。(075SK)



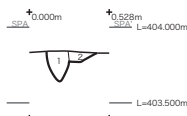
16-063SK



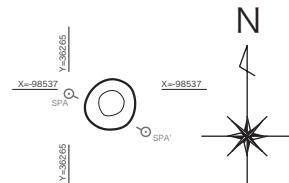
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 中粒砂を含む。
 2 10YR2/2 灰黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック少量含む、中礫の歪角礫を含む。



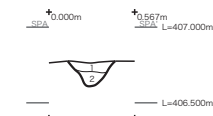
16-065SK



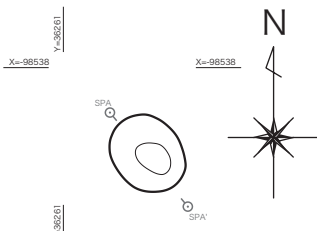
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、灰色 シルトブロックを少量含む。
 2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、灰色 シルトブロックを少量含む、中礫の歪角礫を含む。



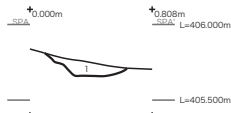
16-067SK



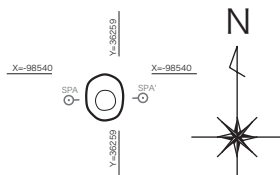
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 細礫、黄褐色 シルトブロック少量含む。
 2 10YR5/4 灰黄褐色 シルト やや粘質 中粒砂を含む。



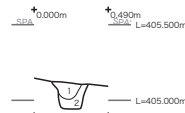
16-069SK



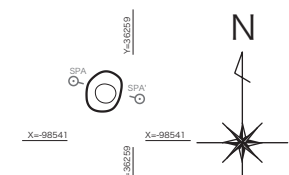
1 10YR5/4 灰黄褐色 シルト やや粘質 中粒砂、細礫を多く含む。



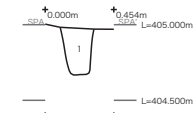
16-072SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 しまりあり 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。
 2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。

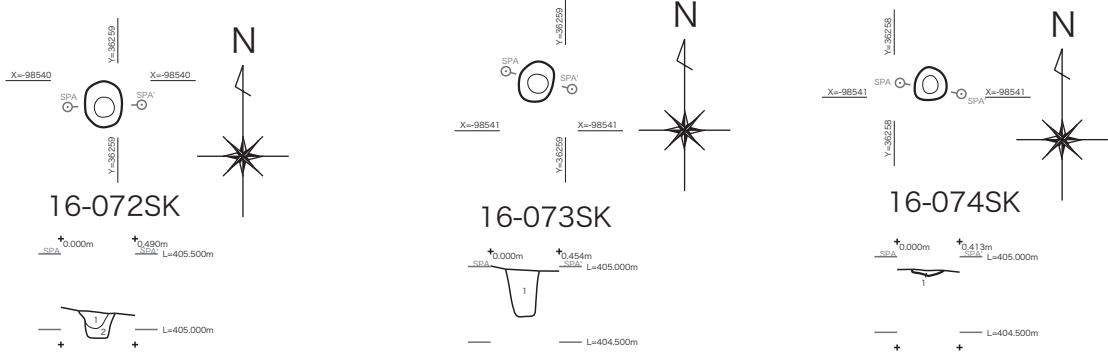


16-073SK

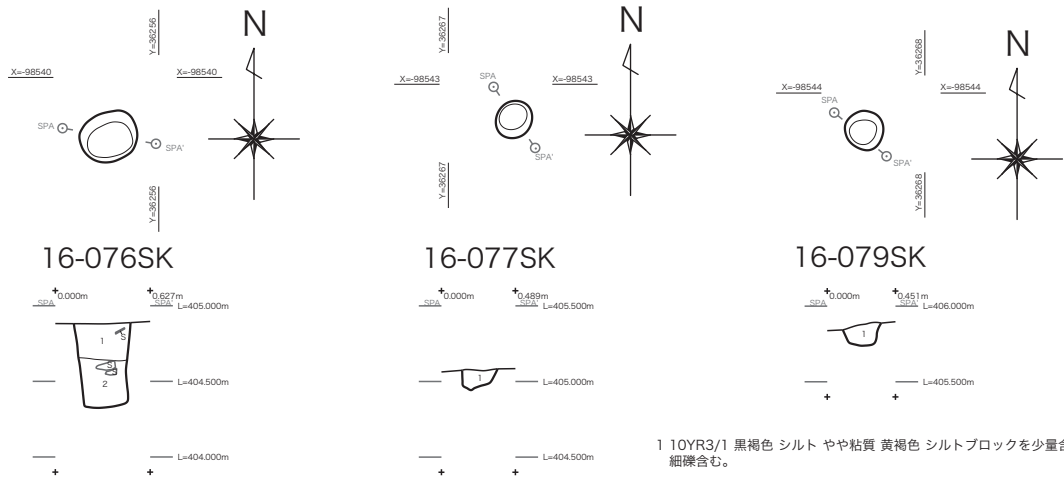


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。

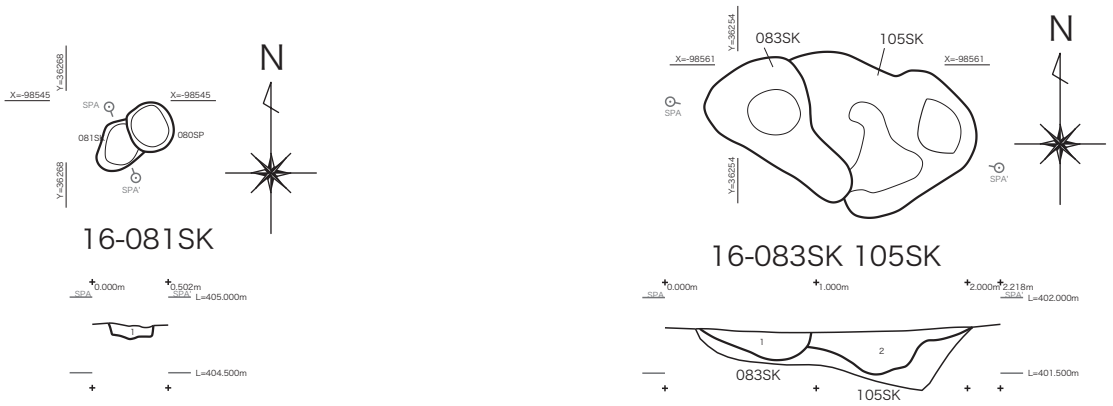
図 2-42 16 調査区 061SK・062SK・075SK・063SK・065SK・067SK・069SK・072SK・073SK (S=1:50)



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 しまりあり 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。
 2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。
 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。

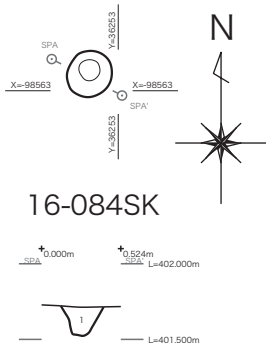


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 炭を多く含む。径15cmの大礫の角礫あり。
 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含み、中礫の亜角礫、炭を含む。
 2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを多く含む。径20cmの大礫の亜角礫あり。



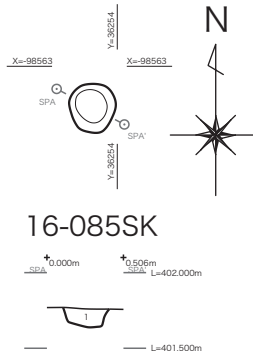
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含み、中礫の亜角礫含む。
 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを多く含む。(083SK)
 2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを多く含む。(105SK)

図 2-43 16 調査区 072SK・073SK・074SK・076SK・077SK・079SK・081SK・083SK・105SK (S=1:50)



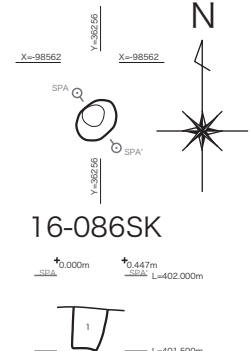
16-084SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量、炭含む。



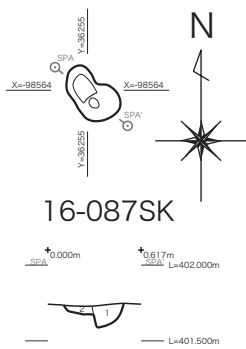
16-085SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。



16-086SK

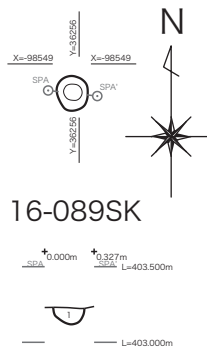
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含み、中礫の亜角礫を含む。



16-087SK

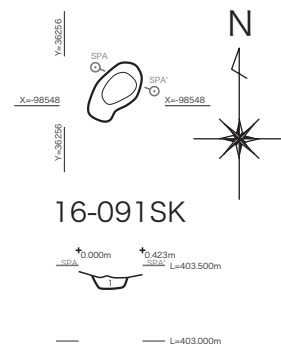
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含み、中礫の亜角礫を含む。

2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。



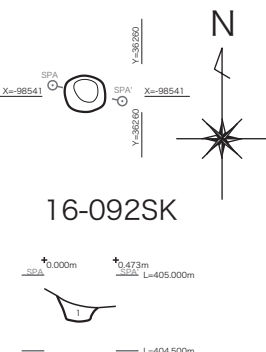
16-089SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 にぶい黄褐色 シルトブロックを含む。細礫、中礫の亜角礫を含む。



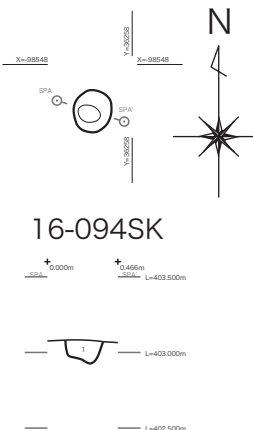
16-091SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 にぶい黄褐色 シルトブロック、細礫を含む。



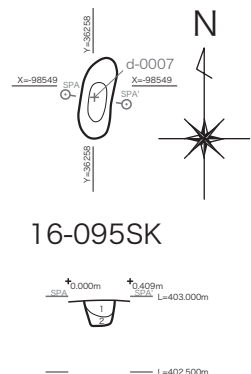
16-092SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロック含む。



16-094SK

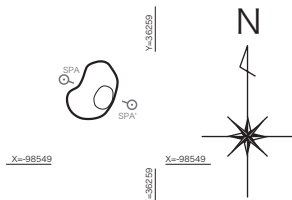
1 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含み、細礫、炭含む。



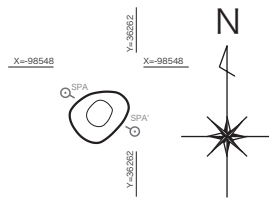
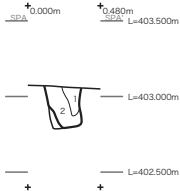
16-095SK

1 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含み、細礫、炭含む。
2 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。

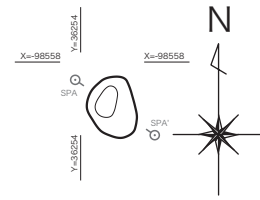
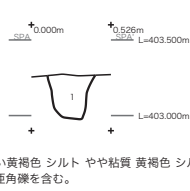
図 2-44 16 調査区 084SK・085SK・086SK・087SK・089SK・091SK・092SK・094SK・095SK (S=1:50)



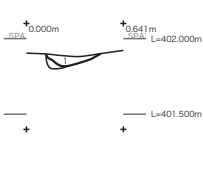
16-096SK



16-097SK



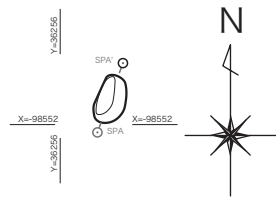
16-098SK



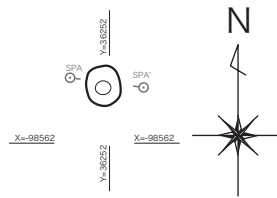
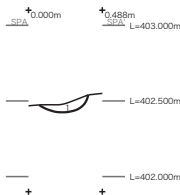
1 10YR5/3 にふい黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、
細礫、中礫の亜角礫を含む。

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。

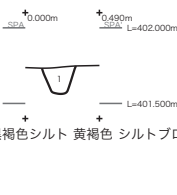
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、下部黄褐色 シルトブロックを少量含む、炭含む。
2 10YR5/3 にふい黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。



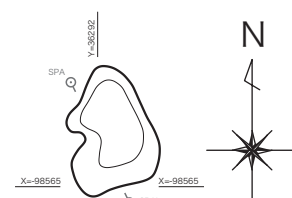
16-099SK



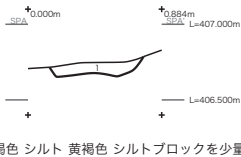
16-100SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト 黄褐色 シルトブロックを少量含む。

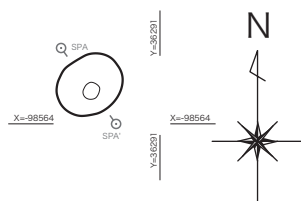


16-101SK

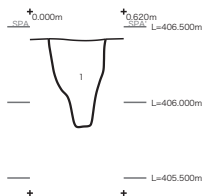


1 10YR3/1 黒褐色 シルト 黄褐色 シルトブロックを少量含む、焼土含む。

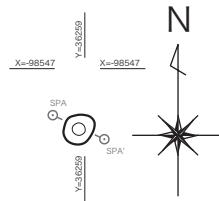
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



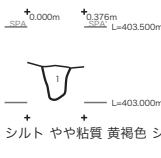
16-102SK



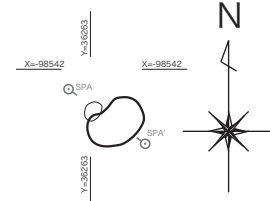
1 10YR3/1 黒褐色 シルト 黄褐色 シルトブロック、焼土を含み、
径10cmの大礫の亜角礫あり。



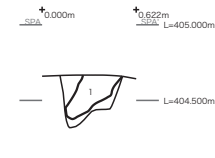
16-103SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。

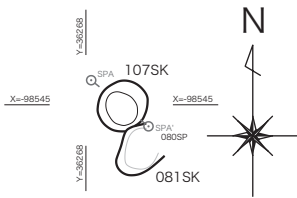


16-104SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂 黄褐色 シルトブロック、
中礫の亜角礫を含む。

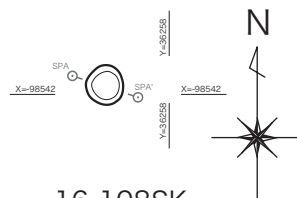
図 2-45 16 調査区 096SK・097SK・098SK・099SK・100SK・101SK・102SK・103SK・104SK (S=1:50)



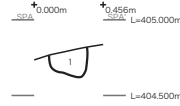
16-107SK



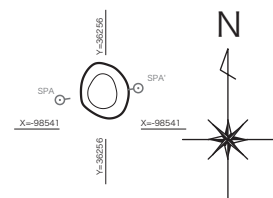
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含み、中礫の歪角礫を含む。



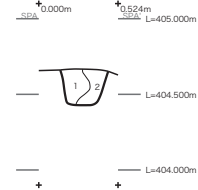
16-108SK



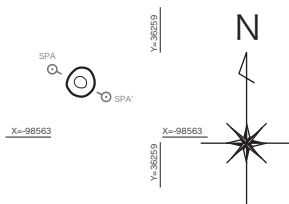
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。



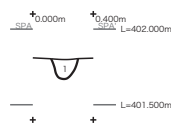
16-109SK



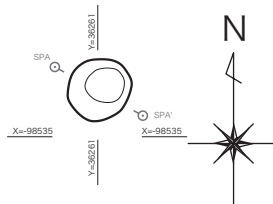
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含み、炭含む。



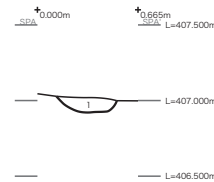
16-110SK



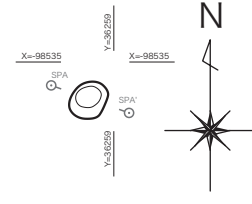
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。



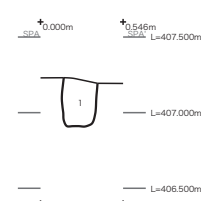
16-111SK



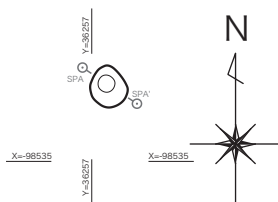
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを多く含む。



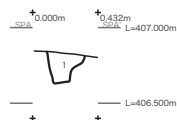
16-112SK



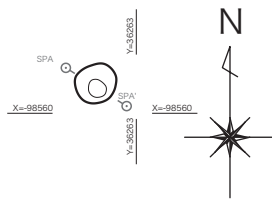
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含み、中礫の歪角礫を含む。



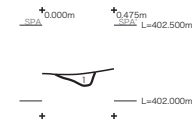
16-116SK



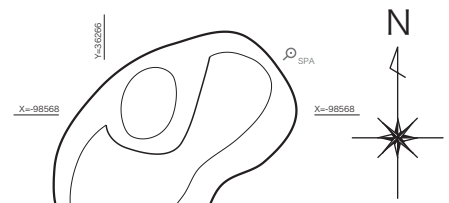
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。



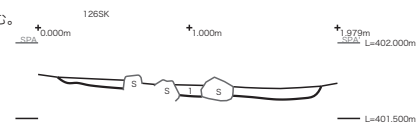
16-121SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。

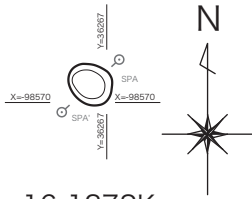


16-126K



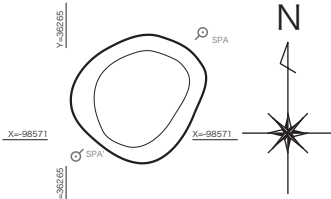
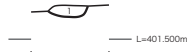
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。

図 2-46 16 調査区 107SK・108SK・109SK・110SK・111SK・112SK・116SK・121SK・126SK (S=1:50)



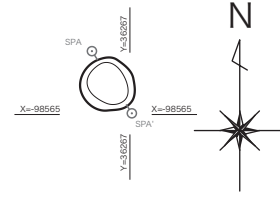
16-127SK

SEA 0.000m SPA 0.515m L=402.000m



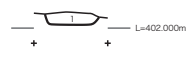
16-128SK

SEA 0.000m SPA 1.000m 1.74m L=402.000m



16-129SK

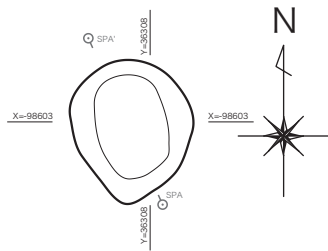
SEA 0.000m SPA 0.488m L=402.500m



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを多く含む。

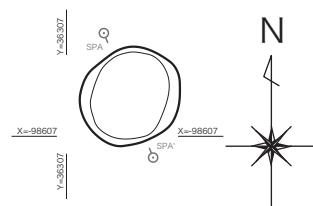
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、中礫の亜角礫を含む。

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂 黄褐色 シルトブロックを含む。径10cmの大礫の亜角礫あり。



16-130SK

SEA 0.000m SPA 1.000m 1.205m L=405.000m

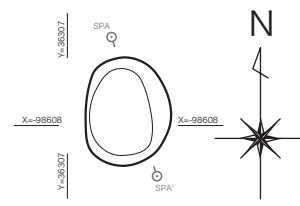


16-131SK

SEA 0.000m SPA 0.885m L=405.000m



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロック、炭を含む。



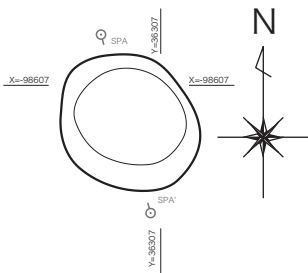
16-132SK

SEA 0.000m SPA 0.988m L=405.000m



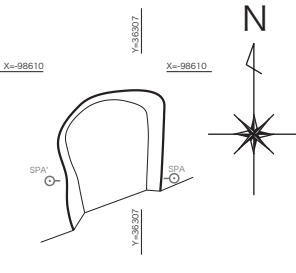
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 下部に黄褐色 シルトブロック、中礫の角礫を含む。



16-133SK

SEA 0.000m SPA 1.000m 1.225m L=405.000m

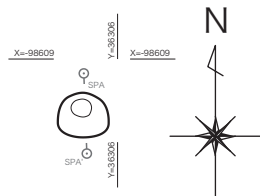


16-134SK

SEA 0.000m SPA 0.823m L=404.500m

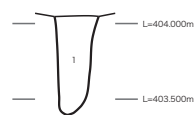


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。



16-135SK

SEA 0.000m SPA 0.530m L=404.500m



SEA 0.000m SPA 0.530m L=403.500m

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。

図 2-47 16 調査区 127SK・128SK・129SK・130SK・131SK・132SK・133SK・134SK・135SK (S=1:50)

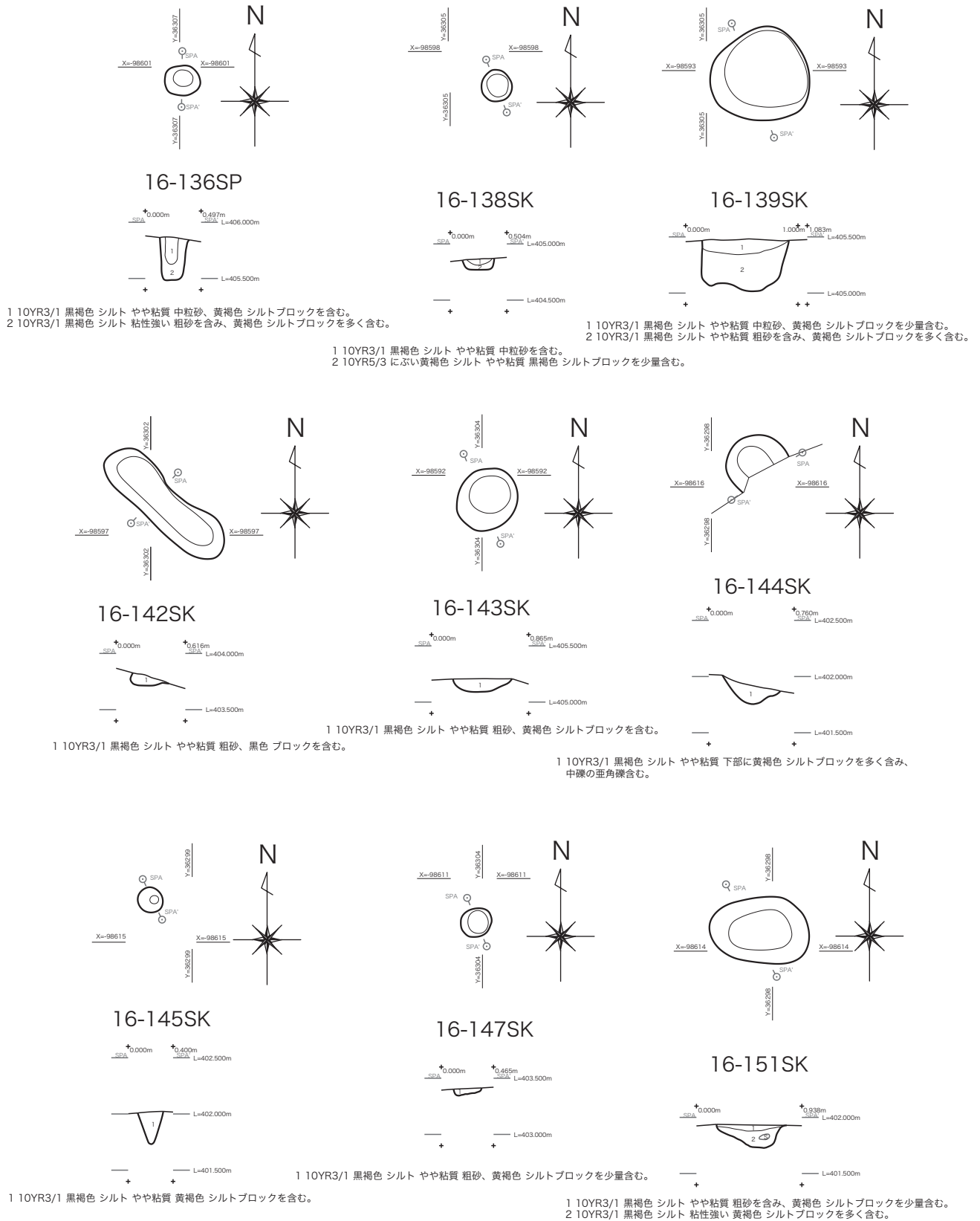
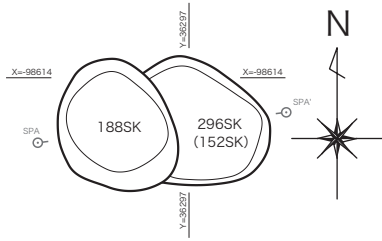
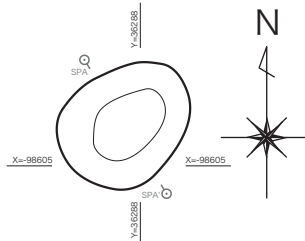
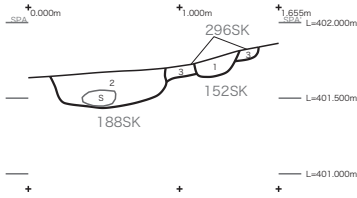


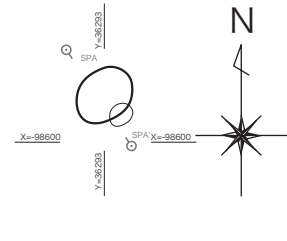
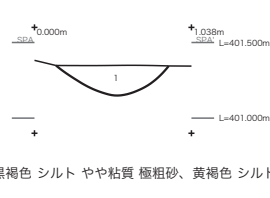
図 2-48 16 調査区 136SP・138SK・139SK・142SK・143SK・144SK・145SK・147SK・151SK (S=1:50)



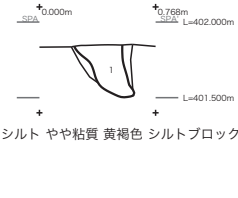
16-152SK 188SK 296SK



16-156SK

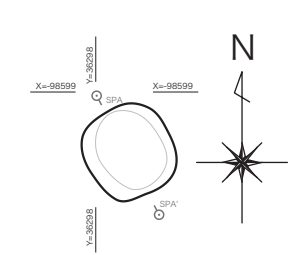


16-157SK

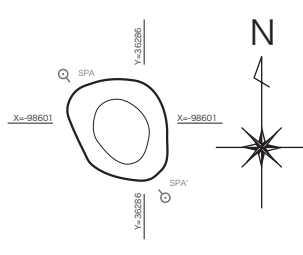
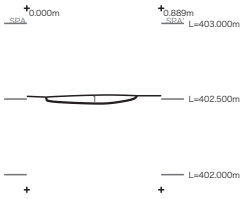


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含み、細礫含む。

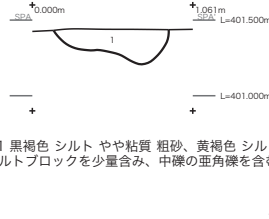
- 1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 中粒砂を含む。径20cmの大礫の亜角礫あり。(152SK)
- 2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。(188SK)
- 3 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。(296SK)



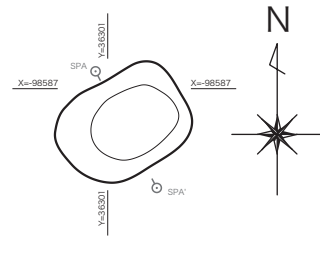
16-158SK



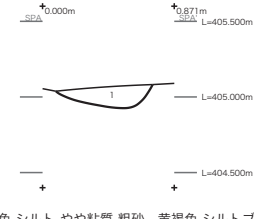
16-159SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含み、中礫の亜角礫を含む。

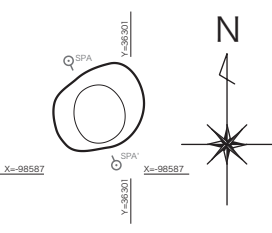


16-160SK

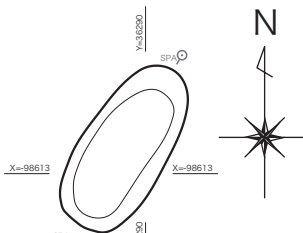
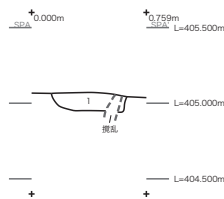


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。

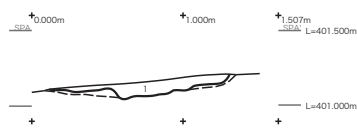
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。



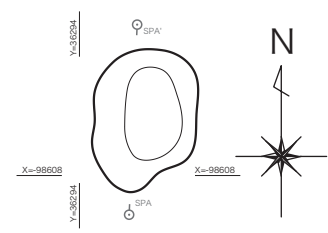
16-161SK



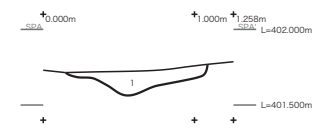
16-162SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色 シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含む。



16-163SK

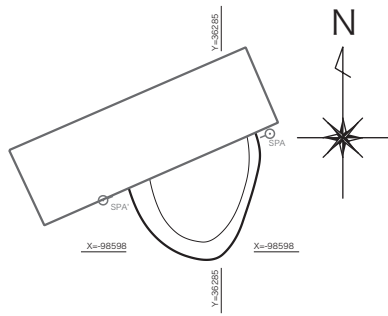


1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。径10cmの大礫の亜角礫あり。

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。

図 2-49 16 調査区 152SK・188SK・296SK・156SK・157SK・

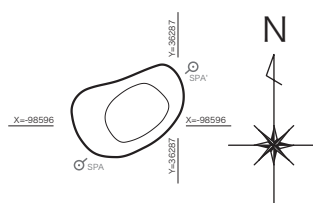
158SK・159SK・160SK・161SK・163SK (S=1:50)



16-166SK



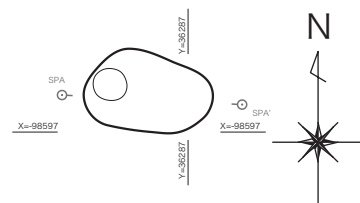
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、黒褐色 シルトブロックを含む。



16-167SK



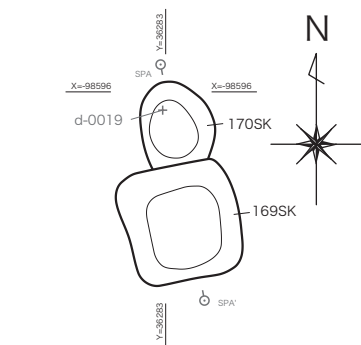
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含む。



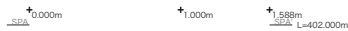
16-168SK



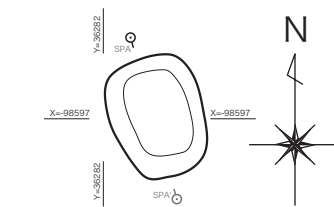
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 中粒砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



16-169SK 170SK



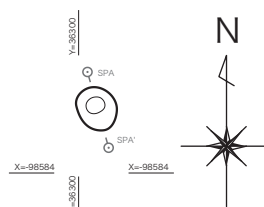
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 下部に 黄褐色 シルトブロックを多く含み、細礫を含む。(169SK)
2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。(170SK)



16-171SK



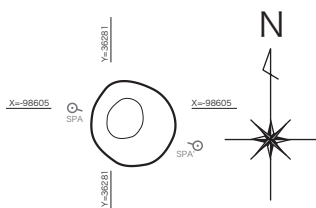
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを多く含む。
2 10YR2/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。



16-172SK



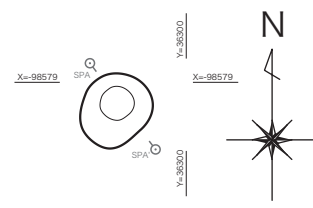
1 2.5YR5/3 黄褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロック、炭を含む。



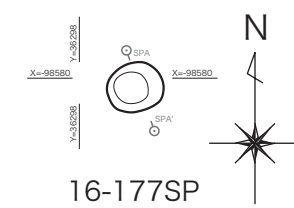
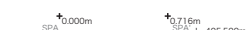
16-174SK



1 2.5YR5/3 黄褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含み、中礫の垂角礫を含む。
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。



16-176SK

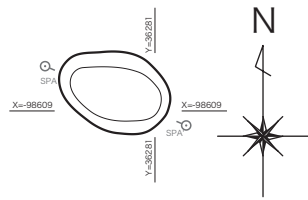


16-177SP



1 2.5YR5/3 黄褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロック、炭を含む。

図 2-50 16 調査区 166SK・167SK・168SK・169SK・170SK・171SK・172SK・174SK・176SK・177SP (S=1:50)

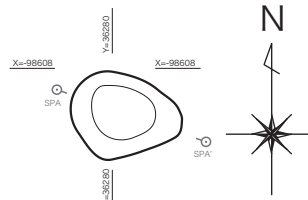


16-178SK

SPA 0.000m SPA' 1.012m L=401.500m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを含む。

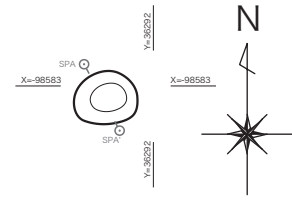


16-179SK

SPA 0.000m SPA' 1.045m L=401.500m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質。
2 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。

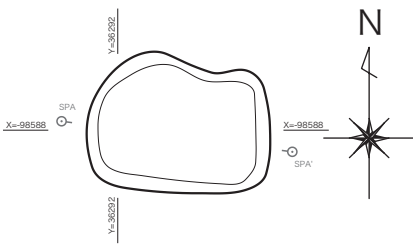


16-180SK

SPA 0.000m SPA' 0.498m L=403.000m



1 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性強い 黒褐色シルトブロックを多く含む。

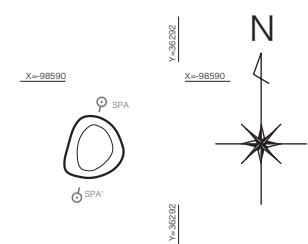


16-182SK

SPA 0.000m SPA' 1.000m SPA' 1.539m L=402.500m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、
黒色シルトブロックを少量含む。

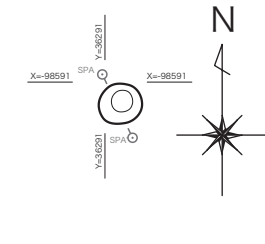


16-183SK

SPA 0.000m SPA' 0.654m L=402.500m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを含む。

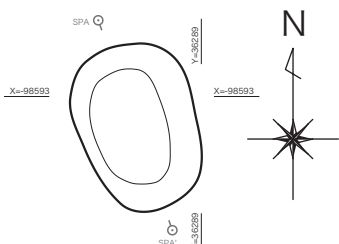


16-184SK

SPA 0.000m SPA' 0.464m L=402.500m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。

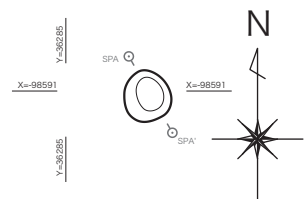


16-185SK

SPA 0.000m SPA' 1.000m SPA' 1.422m L=402.000m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、
黒褐色シルトブロック、細隙を含む。

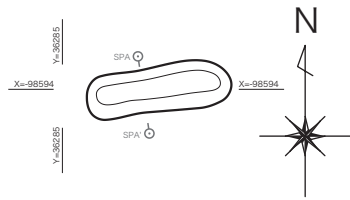


16-186SK

SPA 0.000m SPA' 0.581m L=402.000m



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、
黒褐色シルトブロックを少量含む。



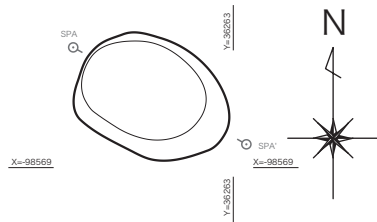
16-187SK

SPA 0.000m SPA' 0.516m L=402.000m

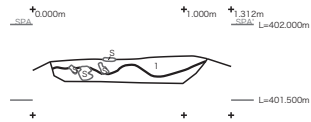


1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。

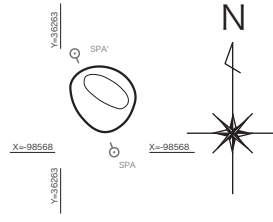
図 2-51 16 調査区 178SK・179SK・180SK・182SK・183SK・184SK・185SK・186SK・187SK (S=1:50)



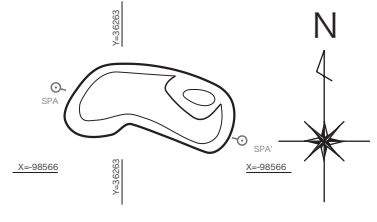
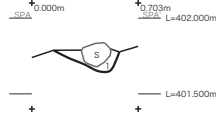
16-190SK



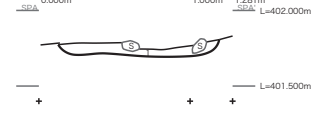
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを多く含む。



16-193SK

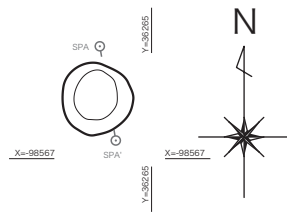


16-195SK

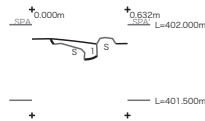


1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質。

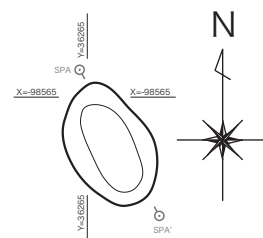
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含む、中稜の亜角稜を含む。



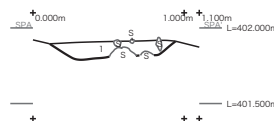
16-196SK



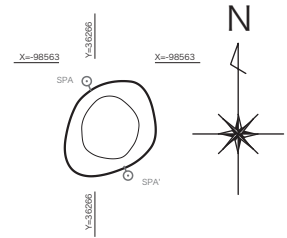
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含む。



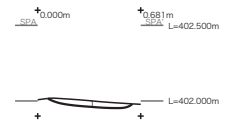
16-197SK



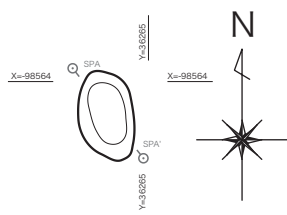
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを含む。



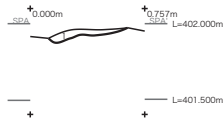
16-198SK



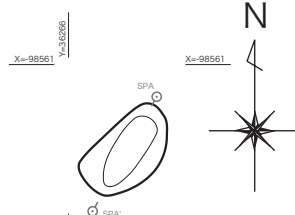
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂含む。



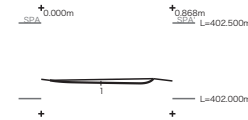
16-199SK



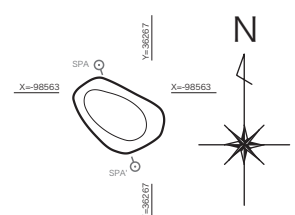
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含み、細礫を多く含む。



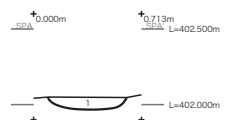
16-201SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂含む。

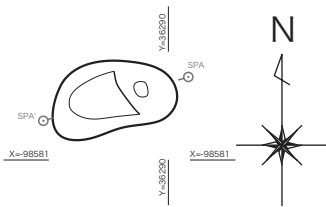


16-202SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂含む。

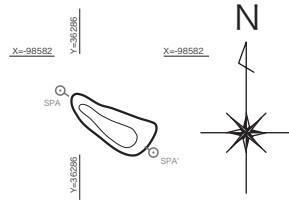
図 2-52 16 調査区 190SK・193SK・195SK・196SK・197SK・198SK・199SK・201SK・202SK (S=1:50)



16-203SK



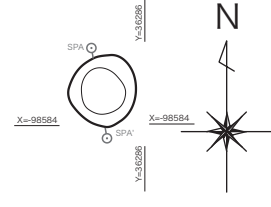
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含む。



16-205SK



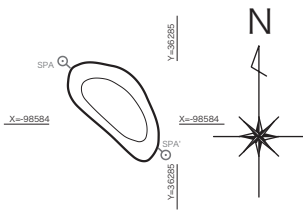
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含む。



16-206SK



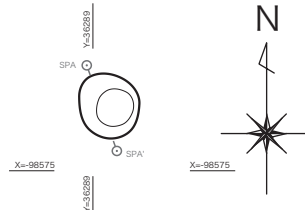
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含む。



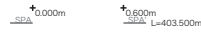
16-207SK



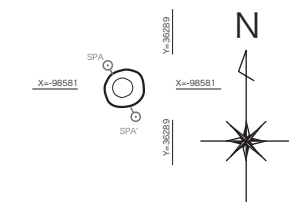
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂 黄褐色シルトブロック、黒色シルトブロックを含む。



16-211SK



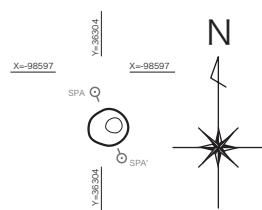
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含む、炭を含む。
2 10YR5/1 褐色シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含む。



16-213SK



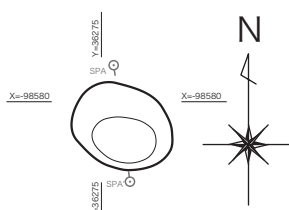
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含む。



16-215SK



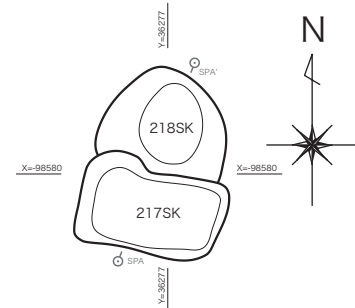
1 10YR2/2 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを少量含む、細礫を含む。



16-216SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。



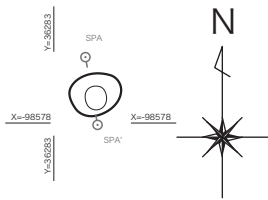
16-217SK 218SK



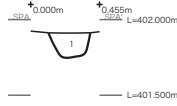
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを多く含む。(217SK)
2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを含む。(218SK)

図 2-53 16 調査区 203SK・205SK・206SK・207SK・211SK・

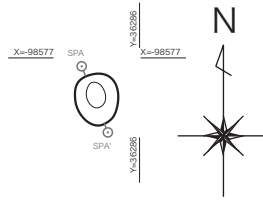
213SK・215SK・216SK・217SK・218SK (S=1:50)



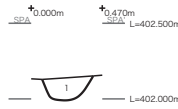
16-219SK



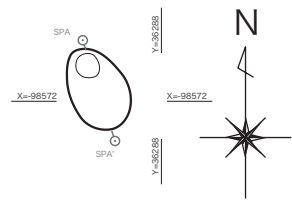
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含み、細礫を含む。



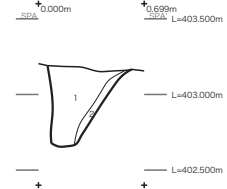
16-221SK



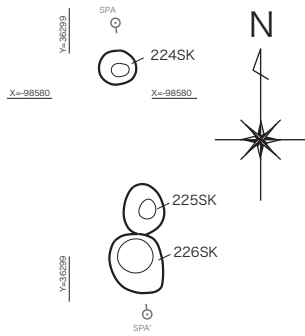
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含み、下部に黄褐色シルトブロックを多く含む。



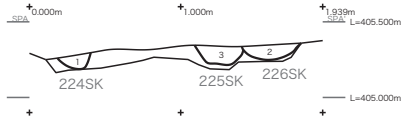
16-222SK



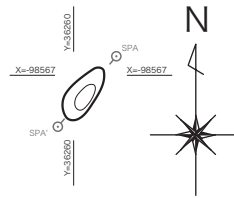
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色シルトブロックを多く含む。
2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。



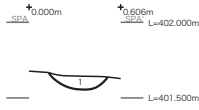
16-224SK 225SK 226SK



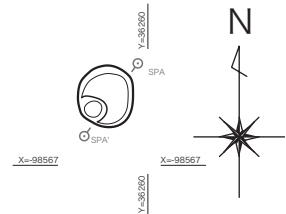
1 2.5YR5/3 黄褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロック、中礫の歪角礫を含む。(224SK)
2 2.5YR5/3 黄褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを含む。(226SK)
3 2.5YR5/3 黄褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを多く含む。(225SK)



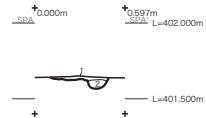
16-231SK



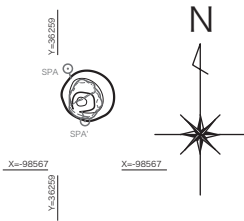
1 10YR3/2 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。



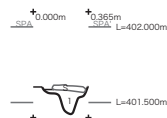
16-232SK



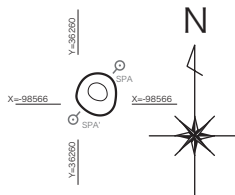
1 10YR3/2 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含む。
2 2.5Y4/2 暗灰黄色シルト 粘性強い黄褐色シルトブロック、1層ブロック含む。



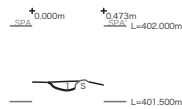
16-233SP



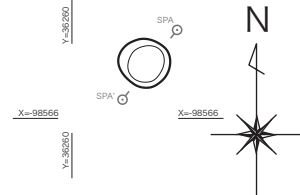
1 10YR3/2 黒褐色シルト やや粘質 粗砂 黄褐色シルトブロックを含む。



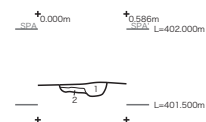
16-234SK



1 10YR3/2 黒褐色シルト やや粘質 中粒砂を含む。

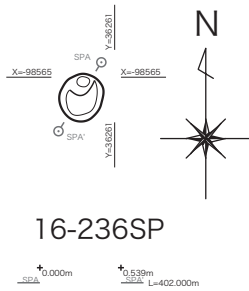


16-235SK



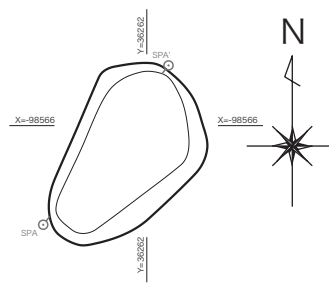
1 10YR3/2 黒褐色シルト やや粘質。
2 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性強い黄褐色シルトブロックを多く含む。

図 2-54 16 調査区 219SK・221SK・222SK・224SK・225SK・226SK・231SK・232SK・233SP・234SK・235SK (S=1:50)



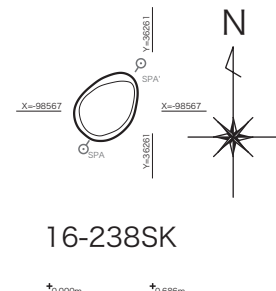
16-236SP

1 10YR3/2 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含み、炭を含む。



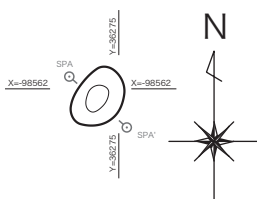
16-237SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。



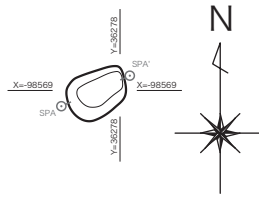
16-238SK

1 10YR3/2 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。



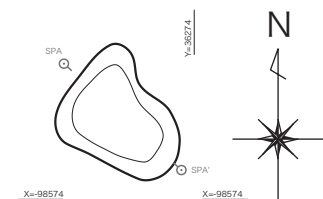
16-243SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粘性強い 黄褐色 シルトブロックを含む。



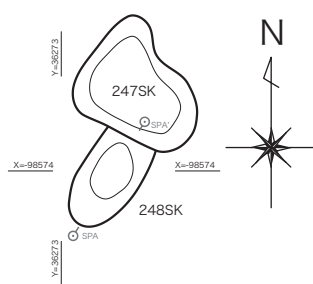
16-244SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂 黒色 シルトブロックを少量含む。



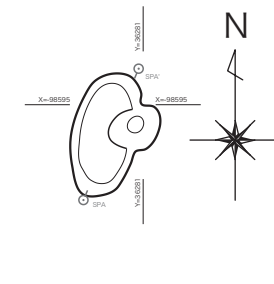
16-247SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含み、下部に黄褐色 シルトブロックを多く含む。



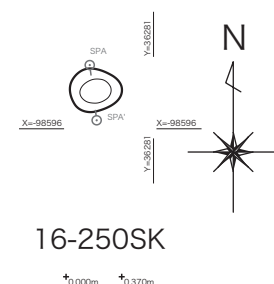
16-248SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを含む。



16-249SK

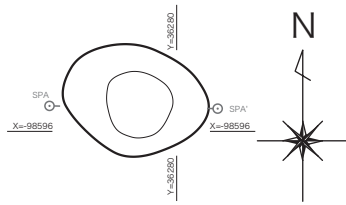
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。



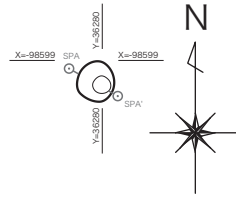
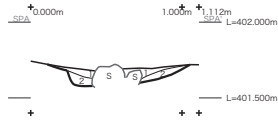
16-250SK

1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質。

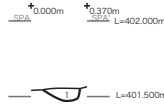
図 2-55 16 調査区 236SP・237SK・238SK・243SK・244SK・247SK・248SK・249SK・250SK (S=1:50)



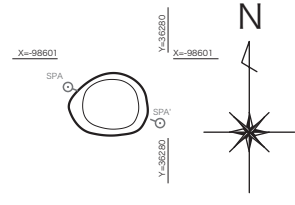
16-251SK



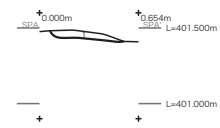
16-252SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含む。

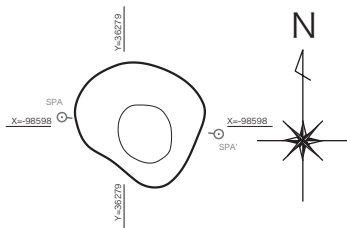


16-253SK

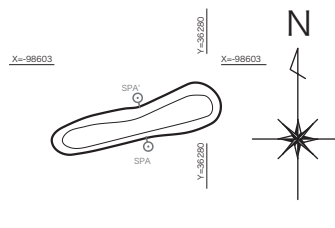
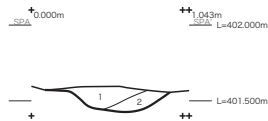


1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含む。

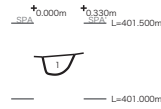
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含む。
2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 極粗砂を含み、黄褐色シルトブロックを少量含む。



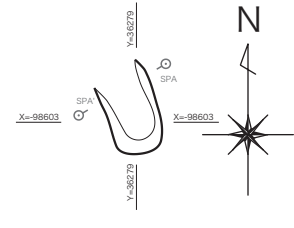
16-254SK



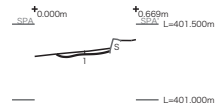
16-255SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含む。

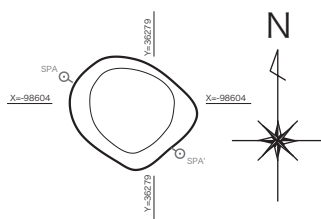


16-258SK

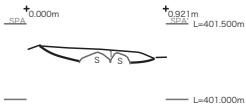


1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂を含む。

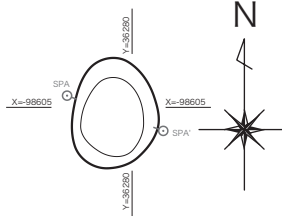
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、中礫の亜角礫を含む。
2 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを少量含む。



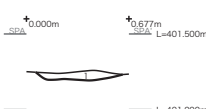
16-259SK



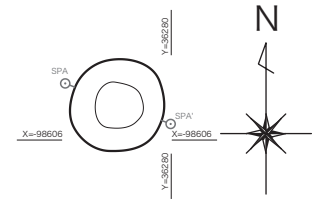
1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 黄褐色シルトブロックを含む。



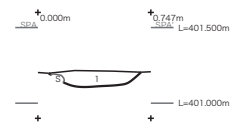
16-261SK



1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロックを少量含む。

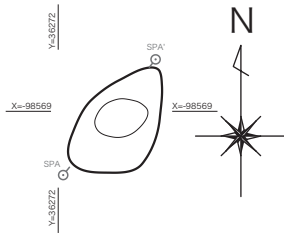


16-262SK

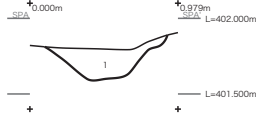


1 10YR3/1 黒褐色シルト やや粘質 粗砂、黄褐色シルトブロック、黒褐色シルトブロックを含む。

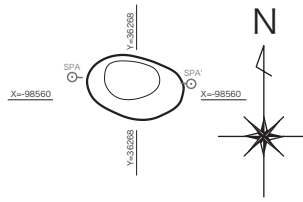
図 2-56 16 調査区 251SK・252SK・253SK・254SK・255SK・258SK・259SK・261SK・262SK (S=1:50)



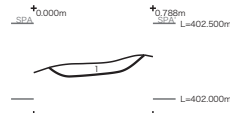
16-264SK



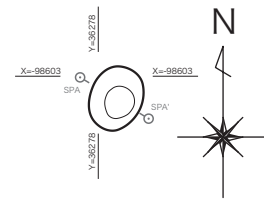
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロック、細礫を含む。



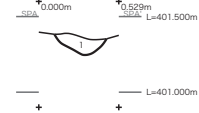
16-265SK



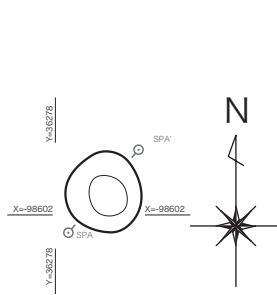
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、黄褐色シルト ブロックを含む。



16-267SK



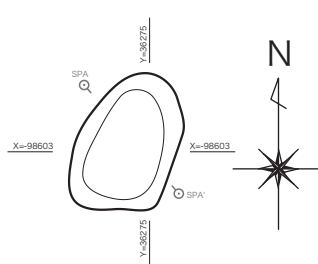
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



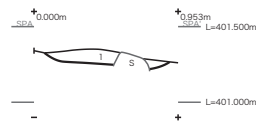
16-268SK



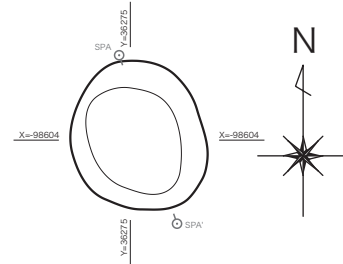
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



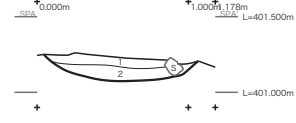
16-269SK



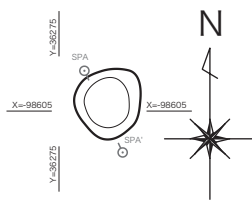
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



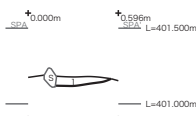
16-270SK



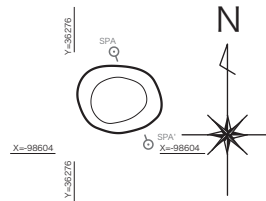
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。
2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、中礫の歪角礫を含む。



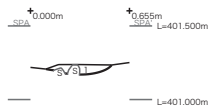
16-271SK



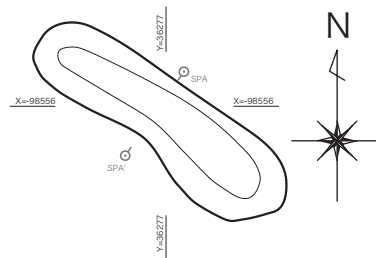
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。



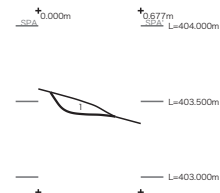
16-272SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。

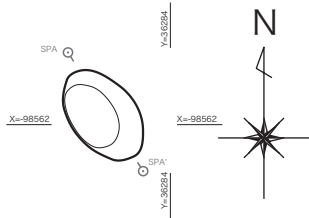


16-275SK



1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 細礫を含む。

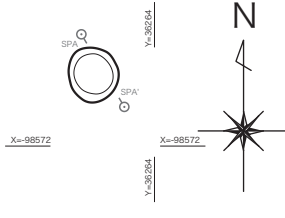
図 2-57 16 調査区 264SK・265SK・267SK・268SK・269SK・270SK・271SK・272SK・275SK (S=1:50)



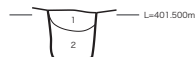
16-276SK



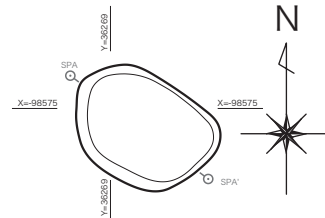
1 10YR3/1 黒褐色 シルト 粘性強い 細礫、中礫の亜角礫を含む。



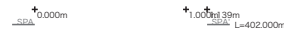
16-277SK



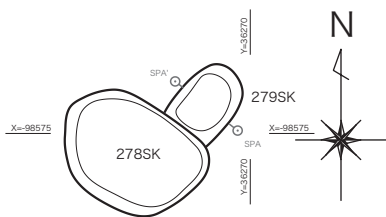
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含む。
2 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂、黄褐色 シルトブロックを少量含み、中礫の亜角礫を含む。



16-278SK



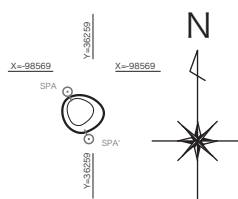
1 10YR3/1 黒褐色シルト 粘性強い 粗砂を含む。



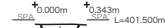
16-279SK



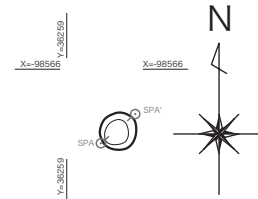
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



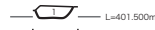
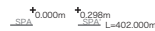
16-280SK



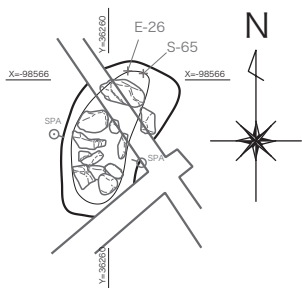
1 10YR3/1 黒褐色 シルト やや粘質 粗砂を含み、黄褐色 シルトブロックを少量含む。



16-283SK



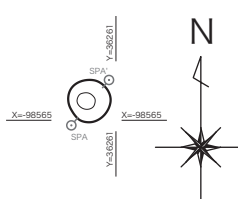
1 10YR3/2 黒褐色 シルト 粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。



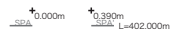
16-284SK



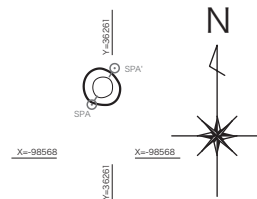
1 10YR4/1 黒褐色 シルト やや粘質 極粗砂、炭を含む。



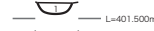
16-286SK



1 10YR3/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを少量含む。
2 10YR3/2 黒褐色 シルト 粘質 黄褐色 シルトブロックを多く含む。



16-293SP



1 10YR3/2 黒褐色 シルト やや粘質 黄褐色 シルトブロックを含む。

図 2-58 16 調査区 276SK・277SK・278SK・279SK・280SK・283SK・284SK・286SK・293SP (S=1:50)

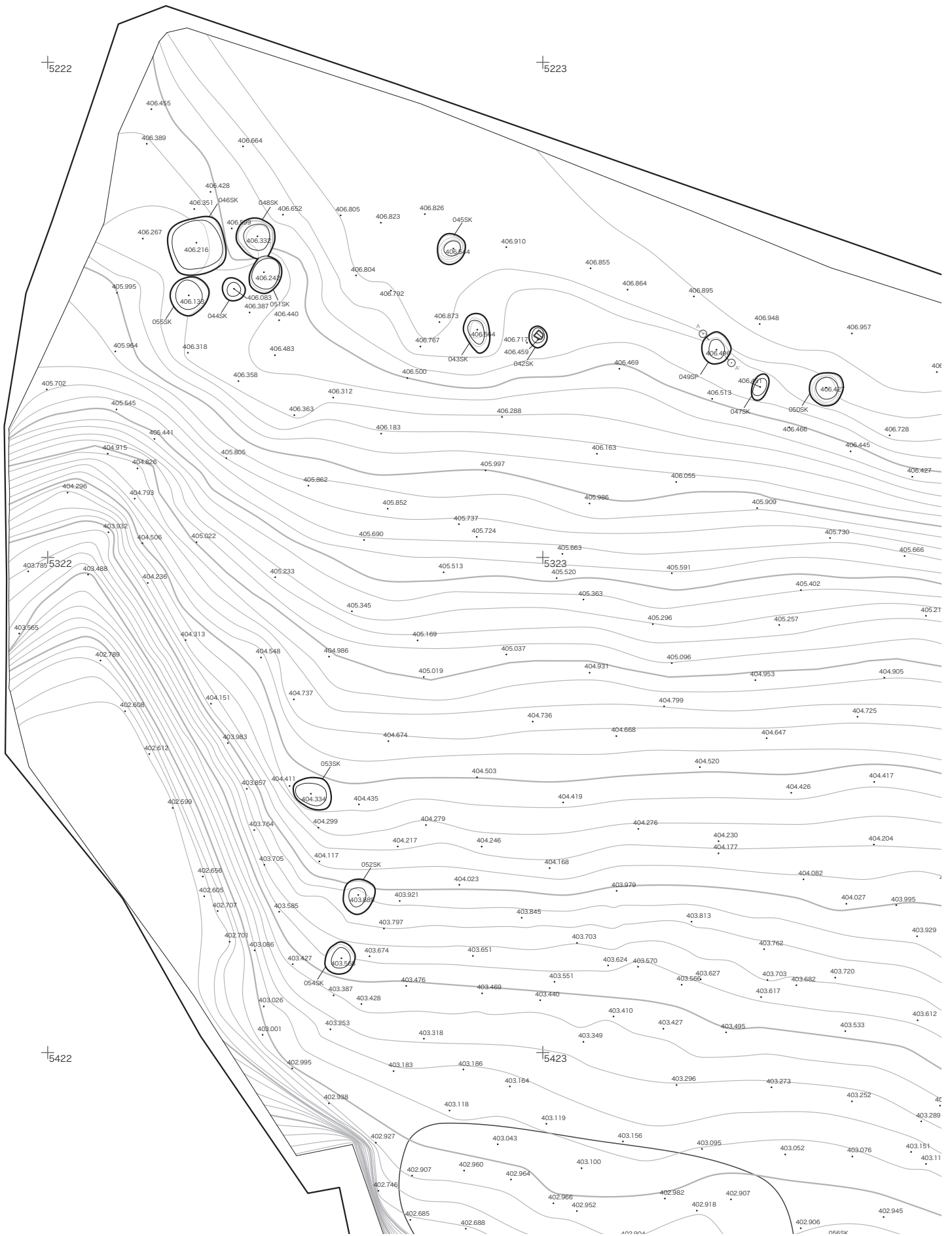


図 2-59 15 調査区 遺構全体図 -1 (S=1:100)

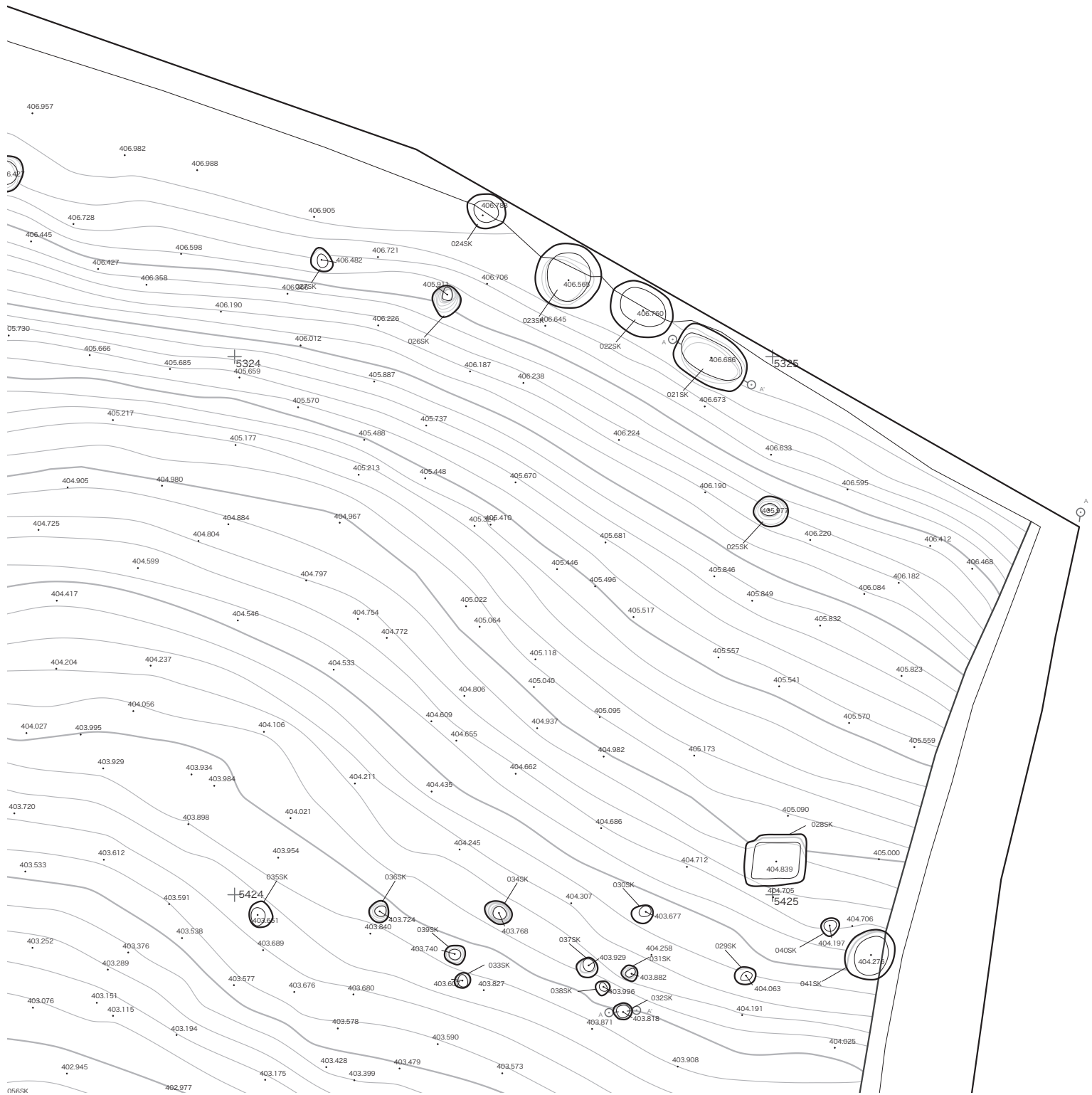


図 2-60 15 調査区 遺構全体図 -2 (S=1:100)

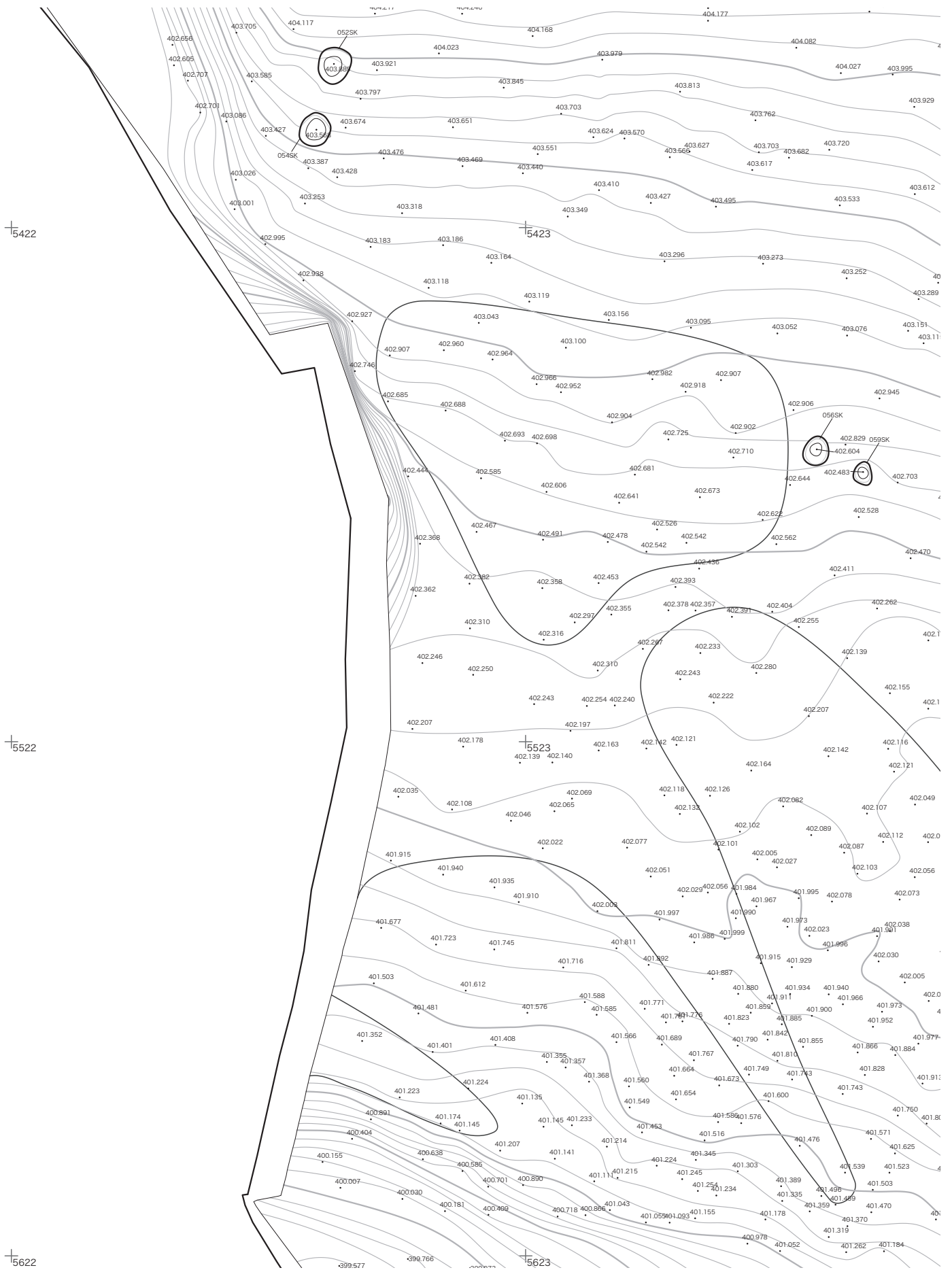


図 2-61 15 調査区 遺構全体図-3 (S=1:100)

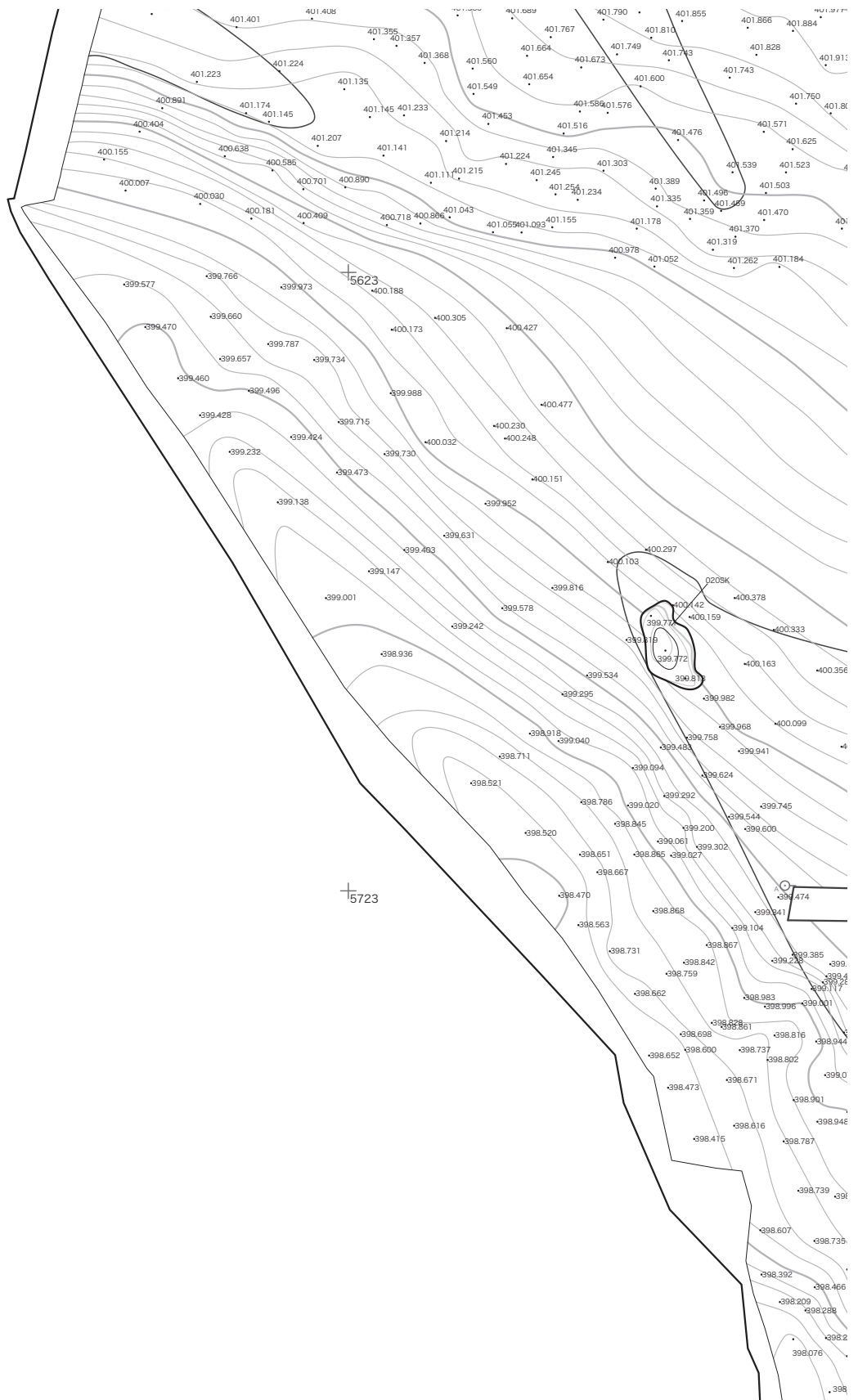


図 2-63 15 調査区 遺構全体図 -5 (S=1:100)

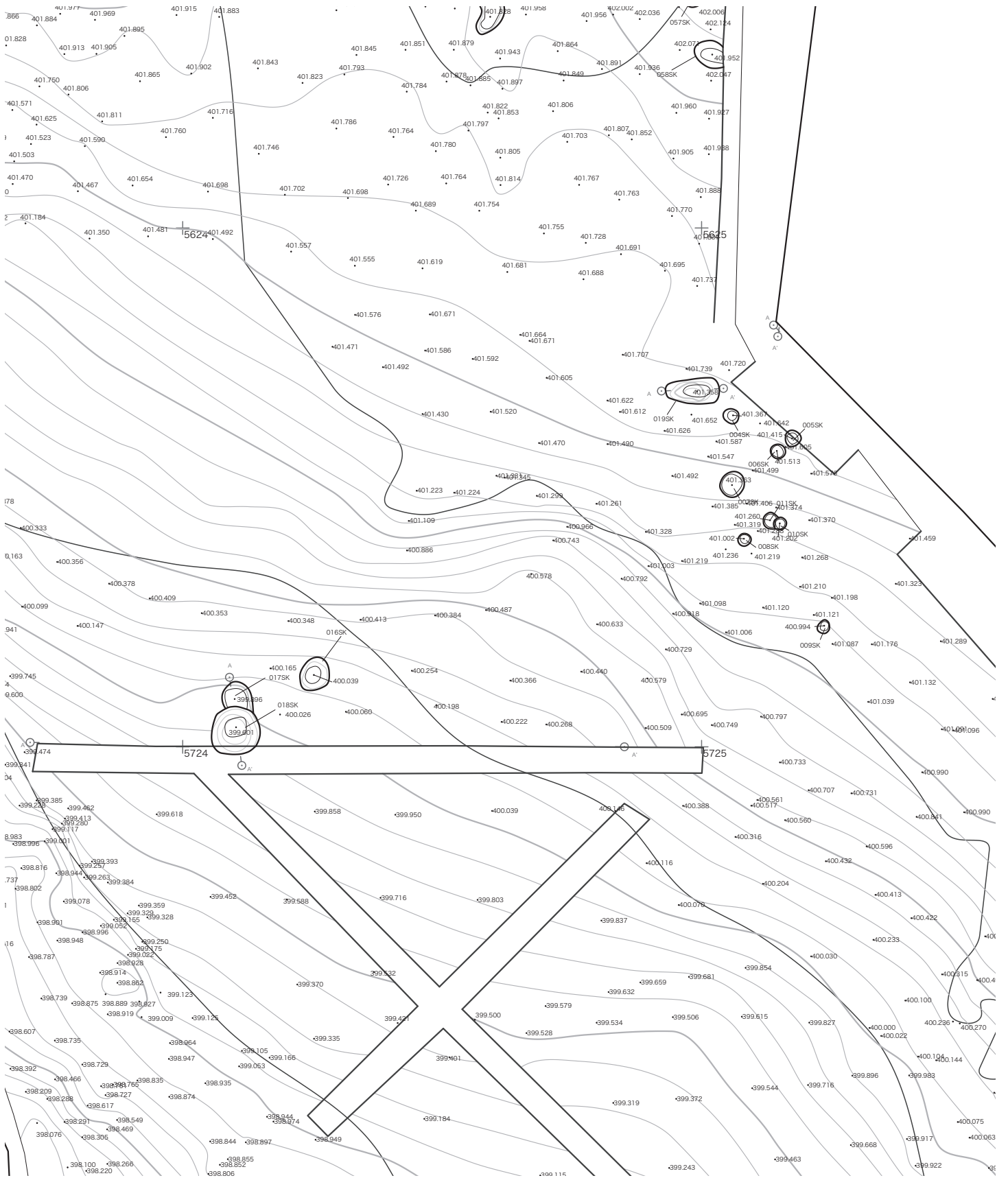


図 2-64 15 調査区 遺構全体図 -6 (S=1:100)

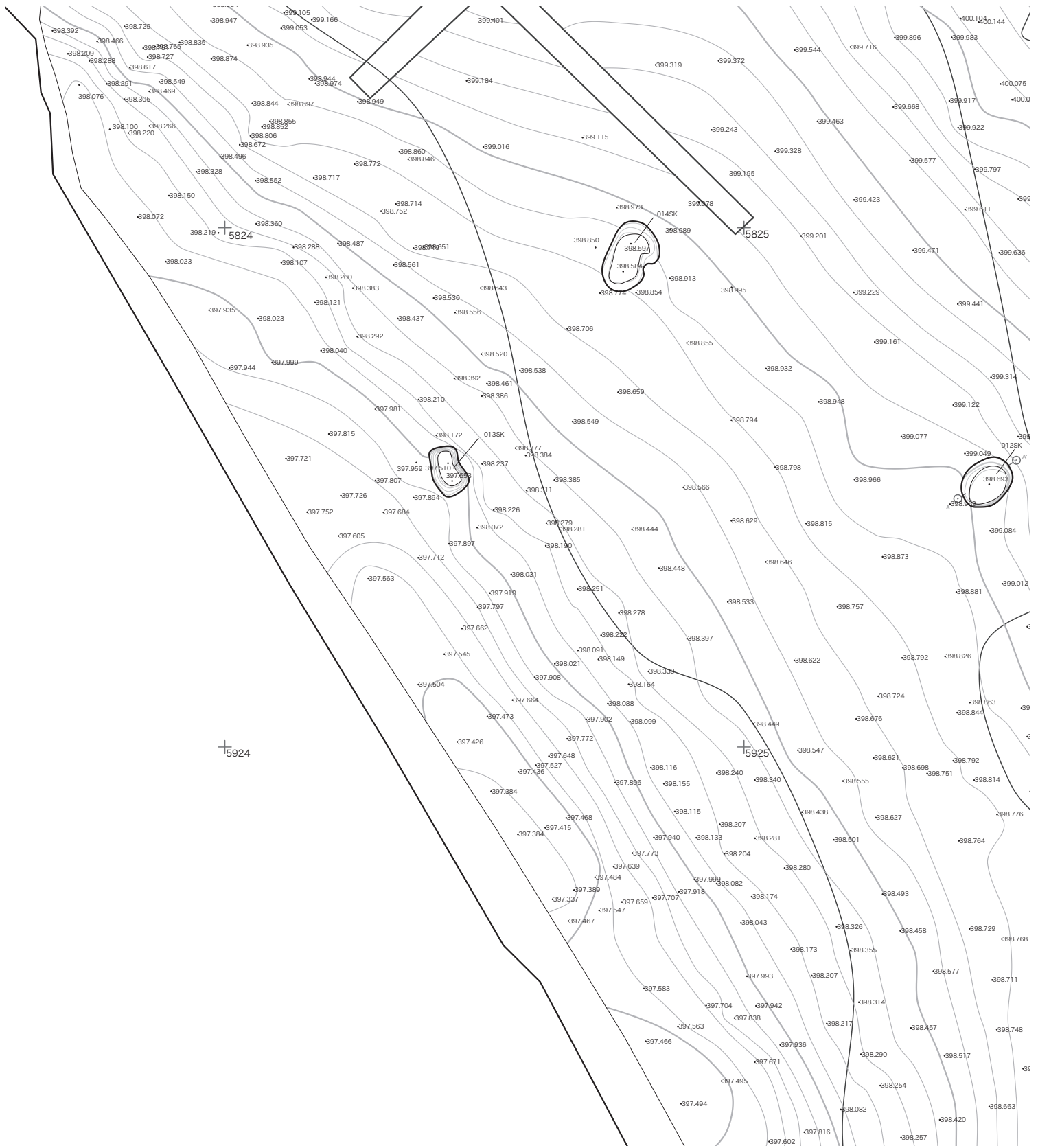


図 2-66 15 調査区 遺構全体図 -8 (S=1:100)

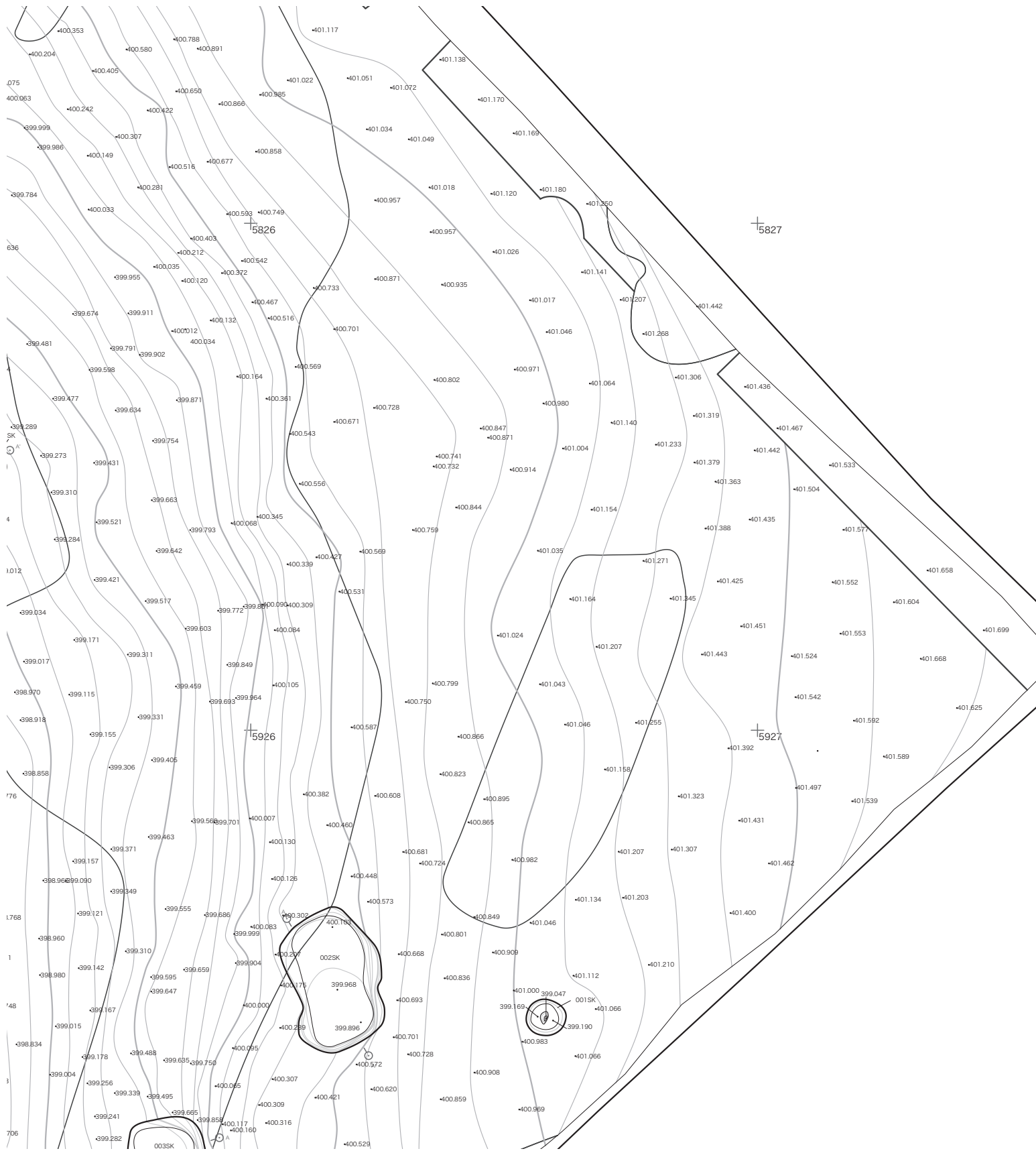


図 2-67 15 調査区 遺構全体図 -9 (S=1:100)

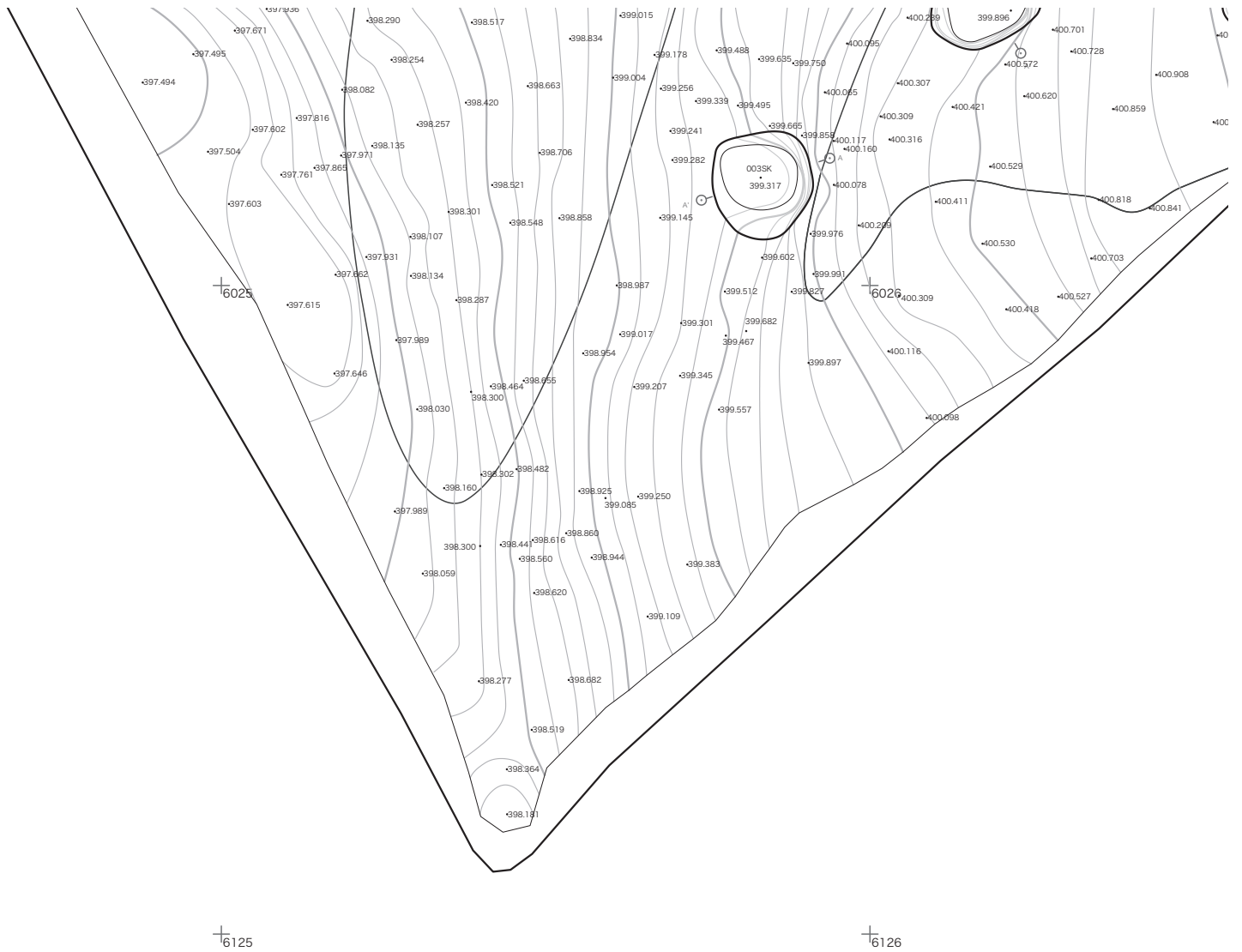


図 2-68 15 調査区 遺構全体図 -10 (S=1:100)

Y=98250

Y=98250

X=98530

5325

X=98540

5425

X=98550

5525

86
大栗遺跡



図 2-69 16 調査区 遺構全体図-1 (S=1:100)

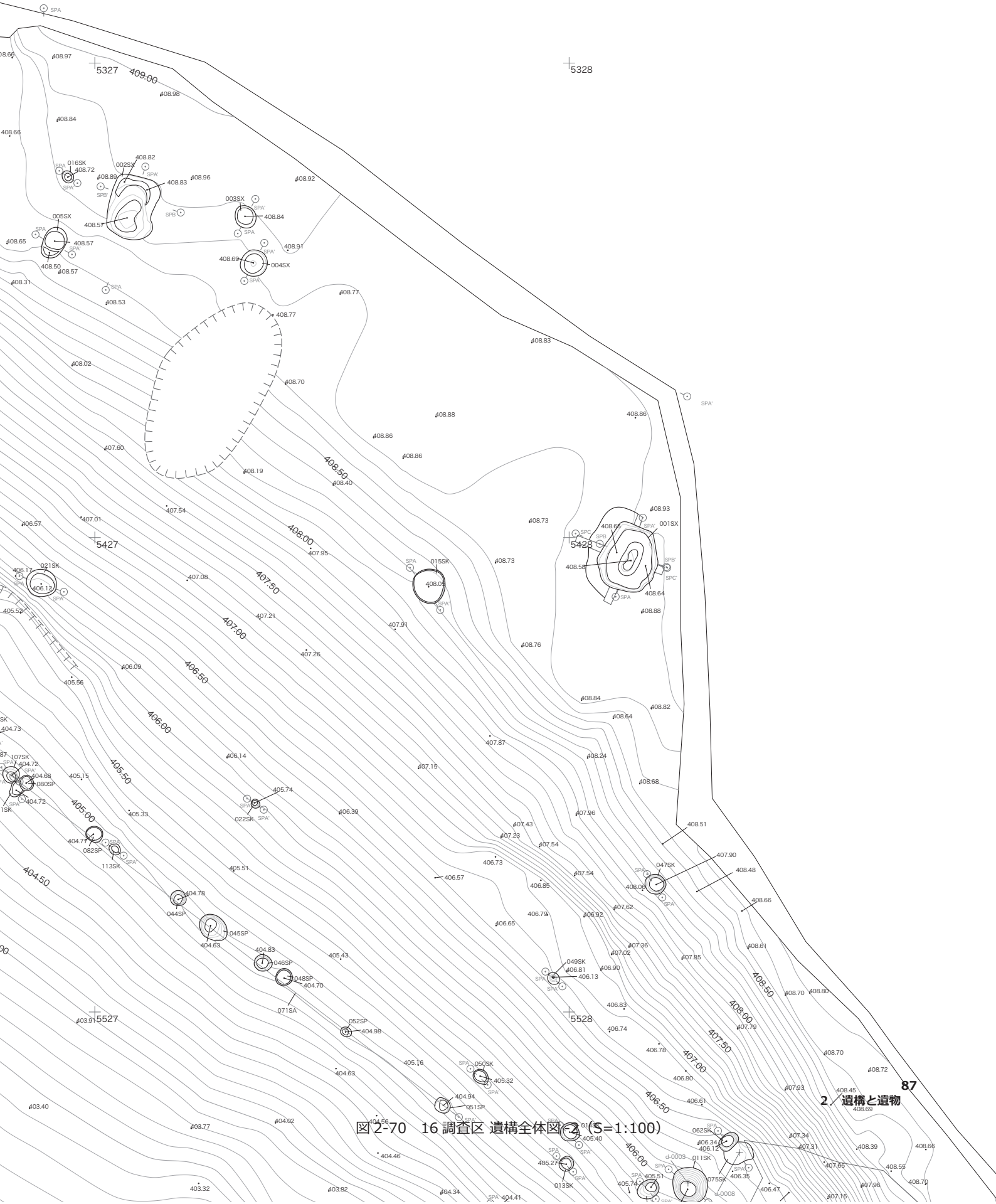


図2-70 16 調査区 遺構全体図(2) (S=1:100)

2 遺構と遺物 87



88
大栗遺跡

図 2-71 16 調査区 遺構全体図 -3 (S=1:100)

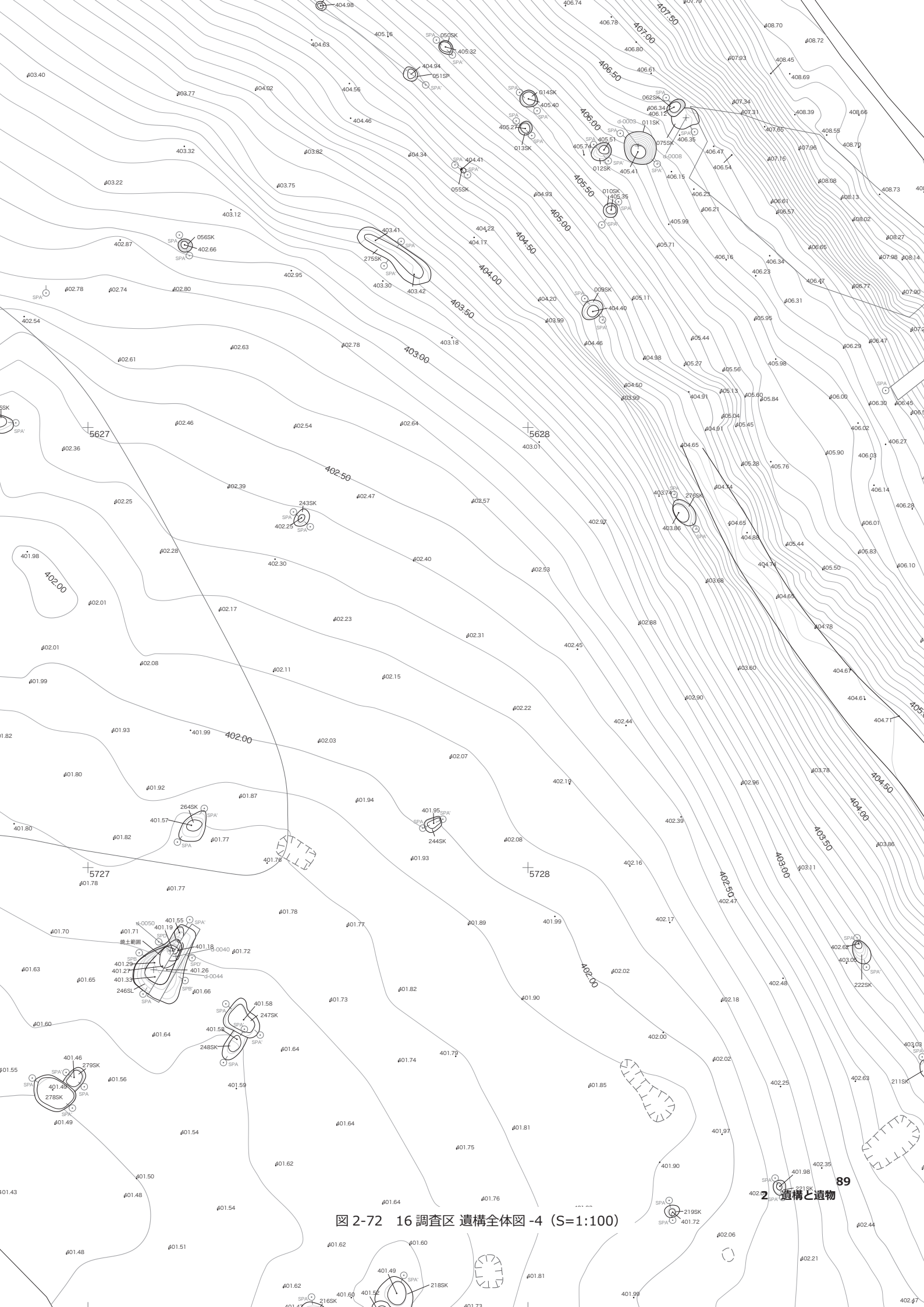
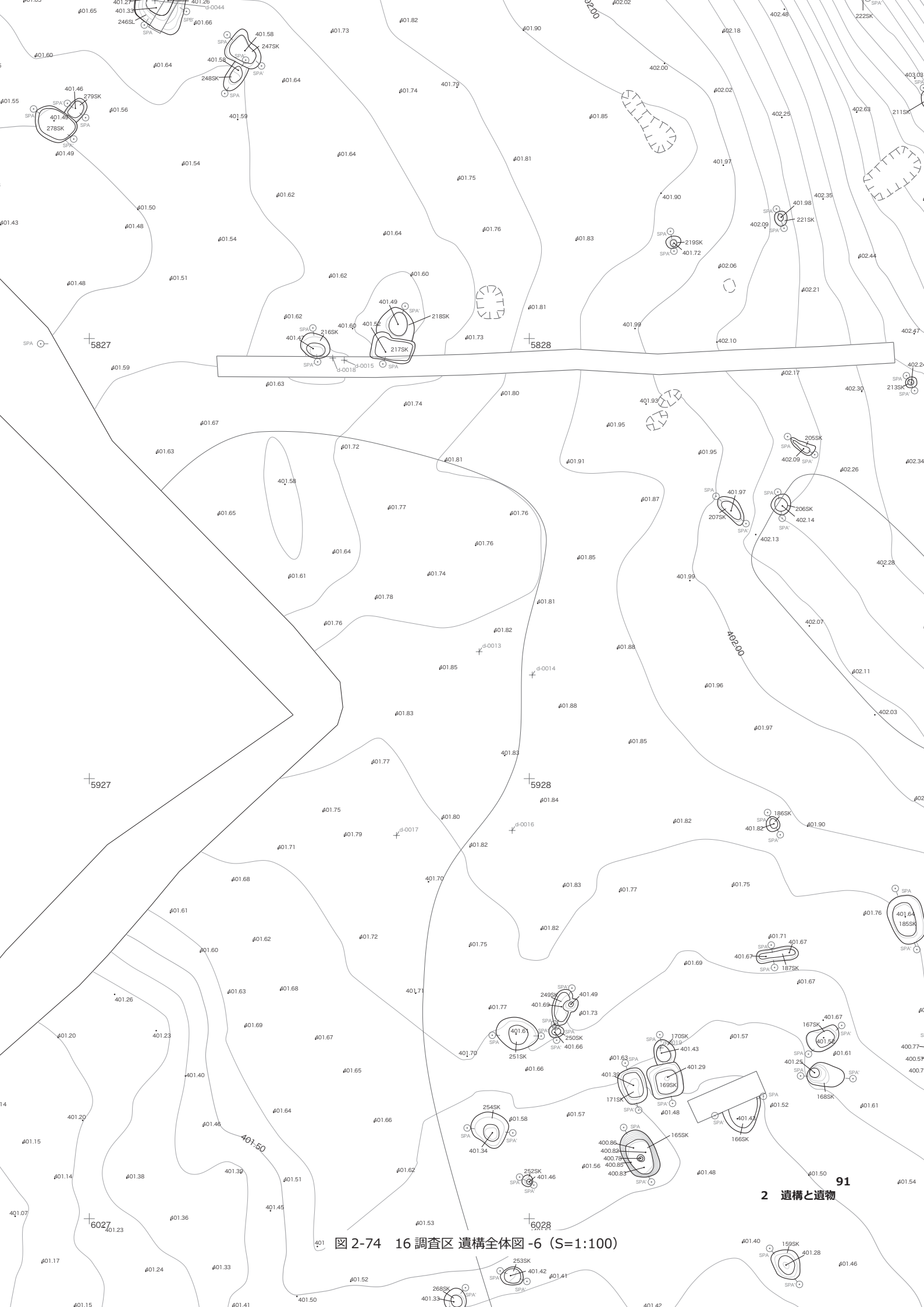


図 2-72 16 調査区 遺構全体図-4 (S=1:100)



図 2-73 16 調査区 遺構全体図-5 (S=1:100)



2 遺構と遺物

図 2-74 16 調査区 遺構全体図 -6 (S=1:100)

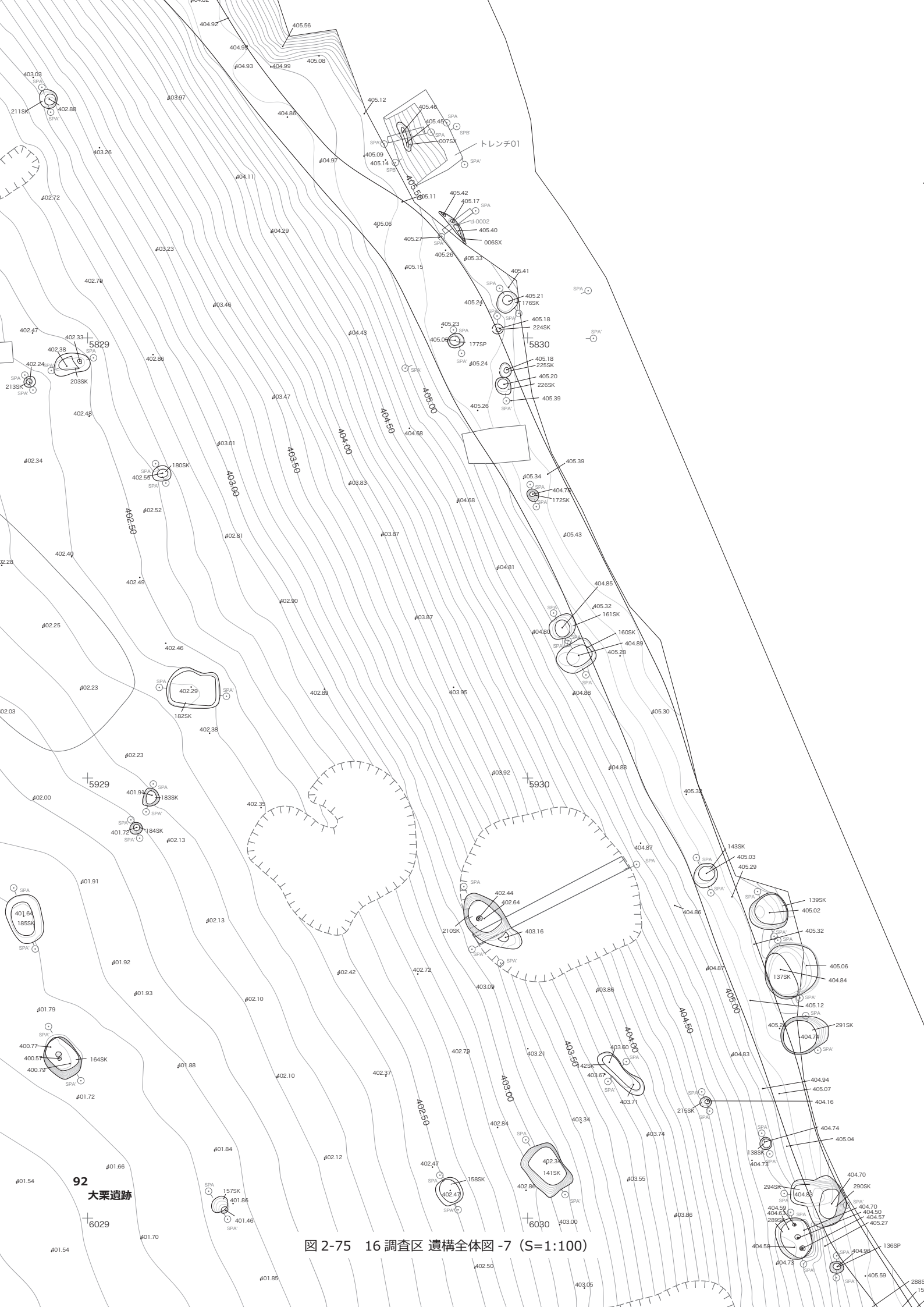
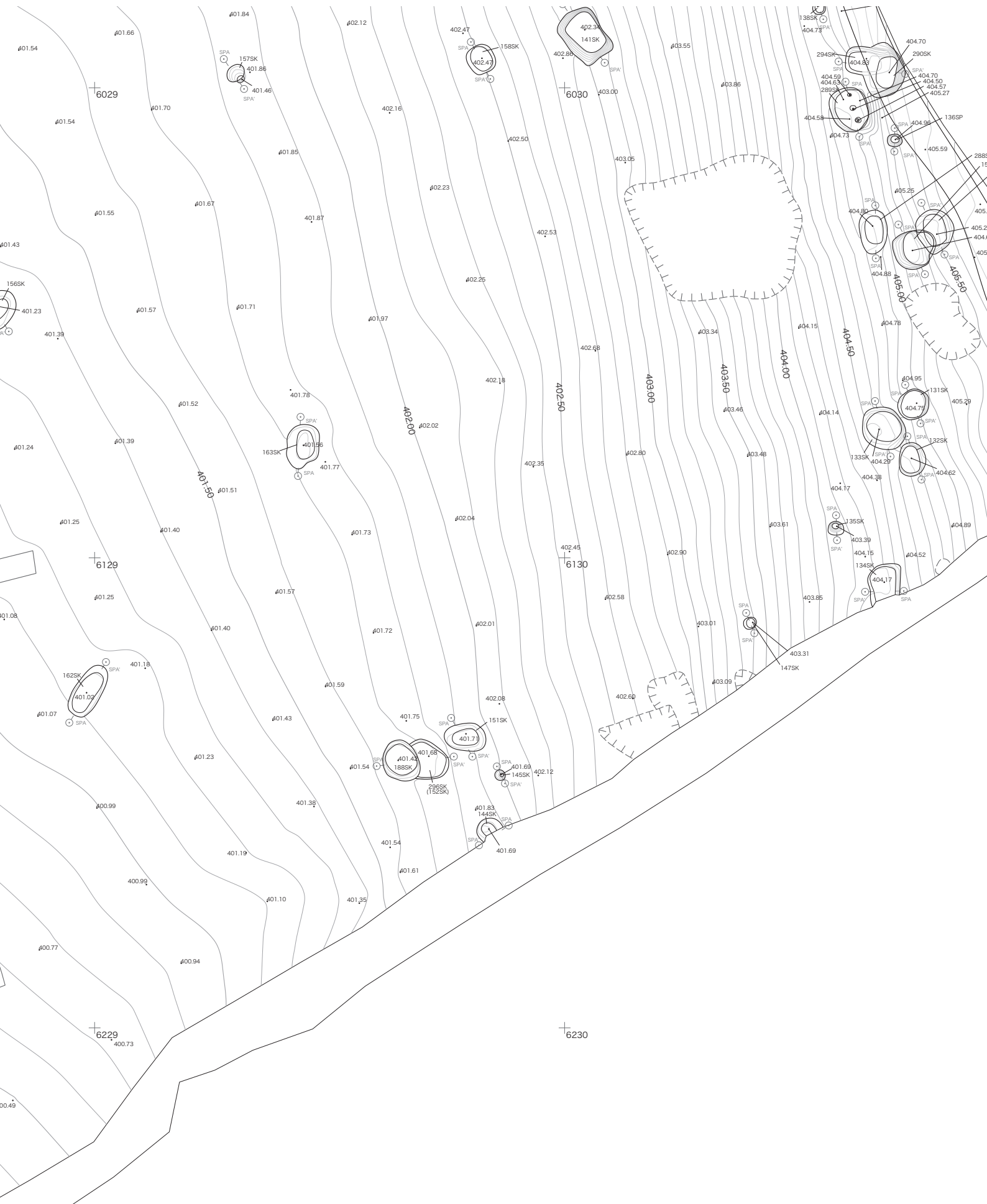


図 2-75 16 調査区 遺構全体図 -7 (S=1:100)



94
大栗遺跡

図 2-77 16 調査区 遺構全体図-9 (S=1:100)



图 2-78 16 調査区 遺構全体図 -10 (S=1:100)